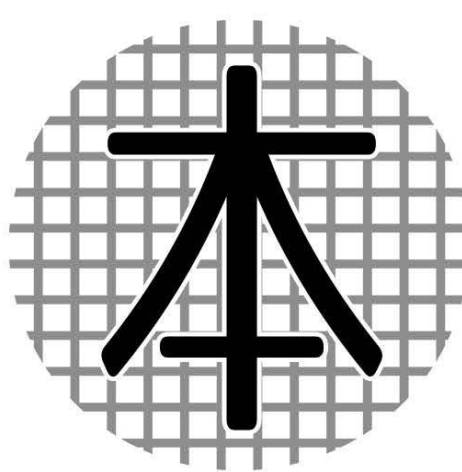


小樽商科大学
昼間コース



紹

介



本



ゼ



ミ

ナ

ー

ル

2018

目次

研究指導履修上の注意事項	p.3
昼間コース研究指導募集手続（社会情報学科以外）	p.4
昼間コース研究指導募集手続（社会情報学科）	p.6
昼間コース研究指導第一次希望応募フォーム	p.8
経済学科	pp.9-24
商学科	pp.25-52
企業法学科	pp.53-76
社会情報学科	pp.77-102
一般教育等	pp.103-108
言語センター	pp.109-117
ゼミ配置図	p.118

○掲載内容について

本冊子は、教務課学部教務係とゼミナール協議会が分担して編集作業を担当致しました。

研究指導募集要項に関する事項：教務課学部教務係（gakubu@office.otaru-uc.ac.jp）

ゼミナール紹介白書：ゼミナール協議会（shodaijichikai@gmail.com）

本冊子に原稿をお寄せ下さった全ての方々に、心より感謝申し上げます。

本冊子のレイアウトに関わる作業は、昼間部学生自治会事務局が行いました。

昼間コース研究指導（ゼミナール）履修上の注意事項

教 務 課

1. 研究指導は、2年間特定のテーマのもとで研究し、その成果を卒業論文としてまとめるもので、原則**必修科目**とし、原則として自学科科目あるいは専門共通科目の研究指導を履修するものとする。
2. 3年次への進級要件を満たせなかった場合、ゼミの内定を受けたとしてもゼミに所属することができないので注意すること。
3. 研究指導の履修期間は、学期単位（前期、後期でそれぞれ1学期）で扱い、単位（12単位）を修得するためには4学期（合計2年間）を履修しなければならない（原則は3、4年次の2年間継続履修である）。
4. 研究指導は原則必修としているが、ノンゼミを志望する学生は、学科長宛に申し出るものとし、学科長において例外的措置として承認が得られた場合のみ、ノンゼミを認めることとする。ノンゼミを認められた学生は、自学科の学科科目について所定の単位の他、ゼミ相当分の12単位を、更に履修しなければならない。
5. ゼミ所属の変更は、非常に難しいので慎重に選択すること。なお、万一変更の必要が生じた場合はただちに教務課学部教務係まで申し出ること。
6. ゼミの無断欠席が続くと除名される場合があるので注意すること。
7. 募集要項中で選考の方法等が未定になっている場合には、掲示等により通知するので十分に注意すること。

昼間コース社会情報学科以外 研究指導募集手続

社会情報学科以外のゼミを希望する場合、以下に従い必要手続を行ってください。手続に従わない活動は、無効となるので注意すること。

1. オープンゼミ期間 【10月2日（月）～10月24日（火）】

この期間中は、各ゼミにおいてオープンゼミを行っているので、できるだけ参加すること。

◇ゼミ合同説明会：9月28日（木）14：40-17：40

（複数のゼミが1カ所に集まり、各ゼミの紹介を行います。）

※詳細はゼミナール協議会から別途連絡があります。

2. 第1次志望ゼミ申込期間 【10月25日（水）～10月31日（火）】

- ① アンケートフォーム（URL）より、所属を希望するゼミを、第1志望のみ登録する。（締切：10月31日（火）16時）。

※アンケートフォームのURLは、《大学HP→学生生活・就職→お知らせ》に掲載予定です。また、8ページ目のQRコードからアクセスできます。

- ② 申込期間中は、各ゼミの志望状況を適宜公表する。

- ③ 締切日までは、希望ゼミの変更を認める。変更希望者は、アンケートフォーム登録時に送信されたメールから修正を行うか、再度アンケートフォームに登録を行うこと。（登録が一番新しいものを、最終希望とみなします。）

- ④ 社会情報学科のゼミに申し込んだ場合は、第一次選考では社会情報学科以外のゼミに申し込むことはできません。

3. 第1次選考期間 【11月7日（火）～11月17日（金）】

この期間中に、第1志望の申込をおこなった者を対象に選考するので、対象となる者は、各教員の募集要項の指示に従って面接等を受けること。

4. 第1次選考結果発表及び第2次募集告知期間 【11月7日（火）～11月24日（金）】

この期間中に、各教員から選考結果が適宜発表される。内定者の発表、第2次募集の有無については、掲示等でおこなう。

第2次募集については、新たに希望ゼミを登録する必要はありません。

5. 第2次選考期間及び第2次選考結果発表 【11月27日（月）～12月19日（火）】

この期間中に、第1次選考でゼミの内定を得られなかった学生は、各教員が指定した選考日時・場所で適宜選考を受けること。

第2次募集については、重複して選考を受けることを認めている。

この期間中に、各教員から選考結果が適宜発表される。内定者の発表、第3次募集の有無については、掲示等でおこなう。 なお、内定が重複した場合は、速やかに内定を辞退する教員にその旨申し出ること。

6. 内定者発表 【12月22日（金）】

教務課学部教務係より各ゼミの最終的な内定者を掲示する。

7. 最終活動期間 【12月22日（金）～3月末日】

研究指導は原則として必修なので、選考期間中にゼミ所属が決定しなかった学生は内定活動を継続すること。該当者は呼び出しを受ける場合があるので、掲示には十分注意すること。

備 考

- ノンゼミを希望する場合は、原則として 11月30日（木）までに 所属学科の学科長あての所定の申請用紙（教務課学部教務係にて配布）により申し出、承認を受けること。
ただし、ノンゼミは自動的に認めることではなく、例外的措置として認められる場合に限られるので注意すること。承認が得られなかった場合は、そこからゼミ所属活動をすることになるので、ノンゼミを考えている学生は、期限に関わらず早めの申請を勧める。
- 第1次選考で落選したものは、教員に直接連絡をとり、選考を依頼するなど積極的に行動することを勧める。

昼間コース社会情報学科 研究指導募集手続

社会情報学科のゼミを希望するものは、以下に従い必要手続を行うこと。手続に従わない活動は、無効となるので注意すること。

1. オープンゼミ期間 【10月2日(月)～10月24日(火)】

この期間中は、各ゼミにおいてオープンゼミを行っているので、できるだけ参加すること。

◇ゼミ合同説明会：9月28日(木) 14:40-17:40

(複数のゼミが1カ所に集まり、各ゼミの紹介を行います。)

※詳細はゼミナール協議会から別途連絡があります。

2. 第1次志望ゼミ申込期間 【10月25日(水)～10月31日(火)】

① アンケートフォーム(URL)より、所属を希望するゼミを、第1志望から第3志望まで登録する。(締切：10月31日(火)16時)。

※アンケートフォームのURLは、《大学HP→学生生活・就職→お知らせ》に掲載予定です。また、8ページ目のQRコードからアクセスできます。

② 申込期間中に各ゼミの志望状況を適宜公表する。

③ 社会情報学科のゼミに申し込んだ場合は、第一次選考では社会情報学科以外のゼミに申し込むことはできません。

3. 第1次選考期間 【11月7日(火)～11月17日(金)】

この期間、各教員が指定した選考日時・場所で適宜選考を受けること。社会情報学科では、重複して選考を受けることを認めているので、第1志望、第2志望、第3志望に関わりなく(第1～第3希望以外でも)、指定された日時・場所で選考を受けることができる。なお、内定が重複した場合は、速やかに内定を辞退する教員にその旨申し出ること。

4. 第1次選考結果発表及び第2次募集告知期間 【11月7日(火)～11月24日(金)】

この期間中に、各教員から選考結果が適宜発表される。内定者の発表、第2次募集の有無については、掲示等でおこなう。

第2次募集については、新たに希望ゼミを登録する必要はありません。

5. 第2次選考期間及び第2次選考結果発表 【11月27日(月)～12月19日(火)】

この期間中に、第1次選考でゼミの内定を得られなかった学生は、各教員が指定した選考日時・場所で適宜選考を受けること。

他学科を含め重複して選考を受けることが認められている。

この期間中に、各教員から選考結果が適宜発表される。内定者の発表、第3次募集の有無については、掲示等でおこなう。

なお、内定が重複した場合は、速やかに内定を辞退する教員にその旨申し出ること。

6. 内定者発表 【12月22日（金）】

教務課学部教務係より各ゼミの最終的な内定者を掲示する。

7. 最終活動期間 【12月22日（金）～3月末日）】

研究指導は原則として必修なので、選考期間中にゼミ所属が決定しなかった学生は内定活動を継続すること。該当者は呼び出しを受ける場合があるので、掲示には十分注意すること。

備 考

- ノンゼミを希望する場合は、原則として 11月30日（木）までに所属学科の学科長あての所定の申請用紙（教務課学部教務係にて配布）により申し出、承認を受けること。
ただし、ノンゼミは自動的に認めることではなく、例外的措置として認められる場合に限られるので注意すること。承認が得られなかった場合は、そこからゼミ所属活動をすることになるので、ノンゼミを考えている学生は、期限に関わらず早めの申請を勧める。
- 社会情報学科の学生が他学科のゼミを受けることは可能である。ただし、申請は他学科の手続きに従うこと。
- 社会情報学科以外の学生が社会情報学科のゼミ所属を希望する場合は、社会情報学科の手続きに従うこと。
- 第1次選考で落選したものは、教員に直接連絡をとり、選考を依頼するなど積極的に行動することを勧める。

第 1 志望ゼミ申込期間中 【10 月 25 日(水)～10 月 31 日(火)】 に、アンケートフォームより所属を希望するゼミを登録してください。

アンケートフォームの URL は、《大学 HP→学生生活・就職→お知らせ》に掲載予定です。また、以下の QR コードからアクセスできます。



第一次希望応募フォーム（昼間コース）

※第 1 志望ゼミ申込期間より前に登録することはできませんのでご注意ください。

※第一次募集では、研究指導募集手続きに違反した重複申請を避けるため、上記のアンケートフォームを利用しています。アンケートフォームに登録せずに独自に教員に申し込むことは禁止しています。

※留学等により上記のアンケートフォームからの登録が困難な場合は、必ず事前に教務課学部教務係まで連絡してください。

連絡先

国立大学法人小樽商科大学教務課学部教務係

電話番号：0134-27-5242

e-mail：gakubu@office.otaru-uc.ac.jp

経済学科

Economics

経済学科 開講ゼミナール一覧

江頭 進	10	平井 進.....	17
佐野 博之.....	12	廣瀬 健一	19
白田 康洋.....	13	松家 仁.....	20
中島 大輔.....	14	山本 賢司	22
中村 健一.....	16	柴山 千里.....	23

1. 研究主題

本年度は、「経済哲学研究から見た都市空間」をテーマにケインズの社会ビジョンを前提としながら、小樽を観察するプロジェクトを行う。

2. 指導要領

(1)ケインズ『雇用・利子および貨幣の一般理論』の講読を行い、マクロ経済の基本構造に関する理解を深めると共に、ケインズが人と社会に対してどのような概念を持っていたのかを検討する。
(2)28年度から行っている小樽市総合博物館所蔵の「兵庫コレクション」の撮影場所確定プロジェクトを継続する。30年度は「兵庫コレクション」の写真集の刊行も行う。

3. 指導テキスト及び参考書

J.M. ケインズ著『雇用・利子および貨幣の一般理論』上・下、間宮陽介訳、岩波文庫

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書および面接

5. 面接・テスト等の日時・場所

11月7, 9, 10日に江頭研究室（1号館409研究室）にて面接を行う。10月25日(水)～31日（火）までの間、江頭研究室前に面接希望日の記入票を貼りだしておくので、希望者は希望日を記入しておくこと。また、その際に研究室前の箱の中に、志望理由書の用紙を入れておくので各自記入して面接時に持参すること。

（注）江頭ゼミの所属学生は、NPO法人EgaOの会員となるため、別途NPO法人理事長より審査要項が発表されるので、同時にそちらも注意しておくこと。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

(1)江頭ゼミは、2016年3月にNPO法人EgaOを設立し、小樽のまち作り貢献活動を行っています。江頭ゼミに所属する学生は同時にNPO法人の会員となり活動に参加することになるので、学問と社会活動を両立できる人を求めています。

(2)江頭ゼミでは年4回の学内合同ゼミ（ディベート）の他に、年2～3回の学外との合同ゼミを行っています。30年度は、福井県への遠征が予定されています。

(3)その他、学祭や市内の祭りへの出店などが予定されています。これらの活動に積極的に参加できる学生を求めます。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

オープンゼミは、10月中の毎週木曜日午後2時半から江頭ゼミ室（3号館402B）で行われます。

ゼミ紹介白書

< 江頭ゼミ >

開講日時	(17:40)
木曜日	14:30 ~ 19:00
在籍人数(3年生)	12人
男女比(3年生)	7:5
ゼミ室	3号館4階 402B
ゼミの鬼仏表	仏・普通 ⊙ 鬼

Q. 先生はどんな人?



< 2017年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	NPO法人総会 輪読
5	、 (デ)
6	あんなに焼そばが好きな店
7	ゼミ合宿 (デ)
8	合同ゼミ
9	
10	4大学合同ゼミ (デ)
11	
12	新歓 (デ)
1	
2	追コン
3	

<ゼミの日常>

毎週前半にプロジェクトを進め、後半に代表者が発表する形で輪読を行っています。他にも、その時々で色々な活動を行っています!

<卒業生の進路>

大手通信業界
大手金融業界
食品業界
保険業界 など様々です。

<自由記入欄> (デ) = ティバート大会

江頭ゼミは年間を通して内容が盛りだくさんです!

輪読やティバートで
身につく忍耐力

浴びるほどの
あんなに焼そば

ゼミ室の大量の
漫画

大学生活残り2年、充実した生活を送りたい学生を歓迎します!!

1. 研究主題

公共経済学。経済政策全般。

当ゼミでは、公共部門の経済活動に関する問題をミクロ経済学の組みの中で考え、分析していくことを、最終目標とします。市場経済がもたらす環境問題や所得格差の問題から大きな政府が招く財政赤字の問題といった21世紀の日本や世界が抱える問題も公共経済学の研究対象です。また、大震災後の日本にとって最重要課題の一つである電力供給の問題も、公共経済学が以前から取り組んできた研究対象です。

2. 指導要領

初年度（3年次）の前半は、公共経済学の文献を輪読します。その後は、いくつか関心のあるテーマを見つけ、それらに関してグループごとに研究します。さらに、それらのテーマに関して討論会を行います。こうして、各自が関心を持ったテーマを深く掘り下げて研究し、4年次での卒業論文につなげていく予定です。公共経済学に対する理解を深めることはもちろんのこと、説得力のあるプレゼンテーションと積極的なディスカッションの能力を身につけることも目標の一つです。ちなみに、過去に提出された卒論のテーマは、環境問題や教育問題から年金・医療問題、さらには北海道の観光振興策からスポーツへの公的な関わりに至るまで様々です。

3. 指導テキスト及び参考書

ここ数年の3年ゼミの前半は、4つのグループを作り、それらのグループごとに以下のテキストを輪読しました。

板谷淳一・佐野博之著『コア・テキスト公共経済学』、新世社、2013年。

輪読ではこれ以外のテキストも数冊使用したこともありましたが、平成30年度も上記のテキストを使用する予定です。グループワークのテーマ等は、ゼミ生の間で相談して決定します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接で、当ゼミへの志望理由、どんな経済問題あるいは経済理論に関心を持っているのかなどについて、聞かせてもらいます。基本的に集団での面接になります。テストは行いません。必ず事前に、志望理由と関心事についてまとめてきて、面接で答えられるようにしてください。

5. 面接・テスト等の日時・場所

日時：追って、学務課の掲示板でお知らせします。

場所：3号館（講義棟）3階312号室（ゼミ室）

問い合わせは、sano@res.otaru-uc.ac.jp まで。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

私佐野が平成28年10月から1年間海外研修で不在だったため、平成12年度から15期続いていた佐野ゼミは、平成26年度を最後に募集を停止していました。したがって、平成30年度から3年ゼミのみでのリスタートとなります。これまでのゼミ生のは数は10～13名程度でした。平成30年度も大体これくらいの人数を予定しています。現在の経済社会に対して何らかの問題意識を持ち、積極的な姿勢でゼミに参加するような学生を歓迎します。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

現在3年ゼミ・4年ゼミ共に開講されていないので、オープンゼミは行われません。佐野ゼミに関して質問のある方は、1号館436研究室まで来てください。

1. 研究主題

テーマ：格差問題の分析

Piketty, “Capital in the Twenty-First Century” が出版されて以来、世界同時的に格差問題に関する話題が新聞やテレビ等のマスメディアで頻繁に取り上げられてくるようになりました。そこで本ゼミでは今年度は、格差問題や貧困問題に関する理論的な背景・取り得る対策を学ぶことにより、現実経済における再分配政策について理解を深めていきます。

2. 指導要領

本学の「グローバル大学」精神に基づき、本ゼミでは英語で書かれた文献で経済学を学びます。具体的には英語で書かれたテキストを輪読し、経済学の基礎理論を学びます。また、4年次にはそれを踏まえて卒業論文を作成してもらいます。ただしゼミでの報告・議論は、内容の正確な理解のために日本語で行います。毎回、事前に参加者の数人に本の一部を割り当てるので、担当者は内容を理解したうえで、レジュメを作成し、発表することが求められます。また、報告者以外も少しでも理解が曖昧な部分があれば、ゼミにおいて積極的に質問し、議論を通じて内容を理解していくことを求めます。

3. 指導テキスト及び参考書

現時点では以下のテキストを候補として考えています。また他にも適当な教科書があればリストに追加します。実際に使うテキストは、ゼミ生と相談して決定します。

- Anthony B. Atkinson, “Inequality: What Can Be Done?”, Harvard University Press, 2015.

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接を行います。参加希望者は11月1日までに以下の物をいれた封筒を研究室（1号館543号室）のメールボックスに入れて下さい。

1. 自己紹介（必ず連絡の取れるメールアドレスも書くこと）、ゼミ志望理由、将来の進路希望などをまとめたレポート（A4で一枚、2,000字程度）。
2. 1年から2年前期までの成績表のコピー。重視するのは経済学科の科目と数学の科目です。

5. 面接・テスト等の日時・場所

後日、掲示及び教員のウェブサイト <https://sites.google.com/site/yasuhiroshirata/seminar> にて発表します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

数学、論理的な考え方を使うことが好きで、ゼミで積極的に議論に参加し、発言してくれる学生を希望します。また、本ゼミは3、4年合同で行うことを予定しています。最後に、勉学以外のゼミに関する事項は基本的に学生の自主性を尊重します。ですので、主体性をもってゼミを運営してください。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

オープンゼミは、10月の第2、3週の火曜日にゼミ室(209B)で行う予定です。詳細は、掲示または、上記ウェブサイトにて連絡します。

1. 研究主題

ミクロ経済学、特にゲーム理論とその応用

恋の駆け引きや生物の進化から、企業戦略や国家の駆け引きまで、プレーヤーが相手の行動や情報を読み合うような状況で、どのように振る舞えばいいか、その結果何が起きるかを分析するゲーム理論を学習します。関連する分野として、意志決定理論、行動経済学（完璧でない個人を経済学に取り込んだ分野）、社会心理学なども扱う可能性があります。

2. 指導要領

ゼミは3/4年生合同で火曜日に行います。それに加えて4年生には卒業論文執筆に取りかかってもらいます。卒業論文のテーマは自由ですが、既存の研究をまとめただけのものは不可でオリジナルな研究でなければなりません。全体として、理論の使い方のセンス、生産的な議論の仕方、明快なプレゼンテーションを身につけていけるようにしていきたいと思っています。

3. 指導テキスト及び参考書

テキストは未定です。今年度は社会での意思決定（選挙など）をするときの理論「社会的選択理論」を学習しました。「学生とインターン先」、「臓器提供者と患者」、「社員と配属先」といったように、人（もの）と人（もの）を、公平・効率などを重んじて結びつけるにはどうすればいいかを分析する、マッチング（マーケットデザイン）と呼ばれる分野を学んでいます。こちらにわかりやすい紹介記事があります。<http://www.vcasi.org/node/538>
テキストは英語になる可能性もあります。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

参加希望者は

(1)自己紹介（A4一枚、内容・書式は自由）

(2)レポートA（これまで高校・大学で学んできたことで興味深いことを、そのことを知らない人にわかりやすく説明する）

(3)レポートB（自分の趣味・課外活動などで興味深いことを、そのことを知らない人にわかりやすく説明してください。）

の3点を11月2日（木）までに提出してください。提出方法に関しては、私のホームページに後日記載します。

5. 面接・テスト等の日時・場所

レポート提出者を対象に面接を行います。面接のアポイントメントの取り方に関しては私のホームページに後日掲載します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

このゼミは開講四年目と若いので、今後どのようなゼミになるかは皆さんと一つ上の先輩次第です。何事も受け身でなく積極的に取り組む方を歓迎します。多様性を重視しますので、留学生・留学経験者・留学希望者といった学生も歓迎します。

ゼミ選考の詳細は私のホームページ <https://sites.google.com/site/daisukeecon/>（小樽商大 中島で検索可能）に10月初めに掲載予定ですので、そちらを参照してください。

ゼミ紹介白書

≪ 中島 ゼミ ≫

開講日時	火曜日 14:30 ~ 17:00
在籍人数(3年生)	8人
男女比(3年生)	男 7人 : 女子 1人
ゼミ室	316B
ゼミの鬼仏表	 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人??

みんなのことをよく考えてくれて、
良い議論の場を提供して
くださる先生です!!
スキーが大好き!!!

≪ 2017 年度年間スケジュール ≫

12~3	(前年度)
4	自分たちで自由に決めます
5	〃
6	〃
7	〃
8	〃
9	〃
10	〃
11	〃
12	〃
1	〃
2	〃
3	〃

≪ゼミの日常≫

仲良くワイワイしながら
ゲーム理論に関するテーマに
ついて討論しています!!

≪卒業生の進路≫

金融, メーカー, 公務員 ...
いろいろなところに進みます!!

≪自由記入欄≫

まってるよ


 7/26/2018
 NE

1. 研究主題

私たちの行動（働くことや学ぶことなど）は、期せずして私たちが相互に関わりあい、社会的関係を形成するという役割を担っています。そしてこのような社会的関係の多くは経済的な側面を持っており、その分析には経済学が有用です。経済学によって我々の形成する社会について学び、同時に、ふだん語られない経済学の背景となる知識についても注目しながら、様々なことについて考えてみましょう。

以下のページには、ゼミ生によるゼミ紹介や、より詳細な募集情報、さらにこのページの情報の更新や訂正が掲載されます。是非ご覧ください。

<http://www010.upp.so-net.ne.jp/kenakamu/index.html> (index.html は無くても可。ただし kenakamu の後の/は必要です)

上記ホームページは経済学科の教員紹介の私のページのリンク（「個人」の項目など）から参照することもできます。

2. 指導要領

1 年目（3 年生）に基礎的な経済学的能力を身につけて、2 年目（4 年生）でその応用となるような主題を選んで卒論の作成に取り組んでもらう予定です。参加者の関心に応じて、テキストややり方が変わっていくのが当ゼミの特徴です。

3. 指導テキスト及び参考書

今までさまざまなテキストを取り上げてきました。今年度はクルーグマンによる経済学の入門用テキスト（「ミクロ経済学」「マクロ経済学」東洋経済新報社）を使用していますが、来年度用のものはまだ決まっていません。毎年、参加者と相談して決めています。

4. 選考の方法

面接を行います。経済学などの社会科学への関心や、関心のある読書分野などについて話をしましょう。

5. 面接の日時・場所

1 1 月 7 日（火）、午後 2 時 30 分に仮講義棟 290 の中村健一ゼミ室に来てください。仮講義棟は講義棟（3 号館）と研究棟（1 号館）の間にあるプレハブ 2 階建ての建物です（以下 url の「講義室・ゼミ室配置図」を見てください <http://kenakamu.eco.coocan.jp/map.pdf>）。都合の悪い人は以下のどちらかに連絡をください、調整します。

kenakamu@res.otaru-uc.ac.jp（電子メール：念のため電話番号を記入しておいてください）

080-4501-8748（留守番電話：連絡先を教えてください。折り返し電話します）

1. 研究主題

ヨーロッパの日常生活史。日常的な文化・生活のあり方を歴史的に眺めて、個人を取り巻く社会秩序の枠組と変化を考えます。それは、政治的事件の歴史とは距離を置いた、人々の生活領域を扱う歴史学で、家族史、民衆文化、食物や病気の社会史とそれらのグローバルな史的展開、環境史や災害史、開発や資源管理の歴史など様々な領域があります。毎年これらの中からテーマを決めて読む文献を選びます。

2. 指導要領

上記のテーマに関する学術文献を輪読して精読します。専門書に丁寧に取り組み、叙述の不明箇所・背景などを調べ、叙述構成を分析し、論旨の展開を批判的に読んでいきます。その際事前に参考図書も参照し、文献の内容・論点を整理・紹介するレジュメやコメントを作成し、ゼミの場で報告・発表します。4年次には、それに加えて、西洋史に関して各自がテーマを決めて文献調査を行い、卒業論文を作成します。

3. 指導テキスト及び参考書

未定。候補としては、
シドニー・ミンツ『甘さと権力：砂糖が語る近代史』（平凡社）；
ピエロ・ペディラック『ヴェネツィアと水：環境と人間の歴史』（岩波書店）；
ロベール・マンドル『民衆本の世界：17・18世紀フランスの民衆文化』（人文書院）；
カルロ・ギンズブルク『夜の合戦：16-17世紀の魔術と農耕信仰』（みすず書房）；
フィリップ・アリエス『「子供」の誕生：アンシャンレジーム期の子供と家族生活』（みすず書房）などからか。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

ミスマッチングを避けるため、まず学務課への正式申込の前に事前相談に来て必ず具体的な説明を聞いてください。そして、図書館で関係文献を確認し、事前相談での指示にしたがって、レポート等を作成・提出して、面接という手順になります。

事前相談：10月5日（木）以降随時実施。日時は shirai@res.otaru-uc.ac.jp に御相談下さい。

5. 面接・テスト等の日時・場所

11月7日（火）14時30分から。事前相談の後応募を決めてレポート等を作成した応募者は、上記アドレスに連絡して時間帯を相談して下さい。

・ 注意事項・履修希望者へのメッセージ

商大におけるゼミ制度は、自分の関心がある学問分野を掘り下げて勉強するため2年間も続く授業で、毎回の参加には準備を要し、また各自で自主的に研究して卒業論文も作成することになるため、履修者には主体性と負担が講義よりも多く求められます。にもかかわらず、必修なので何か一つ取らなければならないからといって内容やテーマに関心がないのに「楽しさ」や「雰囲気」といったいい加減な基準で選べば、ゼミは面倒＝労力と時間の無駄にしかありません。真剣に選んで下さい。

◆本ゼミは、歴史学（西洋史）を真面目に勉強したい人のための研究指導です。上記の研究主題をはじめとして、ヨーロッパの歴史に知的・文化的な関心がある人のために開講されます。

西洋史が好きな人、読書が好きな人の履修を特に期待します。また、純文系的な人（美術館やシアターキノに行くのが好きな人、室内管弦楽団やカンタール、プレクトラム・アンサンブルといったクラシック系の人など）、本当は別の大学・学部に行きたかった人（受験の都合や親の意向、あるいは就職を考えてやむを得ず商大に来てしまっ

た人)や外国語に興味がありドイツ・オーストリア・フランスなどヨーロッパに留学したい人は歓迎します。本ゼミは特にドイツ語圏への留学に伝統があり、現在もゼミ生がオーストリアのウィーンに留学しています。

ある程度手間暇をかけてじっくりと学術文献を読んでいくことが本ゼミの基本作業です。毎週事前に行うべき準備(文献の読解、参考図書の参照、レジュメやコメントの作成など)、ゼミでの報告・発表を面倒がらず嫌がらないことが求められます。それらの作業は内容やテーマに関心があってこそやる気になれることなので、本ゼミの履修には、ヨーロッパの歴史に対する興味・関心をもっていることが必要です。また、それらの作業には、日頃から読書をする習慣をもっていることが不可欠で、本学入学後も自宅や図書館で学習する習慣と余裕を保ってきたことが望ましく、これらも本ゼミの履修には必要です。無断欠席、部活動やアルバイトを理由とする欠席・早退は厳禁です。

逆にいえば、西洋史に関心がない人、読書をしない人、本学入学後部活動やアルバイトを中心に生活して勉強して来なかった・勉強する余裕がない人、不真面目な人や遊び人、ゼミを「楽さ」と「雰囲気」でしか選ばない人には応募・履修を勧められません。また、歴史学は実務や各種資格試験に直接役立つ「パンのための学問」ではないので、ヨーロッパの歴史と文化に関心がない人に履修する意味やメリットはありません。

7. オープンゼミ等の日時・場所 (予定)

オープンゼミ：10月12日(木)・19(木)に見学可。ただし特別な催しは行わない。

説明会：10月10日(火)・17日(火)14時40分にゼミ室(3号館425B)前に集合。

1. 研究主題

マクロ経済学、金融ファイナンス論、国際マクロ経済学・国際金融論

(特に、現在と将来というような異時点間の意思決定を重視した動学分析を積極的に取り扱います)

2. 指導要領

3年次：テキストの輪読などを通じて、本ゼミの研究主題に関する基礎的な知識を身につけます

4年次：卒業論文の作成に向けて、各自の個人研究の発表を行います

(卒業論文では本ゼミの研究主題と無関係なテーマを選択しても結構です)

3. 指導テキスト及び参考書

ゼミ生の希望分野・レベル等を考慮しながら、相談の上で決定します

(ちなみに2017年度の3年ゼミで使用しているテキストは 内田浩史著「金融」有斐閣 です)

4. 選考の方法(面接・テスト等)

選考方法：面接＋経済学関連科目の成績・履修状況(特に応募条件①・②)も考慮

応募条件：①経済学科科目「ミクロ経済学」を履修済みであり、かつ

②経済学科科目「マクロ経済学」を現在履修中であること が望ましい

※もし応募条件①・②を満たしていない場合は、未履修科目に関して3年ゼミ開始時までに履修済みである学生と同等レベルの知識を自力で習得しておくことが求められますので **必ず申込前にメールで相談**して下さい

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接日時：11月8日(水)・9日(木)の昼休み(1人あたり10分程度の個別面接)を予定

(上記日時が不都合な場合は、その旨を応募申込メールに記載して下さい)

場所：廣瀬研究室(1号館431号室)

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

履修希望者は下記要領の応募申込メールを **10月31日(火)までに** 送信して下さい

宛先：hirose@res.otaru-uc.ac.jp

件名(subject)：seminar2018(半角英数字でお願いします)

本文に記載する必須事項：

所属学科、学年、学籍番号、氏名、メールアドレス(PC・携帯のどちらでも結構です)、

志望理由、現在履修中の経済学関連科目、面接希望日

(その他、自己紹介・アピール等があれば、自由に書いて頂いても結構です)

7. オープンゼミの日時・場所(予定)

日時：10月5日(木)14:30～ 場所：291ゼミ室

1. 研究主題

「自ら目標を設定し、課題を見つけ、資料を集め、研究する」

これができるようになることを主眼に置き、そのための手段として経済史に関するテーマで学生が卒業論文を書けるようになることを目標としています。卒業論文の題材については、学生の希望を優先してきており、これまでの卒業論文の課題としては、経済史を専門とするゼミとして、地方や中央の銀行・金融史や企業史、産業史など、自分の職業選択に関連するテーマを中心に比較的自由に認めています。

2. 指導要領

自分でテーマを設定し、プレゼンテーションを行います。その中で単に知識の獲得のみならず、また情報を発信する手段、方法、能力などを身に着けることを期待しています。

現在までのところ、前半は読書会、後半は発表・報告を中心にゼミナールは運営されてきていますが、この点については学生の希望を優先する予定です。

卒業論文の評価については、卒業論文としての形式が守られているか（不正はないか、引用方法は正しいかなど）に加えて、十分な独自性のある研究内容を含んでいるかどうかを基準としています。なお卒業論文の最低ページ数はA4で60枚です。

3. 指導テキスト及び参考書

読書会で輪読する書籍は学生と相談して決めます。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

主に面接によって行います。面接では簡単な自己紹介ができるように準備してきてください。また原則として試験は予定していません。ただしスラヴ・東欧諸語の既修者（初級以上）については、語学能力を判定する目的で簡単な口頭試験を行い、その結果に応じて優先的に対応します。

5. 面接・テスト等の日時・場所

2017年11月9日（木曜日）ゼミの時間にゼミ室206で面接します（詳細についてはオープンゼミなどで説明します）。また事前に問い合わせたい場合には、matsuka@onet.euまで連絡してください。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

特に求めているのは読書が好きな人です。また希望者数が予定数を上回ったときに限って、選抜を行います。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

2017年10月5日、12日（木曜日）の3年ゼミの時間のオープンゼミを開催します。

ゼミ紹介白書

< 松家 ゼミ >

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:40
在籍人数(3年生)	9 人
男女比(3年生)	9:0
ゼミ室	206
ゼミの鬼仏表	仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人？

テンションが常に高く、
話のおもしろい先生です。

< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	読書
5	↓
6	↓
7	業界研究など
8	なつ
9	やすみ
10	自由
11	↓
12	↓
1	↓
2	↓
3	↓

<ゼミの日常>

スマブラをしたり、麻雀
をして みんなでワイワイ
遊んでいます。

<卒業生の進路>

保険会社、商社、公務員
食品関係など

<自由記入欄>

基本的に自分たちでやることを決めるゼミです。
自分のペースで取り込みたい人にオススメです。

1. 研究主題

ミクロ経済学

2. 指導要領

3 年次：ミクロ経済学の習熟を目的に、3.の何れかの図書を輪読する。なお、いずれも、市場経済を巡る身近な事例について述べており、理論そのものを解説してはいない。読み進みながら、教員が適宜関連する理論を補足する。

4 年次：卒業論文の指導。

3. 指導テキスト及び参考書

1. John McMillan; *Reinventing the Bazaar: a Natural History of Markets*. (N.Y.: W. W. Norton, 2002). (『市場を創る：バザールからネット取引まで』(ジョン・マクミラン著；瀧澤弘和，木村友二訳)，東京：NTT 出版，2007.)
1. Michele Boldrin, David K. Levine; *Against intellectual monopoly*. (N.Y.: Cambridge University Press, 2008). (『「反」知的独占：特許と著作権の経済学』ミケーレ・ボルドリン，デヴィッド・K・レヴァイン著；山形浩生，守岡桜訳)，東京：NTT 出版，2010.) 同書は、著者の主張に沿って、無料で以下のサイトより PDF ファイルとして入手できる。

<http://www.micheleboldrin.com/research/aim.html>

4. 選考の方法（面接・テスト等）

口頭試験（ミクロ経済学の学力を問う。）

5. 面接・テスト等の日時・場所

11 月 8 日（水）12:30- 13:30; 3 号館 323 番教室

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

周囲に惑わされずに、自らの考えを巡らせることは、個人にとっても社会にとっても必要である。例えば、7 年程前に欧州の共通通貨ユーロへの信認が大きく揺らいでいた。財政の独立した複数の国家が共通の通貨を用いることに矛盾がありながら、1999 年にユーロを導入したことに原因がある。導入時点より 30 年遡った 1969 年に、この問題点は既に指摘されていた。この見解に耳を傾けていたら、国家の統計データを操作してまでユーロ通貨圏に加わったと言われる国は、史実として語られることにはならなかっただろう。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

なし

1. 研究主題

イギリスの EU 離脱と EU の未来、TPP や日・EU 経済連携協定、中国経済の今後など、世界経済には様々な経済問題がありますが、それはどういうことなのか、私たちの生活とどのような関係を持っているのか、なかなか実感がわからない人もいます。ゼミでは、これらの国際経済の問題について調べ、国際経済の理論を学び、議論しながら理解を深め、世界の中での自分の立ち位置を認識し、最終的には、様々な経済問題について、テーマを見つけ、経済学を用いて卒業論文を完成させることをテーマにします。

2. 指導要領

レポーター方式で課題図書や資料を報告してもらい、それをたたき台にして、さらに深く調べたり、議論したりしながら、様々な日本や国際的な経済問題に関して理解を深めて、データや理論の裏付けをもとに自分の意見を持てるように指導します。

3. 指導テキスト及び参考書

最初のテキストは、伊藤元重著『どうなる世界経済 入門 国際経済学』光文社新書、2016 年刊です。次いで、『2018 年版 通商白書』などを用います。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書と面接で選考します。

5. 面接・テスト等の日時・場所

志望理由書:志望理由書のフォーマットを柴山のゼミのホームページ（経済学科 HP→柴山 HP→柴山ゼミの HP）からダウンロードし、記入の上 11 月 6 日(月)までに柴山あて (chisato@res.otaru-uc.ac.jp)「柴山ゼミ応募」というタイトルで送付して下さい。

面接：11 月 8 日(水)15 時～17 時、11 月 9 日(木)14 時半～ 柴山ゼミ室（3 号館 117 号室）で行います。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

ゼミは欠席に比較的甘い講義形式の授業と違い、出席することが大前提です。また、無断欠席や遅刻は、社会人になれば基本的にあり得ない行為です。3 年生になれば、翌年はほぼ確実に就職活動をしなければなりませんので、社会人としての振る舞いを 3 年生から学んで頂きたいと思います。3 年生の時は、欠席は 4 回まで、遅刻 3 回(30 分以上遅れ)で欠席 1 回とします。5 回以上欠席は、退ゼミと心得て下さい。

ゼミ生が主体的に関わってくれることで、ゼミが活気づき、学ぶことが多い楽しい時間を共有することが出来ます。また、ゼミでの活動や学んだことを生き生きと語ることで、就職活動を成功に導いた先輩達もいます。部活だけでなく、バイトだけでなく、ゼミには他の授業にはない幾分か前のめり姿勢で参加してくれる学生の応募を希望しています。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

2017 年度は 3 年生向けは夜間主ゼミのみ開講しています。昼間の 4 年生向けのゼミは、火曜日の 4・5 講目に 213AL 教室で行っていますので、ご興味のある方は、10 月 17 日、10 月 24 日、10 月 31 日に見学に来て下さい。

商学科

Commerce

商学科 開講ゼミナール一覧

穴沢 眞.....	26	鈴木 和宏	40
市原 啓善	27	高田 聡.....	42
堺 昌彦.....	28	高宮城 朝則	43
内田 純一.....	29	中浜 隆.....	45
乙政 佐吉	31	簗本 智之	46
加賀田 和弘	33	林 松国.....	47
金 鎔基.....	34	プラート・カロラス.....	48
近藤 公彦	36	伊藤 一.....	51
坂柳 明.....	38		

1. 研究主題

日本企業の海外進出が拡大するなか、企業は様々な戦略をとりながら、激しく変化する環境に対応しています。今回は日本が強いと言われている製造業を取り上げ、物作りに焦点を当ててみたいと思います。広い意味では国際経営という主題になりますが、これに関連して、多国籍企業による国際生産を総合的に学習したうえで、より深く日系企業の現地生産や受入国への影響について考えてみたいと思います。

2. 指導要領

3年次のゼミはテキストの輪読とそれに基づく討論が中心となります。毎回、1名または2名に報告をしてもらい、それに基づいて議論をします。また、報告者以外の人にもレジメを提出してもらいます。レジメの作成等についてはゼミの最初に説明します。

KJ方やマインドマップなどの発想法の基礎的なことも指導します。希望者には英語での指導も行います。

4年次のゼミは引き続き、テキストの輪読を行います。これとあわせて、卒業論文の作成のための指導を行います。

3. 指導テキスト及び参考書

Grazia Letto-Gillies 著、井上博監訳『多国籍企業と国際生産』同文館出版

穴沢眞『発展途上国の工業化と多国籍企業』文眞堂を予定しています。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接と志望理由書により選考します。自己紹介と志望理由（1200字前後）をA4版1枚にワープロで打ち、研究室（309）のドア・ボックスに11月8日（水）午後5時までに提出して下さい。

5. 面接・テスト等の日時・場所

11月9日（木）午後2時半からゼミ室（316A）で面接を行います。当日都合の悪い人は事前に連絡をして下さい。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

卒業論文を全員に書いてもらいます。

自分で考え、行動することが重要です。何事においても受け身にならず、積極的である人になってもらいたいと思います。

1. 研究主題

財務会計論、税務会計論（任意）。

2. 指導要領

【前期：基礎編】

・ 財務諸表を構成する基礎的な理論や構造を理解し「財務諸表分析」「株式市場」「企業価値評価(valuation)」の基礎について学習します。

【後期：実践編（基礎コース・応用コース）】

・ グループまたは個人ごとに興味のあるテーマを設定し、調査・研究を行います。
・ 希望する学生に対しては、業種を問わず、民間企業への“就職活動”や“ビジネスの現場”で役に立つ、グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション、企業・経営者・実務家等との対談などを通して、ビジネススキルの習得も支援します。

・ 学生ベンチャー（株式会社）の起業・設立（任意）

「株式会社 AiLLiS」「株式会社 Cac-tus」の経営に「取締役」として参画頂くことも可能です。

3. 指導テキスト及び参考書

伊藤邦雄（2014）「新・企業価値評価」 日本経済新聞社

※ゼミ生の関心のある分野（財務会計、財務分析、税務会計、コーポレートファイナンスなど）に応じた基本書を選定することも可能。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接のみ。指定する「申込用紙」に必要事項を簡単に記入して当日ご持参ください。

※申込用紙は、メール（ichihara-h@res.otaru-uc.ac.jp）でご請求頂くか、
右の Web-Site よりダウンロードし、A4 用紙（両面印刷）でご利用ください。



5. 面接・テスト等の日時・場所

日にち： 2017 年 11 月 7 日（火）

時間： 申込期間終了後、掲示にて御連絡いたします。

場所： 1 号館（研究棟）301 号室

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

【1 期生・2 期生の主要内定先】 札幌市、三菱東京 UFJ 銀行、農林中央金庫、ゆうちょ銀行、日本政策金融公庫、味の素、サントリー、キッコーマン、旭硝子、日本生命、明治安田生命、第一生命、住友生命、損保ジャパン日本興亜、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保、SMBC 日興証券、東海東京証券、岡三証券、三菱 UFJ リース、旭川信用金庫、札幌商工会議所、コープさっぽろ、…他多数（内定率：100%、卒業率：100%）

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

オープンゼミ及び合同説明会は実施しません。ご質問・ご相談のある方は、直接教員までお尋ねください。ゼミの雰囲気や活動内容等については Web-Site もご参照ください。



【Web-Site】 <http://cac-tus.wix.com/cactus>

1. 研究主題

本ゼミは管理会計を主題とします。管理会計は、会計を中心にさまざまな情報を組織の経営管理に役立てていくためのものです。管理会計を適切に活用するためには、会計システムについての基本的な理解に加えて、組織が選択している戦略についての知識と、組織の構造とプロセスについての知識が必要となります。本ゼミでは、これら会計・戦略・組織の3つの要素に加えて基本的な分析の考え方を学ぶことで、組織分析と戦略立案が行えるようになることを目指します。

2. 指導要領

ゼミは発表とディスカッションが中心となります。テーマは、3年次では、会計・戦略・組織についての基礎的な知識に関するものを扱っていきます。また、並行して習得した知識を使って実際の企業の分析を行なっていきます。4年次からは、卒業論文の完成を目指して、各自が関心のあるテーマを設定し発表を行うこととなります。

3. 指導テキスト及び参考書

ゼミで用いるテキスト等については、進行状況に合わせて適宜指定します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

選考は、面接で決定します。志望理由書の提出は要求しませんが、志望理由については重要な判断材料としますのでしっかりと考えてください。会計の知識については、ゼミの2年間で修得するというスタンスですので、選考時には特に問いません。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接日・場所は11月7日（火）ゼミ室を予定しています。11月2日（木）夕方までに私の研究室（444研究室）の前に面接時間を貼り出しますので、希望者は確認するようにしてください。時間の都合がつかない場合は、日程を調整しますので、msakai@res.otaru-uc.ac.jpまで連絡してください。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

面接では、自身が何に関心を持っているのかと、ゼミの2年間でやってみたいことを中心に聞いていくこととなりますので、この2点について自分なりの考えを明確に持っておくと良いかと思います。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

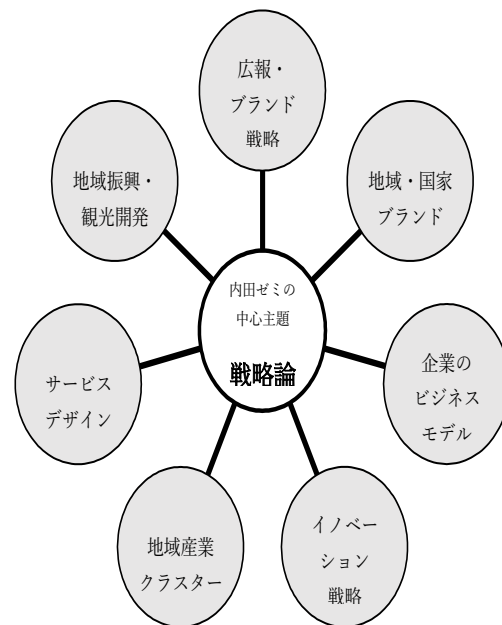
オープンゼミは、10月10日（火）、10月17日（火）、10月24日（火）のそれぞれ14時半からとなります。場所はゼミ室です。

1. 研究主題

「経営戦略論」担当教員が開講する戦略研究を中心としたゼミです。

戦略研究の対象は、広報・ブランド戦略、地域振興・観光開発、地域・国家ブランド、企業のビジネスモデル、サービスデザイン、イノベーション戦略、地域産業クラスター、といったように様々な応用分野があります。ちなみに、これらはいずれも担当教員がこれまでに研究してきたり、教育に携わってきたりした戦略論の応用分野です。

経営戦略論を中心とする諸理論を身につけて、現実課題の解決のために「戦略的に」アプローチできる思考法と実践スキルの獲得を目指します。なお、本ゼミは2018年度から開講される新しいゼミです。



2. 指導要領

3年次前期は経営戦略論の基礎的文献の輪読を進めます。

3年次後期からは徐々に、ゼミ生各自の関心に基づいて、広報・ブランド戦略、地域振興・観光開発、企業のビジネスモデル、サービスデザイン、イノベーション戦略、地域産業クラスター・・・（ここにあげた分野に限らず戦略論に関わりがあればOK!）などの応用的文献を読み込み、ゼミ内で要点を報告しさらにゼミ生間での議論を行うための材料を提供していただく予定です。4年次は卒業論文指導が中心になります。

なお、担当教員は商学部の隔年開講科目「経営戦略論」の他に、ビジネススクール（OBS）で「サービスマネジメント」や「ビジネスプランニング」といった実務家向け講義を担当しています。担当教員もビジネスマンを経験していますので、理論だけでなく実践的な内容を求めている方にもなるべく対応していきますが、一方で研究者養成型の大学院にも長く勤務していたので、卒業論文のためのアカデミックライティングや研究手法の指導にも力を入れていく方針です。文章を書くことが好きな人でないとキツイと感じるかもしれません。



OBS パンフレット 2018 年版（表紙は内田）

3. 指導テキスト及び参考書

基礎的文献はゼミ生と相談の上で決定します。一つの候補としては以下があります。

●内田純一（2009）『地域イノベーション戦略ーブランディング・アプローチー』芙蓉書房出版

応用的文献はゼミ生の興味・関心を尊重しますが、多読をいとわず、どんな分野の本にでも関心を持つ知的好奇心が（別のゼミ生が選んだ本についてもゼミ内で議論するため）求められます。しかし、そうした広い視野は、皆さんが将来ビジネスマンになって以降、新商品・新サービスを発想したり、企業や組織の窮地を斬新な戦略で乗り切ったりといった場面で、きっと財産になるはずですよ。

ところで、ゼミ選定前に「経営戦略論について手っ取り早く知りたい!」という方には、以下の文献がマンガでわかりやすく経営戦略論の発展の流れが書かれていてオススメです。

●三谷宏治（2016）『マンガ経営戦略全史 確立篇』PHP 研究所

4. 選考の方法（面接・テスト等）

下記の三種類の文書を、Microsoft 社の Word、TXT、PDF 等の一般的な形式の電子ファイルで作成し、メール添付にて 10 月 31 日（火）までに担当教員（uchida@res.otaru-uc.ac.jp）宛に提出してください。

（11 月 2 日（木）までに受信確認メールが返送されない場合、不着の可能性があるので再送のこと）

① 「書評」課題

本学図書館所蔵図書のなかからジャンルを問わず自由に図書を選び、書評を作成してください。

■書評対象図書

原則として本学図書館所蔵の図書であること（所蔵が確認できればどこで本を入手しても構わない）。

■作成要領

書評とは、本の内容紹介・分析を行い、それに関して客観的かつ論理的に評価・批評をした文章のこと（新聞の日曜版などに掲載される「書評欄」が具体例）。

書評作成にあたっては、書籍全体の内容・意図を把握し、論点を整理する必要がある。論点を抽出するには、何らかの基準に頼る必要があるが、作成者がすでに保有する知識や実際に経験した事実などはそうした基準になり得る。自らの知識・経験をもとにしつつも、なるべく客観的な論評を行うこと（本要領は、北海道教育大学図書館や明治大学図書館が開催した書評コンテストの要領を参考にしている）。

1. 字数：1,200 字程度（800 字以上～1600 字未満：400 字詰め原稿用紙 3 枚程度）

2. 書式：自由。書評タイトル、対象図書の書名・著者名・出版社名を併記

② 面接用「自己紹介文」

選考面接の参考資料となります。

■書式

自由。通常の履歴書や就職活動用エントリーシートなどのフォーマットを使っても可。分量は A4 用紙 2 枚程度でよいが制限は特に設けない。図、写真なども使用可。Microsoft 社の PowerPoint での提出可。

■記載内容

志望理由や、あなたが研究したい内容、自己アピールにつながる特記事項など、何を記入してもよい。

③ 面接対応可能日・時間リスト

面接対応が可能な 11 月 7 日（火）から 11 月 10 日（金）までの空き時間リストを提出してください。Microsoft 社の Excel 等でリストを作成しても構いませんし、上記二つの文書の送信時に、メールの地の文に「○日の△講目」「○日の△時以降」といった具合に行を書き加えていただくだけでも結構です。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接は 11 月 7 日（火）以降に実施します。上記③のリストにもとづき、指定日・時間をメールします。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

新規に開講されるゼミのため、履修希望者の方は、あらかじめ担当教員の専門分野をよく調べ、自分に合ったゼミであるかを、念入りにご判断いただけますようお願いします。

なお、担当教員は個人ホームページ（<http://www.otaru-uc.ac.jp/~uchida/>）において研究内容や関連情報を発信していますので、ゼミ選びの参考にいただければ幸いです。



個人ホームページ

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

次年度から開講されるゼミのため、オープンゼミはありません。

1. 研究主題

管理会計（原価計算およびコストマネジメントを含む）が研究の対象となります。ケース、雑誌・新聞記事、インターネットのようなさまざまな媒体から獲得できる資料も使用しながら、企業経営において管理会計がどのような働きをしているのかについて学んでいきます。なお、研究対象は企業組織が基本となりますが、役所や病院のような非営利組織、アルバイト先の職場、クラブ・ゼミ、家族なども「組織」の1つです。本ゼミでは、企業組織だけでなく自らの身近な組織についても、管理会計の視点から考えていくことを主題としています。

2. 指導要領

初年度においては、管理会計に関する基本知識を身につけるため、テキストを輪読します。輪読の際には、事前に報告者を決めて発表してもらいます。発表を通じて、プレゼンテーションの方法やレポートの書き方、あるいは、議論の仕方などを学びます。第2年度からは、各自の研究テーマについて報告してもらいます。研究報告・討論を順次積み重ね、コミュニケーション能力および問題発見・問題解決能力を高めながら、卒業論文を作成していきます。

3. 指導テキスト及び参考書

テキスト・参考書については開講時に指示します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書と面接によって選考を行います。A4用紙に、①学籍番号、②氏名、③所属学科、④メールアドレス（PC・携帯）、⑤志望動機、⑥その他（趣味、特技、ゼミでやってみたいこと、最近不思議に思っていること等）を記入の上、写真を貼付して、11月7日（火）までに乙政研究室（1号館422号室）前メールボックスに提出してください。様式・枚数は自由です。

5. 面接・テスト等の日時・場所

11月9日（木）14時半より面接を行う予定です（詳細は後日掲示）。志望理由書をもとに、希望者各位に自己PRをしてもらい、質疑応答を行います。面接会場は、乙政ゼミ室（3号館419号室）です。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

知的好奇心あるいは知的功名心旺盛な方を募集します。ゼミナールは、特段の事情がない限り、毎回出席することを求めますが、ゼミナール活動を通じて毎回新たな発見ができるよう努めていきたいと思っています。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

- ① 10月12日（木）14時半より乙政ゼミ室（3号館419号室）にて
 - ② 10月19日（木）14時半より乙政ゼミ室（3号館419号室）にて
- ※日時・場所に変更がある場合、ゼミ室前に掲示します。

ゼミ紹介白書

< 乙 政 ゼミ >

開講日時	曜日 14:30 ~ 16:00
在籍人数(3年生)	10人
男女比(3年生)	8:2
ゼミ室	3号館 4階 417教室
ゼミの鬼仏表	①仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

生粋の大阪人でいつも
みんなを笑わせてくれます!
ゼミ生とはとてもフレンドリー
に接してくれます!

< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	ゲーム (主な行事)
5	プレゼン大会
6	映画鑑賞
7	BBQ
8	↑ 夏休み
9	↓
10	フリースタイル
11	人生ゲーム作り
12	大もうじ
1	未定
2	↑ 春休み
3	↓

<ゼミの日常>

ゼミ生 1人1人がゼミで行いたい
活動をプレゼンし、ゼミ全体で
承認された活動を毎回の
ゼミで行っています。
基本的にゼミの時間以外での
活動はありません!

<卒業生の進路>

今年から開講です。

<自由記入欄>

オープンゼミに越られた方には

「たこ焼き」をふるまいます!

1. 研究主題

地域活性化、少子高齢化、人口減少、環境問題、ワークライフバランス、LGBT 対応等のいわゆる企業の社会的責任（CSR、CSV）や企業不祥事など現代社会において関心の高まっている「企業と社会」をめぐる様々な課題に対し、企業経営（経営学）の観点からどのように対応すべきかについて具体的・理論的・実証的に研究する。

2. 指導要領

3 年次 前期（7 月まで）：文献研究、グループ研究発表を通じた基本的な知識の習得。
インゼミに向けてのグループ研究課題の設定への助言。研究を進めていく上で必要な財務分析、統計解析手法の習得。
後期（8 月以降）：他大学（慶応・専修・関学）とのインゼミ（研究討論会：11 月上旬開催予定）に向けてのグループワークおよびそのブラッシュアップ。11 月以降は研究指導の補足、卒業論文へ向けての指導など。
注意 8 月下旬開催予定の日韓大学生学術シンポジウム（於韓国）への参加は必須。
4 年次 卒業論文の中間報告と討論及び助言。

3. 指導テキスト及び参考書

追って指示する。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

ゼミ志望理由書及び面接による。（2 年次直近までの単位取得状況並びに学業成績も参考にする。）

5. 面接・テスト等の日時・場所

追って掲示板等にて連絡する。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

ゼミはあくまで学生主体であり、学生の自主性・自律性を尊重するが、ゼミのモットーとして「ゼミ生同士は信頼関係が一生続く仲間である。」と「勉強も遊びも何でも一生懸命。」の 2 つを掲げている。当ゼミ生には上記モットーを実現するために、あらゆる場面において、それぞれが得意な形でゼミへの自発的かつ積極的な貢献が求められる。同時に担当者である私も、学習面のみならず、人間関係の構築、ゼミ生同士の相互交流、自由かつ快活な雰囲気作りなどゼミ活性化のためのあらゆる努力を惜しまないつもりである。

今回の募集は当ゼミにとって第 8 期生の募集であるが、2016 年度、2017 年度はゼミが非開講であったため、2018 年度 3 年次ゼミ生には 4 年次ゼミ生が存在しない状況である。ゼミの先輩がいない事による不都合は生じるかもしれないが、その分ゼミの歴史や文化を自分たち自身の手で再構築する機会が与えられている。

当ゼミのモットーに共感し、かつ上に挙げた「研究主題」に真摯に取り組む意思と意欲と能力を有する学生の志望を歓迎する。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

2017 年度のゼミは非開講であるが、10 月 12 日（木）と 17 日（火）の 4 講目は担当者がゼミ室（3 号館 107 室）に待機しているので、ゼミ志望者はできるだけ訪問し、ゼミ運営や選抜方法等に関する疑問点などあれば気軽にご質問頂きたい。

1. 研究主題 <グローバル時代の人材管理>

企業は人なり。お金をはじめ、技術や情報など、企業にとって重要な経営資源はほかにもある。だが、そのすべてを動かすのは人であり、またほかの資源とちがって簡単に融通できるものではない。人材こそ企業の長期的興廃をにぎる鍵。優秀な日本企業がこれまでよって立ってきた考え方である。しかし一方で、押し寄せるグローバル化の波は新たな挑戦を突きつけつつある。その波に乗れるか、呑み込まれてしまうか。それともひたすら波を避けてもう一つのガラパゴスになるのか。日本は岐路に立っている。近年、外国出身者の採用を増やしたり、英語を社内公用語にする企業も増えつつある。それでも、ほかの経営資源に比べ人間の活動はより複雑であり、そのグローバル化にはいろいろ制約も多い。本ゼミでは、人材管理の基本理論を軸に、日本の経験だけでなく、発展経路や段階の異なる他国との比較を混ぜながら、また異文化接触によって生じるさまざまな現象に注目しながら、こうした問題への理解を深めていく。

2. 指導要領

以下の二方法を併用する。

1) 文献輪読型： 指定された文献を読み、輪番で報告者を決め、ゼミの場で報告、ディスカッションを行う。

2) 課題解決型： 指定された課題に対し、各自で情報や知識を集め報告書をまとめ、ゼミで報告する。

※ゼミでは日本語が基本となるが、英語文献を多用し、英語によるプレゼン(報告)もある。学生には英語力アップを目指してほしい。ただし、英語の使用頻度はメンバーの語学レベルに応じて決める。

3. 指導テキスト及び参考書

初日に基本文献を紹介する。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接で決める。面接当日、以下の二点を持参すること。

①ゼミ志望理由書： A 4 紙 1～2 枚、氏名、学番、連絡先（電話、e-mail）、ゼミ志望理由を書く

②成績証明書（写しでも可）

5. 面接・テスト等の日時・場所

下記二つのうち、都合のよい時間を選ぶこと。

日時：11 月 14 日(火) 12:00

11 月 16 日(木) 12:00

場所：金の研究室（1 号館 519 号室）

※上記の時間帯に都合のつかない学生は事前に連絡して相談すること。kim@res.otaru-uc.ac.jp

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

前記 2. 指導要綱を見よ。毎年イベントは、学年共同の新年会、花見、その他がある。留学を目指す学生には柔軟に対応する。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

オープンゼミ期間中は自由に参観できる。ただしガイダンス（5 分）はゼミ開始直後に一回だけ行う

ゼミ紹介白書

< キム 金 ゼミ >

開講日時	進捗によっては早まることあり 木曜日 14:30 ~ 17:40
在籍人数(3年生)	10人
男女比(3年生)	7:3
ゼミ室	205B (グローバルラウンジ隣)
ゼミの鬼仏表	仏 ・ (普通) ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

★ 金 鎔基 (KIM Yongki) 先生!
 ★ 労働経済や労務管理が専門です!
 ★ 韓国人ですが、英語も日本語も流暢です!
 ★ とてもおしゃめで、私的には「笑った彦良が」好き!
 ★ そして、仏かと思うくらい怒らない!!

< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	お花見
5	
6	
7	
8	夏休み ↓
9	
10	
11	
12	
1	新歓
2	春休み ↓
3	

<ゼミの日常>

★ 先生の気分にもよりますが、使用文庫は基本英語で、たまに日本語です。笑。
 ★ 内容は、Human Resources, クリエイティブ資本論などについて学んでいます。
 ★ ゼミの流れは、毎週1人が当てられた範囲のプレゼンをし、その後内容を深く読み進めていきます。

<卒業生の進路>

<自由記入欄>

ゼミ生の気分がたこぱをしたソ、飲み会をしたソ仲の良いゼミです。
 英語を使って学びたいという人は是非!!!

1. 研究主題

このゼミの主題は、大きく2つあります。①学生ベンチャー、株式会社 i-vacs（アイバックス）の企画・運営を行います。②製品開発、ブランド、価格、流通チャネル、プロモーション、営業などマーケティングに関するケース（事例）研究を行い、実践的な分析・戦略立案能力を養います。また、経済学科・江頭ゼミ、社会情報学科・大津ゼミ、沼澤ゼミとのディベート大会を予定しています。

2. 指導要領

①ゼミ生は(株)i-vacs の社長、役員、社員として会社の運営を行います。これに関わる活動すべてが経営・マーケティングの実践です。②ケース分析では、ケース資料を読んで問題点・課題を分析し、それを克服する戦略案を用意し、クラスディスカッションを行います。いずれの場合も、教員はあくまでファシリテーター（促進者）であり、ゼミ生の主体的な参加が不可欠です。なお会社組織運営のため、ゼミは4年生との合同となります。

3. 指導テキスト及び参考書

ケース・メソッド資料、ならびにビジネス雑誌のケース資料（コピーして配布します）

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接を行いますので、次の要領で資料を提出してください。

- ① 標準的な履歴書の様式に沿ってプロフィールと自己紹介を行い（※ゼミ確定時に名前と顔を一致させるため、写真添付のこと）、
- ② 別紙でゼミの志望理由を A4 用紙にまとめてください（枚数自由）。

これらの資料を11月6日（月）、17:00 までに近藤研究室（1号館328号室）ドア横のボックスに提出してください。

5. 面接・テスト等の日時・場所

日時 11月9日（木） 15:00～ 具体的な面接のスケジュールと面接場所については、別途、掲示します。

なお、どうしても都合の悪い学生は、次のアドレスにご連絡ください。kondo@res.otaru-uc.ac.jp

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

図らずも「ガチゼミ」と呼ばれていますが、そんなことはありません。ゼミ活動はゼミ生の自主性・積極性に任されています。勉学に、会社運営に、各種ゼミ行事にと、決して楽なゼミではありませんが、その分、ゼミ活動を通じて大きく成長できると確信しています。また実際の会社の企画・運営に携わることは、学問とビジネスを結びつける非常に貴重な機会となります。なお、近藤ゼミは株式会社組織であり、会社運営を円滑に行うため内定者は決定後、すぐにゼミ活動に参加していただくことになります。密度の濃いゼミになりますが、その関係は卒業後も続く仲の良さにもつながります（卒業生によるゼミ関東支部、関西支部あり）。気力、知力、体力のみならずゼミ生の皆さんと共に過ごせる時間を楽しみにしています。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

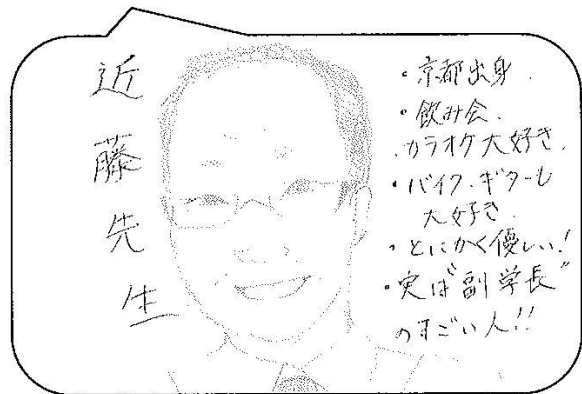
- ・ 10月5日(木)、14:30～、場所は後日、掲示（主に i-vacs の紹介。近藤は当日、不在）
- ・ 10月12日(木)、14:30～、同上（主にケース分析）
- ・ 10月19日(木)、14:30～、同上（4ゼミ合同ディベート大会）

ゼミ紹介白書

<近藤ゼミ>

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:40
在籍人数(3年生)	14人
男女比(3年生)	男 6 : 女 8
ゼミ室	3号館 113 / 活動場所 5号館 AL 教室
ゼミの鬼仏表	仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?



< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	花見
5	ディベート①
6	緑丘祭出店
7	ディベート②
8	NOMIPON開催!!!
9	ゼミ合宿!!!
10	ディベート③
11	2年生顔合わせ
12	忘年会, ディベート④
1	新年会, NOMIPON合宿!
2	通いコン, 株主総会, ケスコンペ
3	卒コン

冬NOMIPONも開催されます!!

私たちは、ゼミ活動として、
「株式会社i-vacs」を運営しています!!
企画、広報、営業、経理、総務に分かれ、隔週で部署会議。またはマーケティングに関するケース分析を行っています!
実践的なマーケティングを学んでいます!!

<卒業生の進路>

Microsoft, HP, サッポロビール, じゃらん, コカ・コーラ, サントリー, 味の素, 明治安田生命, 三井物産, ミズリ, HTB, IHI, 三井住友海上, 北ガス, 竹中公務店, 富士フイルム, 日本生命, リクルート, 北洋銀行, 公務員 ... etc ...

<自由記入欄> ※ケース分析は通年でやっています!



本気で学びたい人。
本気で遊びたい人。
待っています。

飲み会好きも大歓迎!!

1. 研究主題

財務会計論及び監査論。会計・監査分野の研究を行う上で、制度や文献上の内容を理解することは重要であるが、文献や制度による思考の呪縛を受けるのは、何か新しいものを生み出す上では障害になる。文献や制度は、何が問題になっているのかを把握するための素材であり、自らが構築した理論によって分析される対象ではあるが、「与件」ではない。特定の状況に直面した監査人の対応や、特定の場面での会計処理が、現実の制度や文献で想定されている世界を尊重しながら、論理的にはどうなるのかを自分の頭でよく考えることや、そもそも議論になっている状況が十分網羅されているのかについての調査を行うことが、研究の第一歩であり、そうした地道な作業を経て形成された論理体系が、既存の考えに強固な理論的基盤を与え、新しい知見及びそれに基づく制度を生み出すことになる。この研究指導では、以上のような一連の営みを可能にするための思考訓練に重点を置きます。総じてこのゼミは、分析力を養うためのゼミです。

2. 指導要領

表面的な知識による「言い合い」を避けるため、まず、指定する財務会計あるいは監査論のテキストとの関係で、いくつかの論点を解説する。このような解説を何回か行うことによって、3年生は個人研究を進め、報告することができるようになり、4年生は卒業論文の執筆を進め、報告することができるようになる。

これまでの研究指導では、例として、割賦販売の収益認識規準としてよく知られている、「回収基準（未実現利益整理法）」を取り上げた。(1)：この基準（方法）のもとでは、①：「売上収益」の認識には、商品等の引渡し時点で売上収益を認識する「販売基準」が採用され、②：売上総利益の計算段階で、「繰延売上利益控除」と「繰延売上利益戻入」が考慮された上で、「回収基準に従ったとした場合の売上総利益」が計算されるが、売上についての収益認識規準として「回収基準」を採用すると言いながら、上記の①に見られるような、「売上収益の認識に「販売基準」を採用する」という考え（※）が、「企業会計原則 注解6」の、「割賦販売については、商品等を引渡した日をもって売上収益の実現の日とする」（傍線筆者）ことを根拠にしているとしたら、そのような考え（上記の※）には、どこまで合理性があるだろうか。というのは、[1]：上記の「割賦販売については、商品等を引渡した日をもって売上収益の実現の日とする」という考えは、商品代金の回収が長期にわたる割賦販売を問題にする場合でも、収益認識規準として、割賦金の回収時点で売上収益を認識する「回収基準」ではなく、商品等を引渡し時点で売上収益を認識する「販売基準」が採用される余地がある旨を示しているに過ぎず、[2]：「回収基準」については、同じ「企業会計原則 注解6」の、「しかし、割賦販売は通常の販売と異なり…割賦金の回収期限の到来の日又は入金の日をもって売上収益実現の日とすることも認められる。」（傍線筆者）で定められているに過ぎない、という解釈が成立するからである。この解釈に従うと、実務上採用されているかどうかではなく、研究上の議論として意味のある「回収基準」は、商品等の引渡し時点で、即ち、「販売基準」によって売上収益を認識し、売上総利益の計算段階で、「回収基準に従ったとした場合の売上総利益」を計算する、「回収基準（未実現利益整理法）」ではなく、割賦金の回収時点で売上収益を認識する「回収基準（対照勘定法）」ということになるが、(2)：それにもかかわらず、「回収基準（未実現利益整理法）」が採用される余地はあるのだろうか。あるとしたら、その根拠はどこにあるのだろうか。研究指導では、上記の(1)及び(2)のような論点を取り上げた。なお、以上の議論は、「回収基準（未実現利益整理法） VS. 回収基準（対照勘定法）」という図式に基づいて行われたが、この図式にとらわれないで、一から割賦販売の収益認識規準問題を考えた場合に、どのような議論が展開されるのかについて、関心のある学生さんは、sakayana@res.otaru-uc.ac.jp まで連絡頂ければ、と思います。懇切丁寧に説明します。

3. 指導テキスト及び参考書

追って指示する。なお、『会計法規集』（研究指導開始時点で最新のもの）を用意しておくこと。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接と志望理由書によって選考します。①：自己紹介、②：志望動機について記した志望理由書（A4で1～2枚（900字以上1,500字以内））を、11月5日（日）18:00までに、sakayana@res.otaru-uc.ac.jp宛てに、添付ファイルで提

出してください。志望動機には、簿記等の会計系の科目に接して、何がどのような点で興味深かったかを含めてください。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接日時：11月6日（月）14：30～。面接時間：10～15分程度。面接場所：ゼミ室（115室）。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

簿記原理の単位及び応用簿記の単位は修得済みであること、また、簿記原理及び応用簿記の成績は、良い方が大変望ましいです。

議論の相手が納得しないまま、常に自身が主導権を握って、相手を黙らせようとする「議論」をよく耳にします。このゼミでは、そうした理不尽かつ意味のない「議論」ではなく、先に提示されている主張が合理的であるかどうかを、その主張が想定する世界（議論の土俵）に入り、その主張が成立するかどうかを十分吟味した上で、その主張が不合理であれば、新たな主張を行う訓練をします。大学院への進学を考えている人は、面接時にその旨を伝えて下さい。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

日時：10月12日（木）；14時40分～15時10分

場所：ゼミ室（115室）

1. 研究主題

このゼミでは消費者行動論およびマーケティング論の双方の視点から、企業のマーケティング活動の在り方について検討します。具体的な演習内容や研究テーマは各履修者の興味・関心により決定します。

2. 指導要領

消費者行動論およびマーケティング論における専門知識の習得と活用に加え、将来、働く上で必要であると思われる論理的思考力、表現力（プレゼン能力、文書作成能力）、コミュニケーション能力（ディスカッション、協業能力）の養成を目指します。また、生涯を通じた仲間づくりもゼミの目標としています。扱う文献、行う演習などの詳細については話し合いにてゼミの内定者に決定してもらいます。尚、昨年度は下記のような内容となりました。

① 3年前期：基礎文献および応用文献の輪読

マーケティング論および消費者行動論に関する文献の輪読（内容のプレゼンおよび議論）

② 夏季休暇：他大との合同演習

他大との合同ゼミ合宿（9月中旬）※各ゼミ生、自費により実施

③ 3年後期：実践力養成型演習と卒業論文への準備

本格的なインカレ戦略立案コンペ（アンケート調査、統計分析、戦略立案）、卒業論文のテーマ決定

④ 4年前期・後期：卒業論文の作成

前期：前年度に決定したテーマを精緻化（半期で1～2度の報告）、ただし就職活動を優先

後期：卒業論文の進捗報告（月1～2回程度）

3. 指導テキスト及び参考書

履修者の興味・関心により書籍および論文を選定します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

エントリーシートおよび面接（留学中はskype）等で選考します。現役ゼミ生も選考に加わります。

5. 面接・テスト等の日時・場

【エントリーシートの作成】

- ①自己紹介、②志望動機、③ゼミで行いたいこと等について、WordもしくはPowerPointにて作成してください。
書式・表現方法は自由ですが、読み手への伝わりやすさを意識して作成し、A4用紙2枚以内にまとめてください。
屋間コースであれば所属学科は不問、留学予定者の応募もOKです。

【エントリーシートの提出】

- 10/31（火）20:00 までに連絡がつくメールアドレスから、kazu-suzuki@res.otaru-uc.ac.jp（商学科・鈴木）へエントリーシートを送信してください。

【面接日時】

- 土曜日・日曜日を除く11/7（火）～11/17（金）における10:00～17:00に実施します。具体的な時間と場所は11/3（金）にメールで連絡します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

今回は五期生の募集となります。消費者行動やマーケティングへの興味関心だけではなく、「仲間と共に有意義なゼミ活動を行いたい」という想いがある仲間を募集します。本気で話し合い、全力で取り組んだ経験を共有できるようなゼミの仲間は、一生の財産となると思います。私としてもこれをサポートできるよう最大限努力します。質問等はkazu-suzuki@res.otaru-uc.ac.jpまでお気軽に。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

日時：10月5日（木）と10月12日（木）、10月19日（木）の4時間目を予定、場所：ゼミ室

ゼミ紹介白書

< 鈴木 ゼミ >

開講日時	～17:40か～19:00かは 自分たちで決めます!!
木曜日	14:30 ~ 19:00
在籍人数(3年生)	14 人
男女比(3年生)	4 : 10
ゼミ室	412 (少し遠い)
ゼミの鬼仏表	勉強は/ 仏 ・ 普通 ○ 鬼

Q. 先生はどんな人?

#新婚 #愛妻家 #奥さん超美人
#やさしさのかたまり
#山ほめてくれる
#関西人 #消費者行動論
#タリッ #ラーメン
ゼミ生の自由を尊重しながら
見守ってくれています。
教員の方も上手いので最高です。



< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	輪読開始! ゼミ室改造
5	お花見(ボウリング)
6	緑丘祭 フォボット! ウォーリー!
7	ミルワプラント
8	タコバ・フオンデュ・海
9	TOKYO合宿 ついでにディズニー!
10	オータムフェスト
11	
12	2年生と顔合わせ、ワリパ
1	戦略立案コンペ
2	温泉旅行
3	

<ゼミの日常>

- マーケティング・消費者行動論の教科書輪読
毎回数人が1人ずつ担当範囲をパワポで解説!
しお菓子をつまみつつ、真面目に議論しつつ、
和気あいあいと頑張ります!
- 飲み会・ごはん・イベントでリフレッシュしちゃう
し何かと理由をつけてリフレッシュします!
その成果もあり、ゼミ生は仲良しです!

※ 留学中! という場合でも受け入れています!

<卒業生の進路>

富士通, KOKUYO, 札幌市役所,
バンチャー etc...

<自由記入欄>

毎年、ゼミ生が自分たちでゼミの方針を決めて、それを先生がサポートしてくれます。
マーケティングや消費者行動論に興味ある人は是非! 理論から実践まで学べます!
歴史の浅いゼミなのでやりたいことを提案したらどんどん採用してもらえます!
学年によって個性もさまざまなので自分たちらしく楽しめます!! (ゼミ室を土足禁止に改造したり!)
勉強も遊びも全力で楽しめる仲間をおまちしております!

1. 研究主題

経営史，なかでも，仕事観（史）など，企業と人のかかわりを中心とする歴史分析。

2. 指導要領

3 年次：テキストの輪読・討論が主体（活発な討議のなかで問題関心と分析力を養いたい）。ただし，ゼミナリスト各自による個別テーマ報告の機会もなるだけ多く持ちたい。

4 年次：輪読・討論および論文の作成（ゼミナリスト間の切磋琢磨を通じて論文作成を図りたい）。

3. 指導テキスト及び参考書

未定。ただし輪読文献の候補のうちには，テーマに関する古典的な研究，および/または，海外（とくに米国）の工業化に関する本格的な通史文献，を含めたい。参考までに近年輪読することの多い文献を例示すれば，以下の様な次第。

1. マックス・ヴェーバー著（大塚久雄訳）『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』 岩波文庫

2. Reinhard Bendix; with a new introduction by Mauro F. Guillen, *Work and Authority in Industry: Managerial Ideologies in the Course of Industrialization*, Transaction Publishers（旧版部分には邦訳あり）

3. 宮本・阿部・宇田川・沢井・橘川著 『日本経営史』 有斐閣

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接と志望理由書によって行う。

面接用に履歴書を用意してください。履歴書には氏名，学生番号，特記したい学内外での活動，などを書いて下さい。

A4 用紙に箇条書きがありがたいです。

志望理由書は A4 用紙を用い 800 字程度にまとめて下さい。

ふたつの書類のどれにも，名前と学生番号を忘れずに。

5. 面接・テスト等の日時・場所

履歴書と高田ゼミ志望理由書を 11 月 7 日（火）昼休みの 12：00 から 12：40 の間に高田ゼミ室（3 号館 4 階，室番号 421－A）に持参して下さい。この時に各自に面接の日時をお知らせします。面接は 11 月 9 日（木）から 11 月 14 日（火）の間を予定。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

ゼミ運営の基本は，私を含めたゼミ構成員皆で議論しながら，活動を進めていくことにあります。ただし，以下の 2 点は私からの強い要望です。

1. テキスト輪読の際は，報告者だけでなくゼミ生全員が要約・コメント等を毎回用意することを原則とする。

2. プレゼミとして 2018 年 4 月初頭までにゼミでの研究の導入となる文献をノートを取り読んでくる。文献は内定後に指定し，連絡する。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

原則，当該期間中の火曜ゼミ時間内に適宜半時間ほど設定し，時間帯等の詳細は当日までにゼミ室ドア近くに掲示の予定です。

1. 研究主題

流通システムとマーケティングの動態に関する理論的・実証的研究に取り組みます。

2. 指導要領

当ゼミではマーケティングや流通現象を素材として、物事を適切に把握するためのスキルを学ぶことを主眼とします。具体的な取り組み事項は次の通りです。

- ① 基礎文献（テキスト）、応用文献の輪読（3年、4年）
 - ・文献を読み毎回の課題を作成し、クラスで課題を報告しディスカッションする。
- ② 研究プロジェクト（3年：グループ研究、4年：卒業論文）
 - ・研究テーマ・研究課題の設定
 - ・研究方法の習得（情報探索、調査技法）：現場に出向いて調査をする。
- ③ 読書課題（3年）

3. 指導テキスト及び参考書

池尾恭一『入門・マーケティング戦略』有斐閣 2016年

4. 選考の方法（面接・テスト等）

書類および面接により選考を行います。志望者は下記の文書を作成し、面接時に持参してください。文書はワープロを用いてA4判用紙に印刷して提出してください。

① 志望理由書：自己紹介と当ゼミ志望理由を1,000字（A4判1枚）程度で書くこと。
マーケティングをなぜ学びたいのか、将来の進路などを明確に書いてください。

② ミニ・レポート：次のテーマについて2,000字（A4判2枚）程度で書くこと。
自分自身が直接かかわる日常的な活動（部活、アルバイト、地域活動、趣味嗜好など）を対象として選び、マーケティングの面から分析してください。やっているバイトの内容や好きな店・ブランド・読んだ本など何でも結構ですが、それに分析を加えて考察してください。

5. 面接・テスト等の日時・場所

- ・11月7日（火）、11月9日（木）いずれも12時00分から、ゼミ室（207D教室）にて
- ・面接希望日時記入表を11月1日（水）に研究室ドア（1号館413号）に掲示しますので、志望者は学籍番号と名前を記入しておいてください。
- ・面接時刻の変更などは連絡してください（takamiya@res.otaru-uc.ac.jp）。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- ・当ゼミは課題がとて多いので、それに時間を投入できる方が望ましいです。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

- ・後期毎週火・木曜日4・5講目、207D教室

ゼミ紹介白書

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:30
在籍人数(3年生)	14 人
男女比(3年生)	8 : 6  
ゼミ室	207D 3号館2階210付近
ゼミの鬼仏表	仏 ・ 普通 ・ 鬼 ※先生は仏

われらが高宮城ゼミ

Q. 先生はどんな人?

- ・ やさしい
- ・ かゆい
- ・ おぢやめ
- ・ 細い
- ・ 黒い
- ・ イベント好き
(ボリング・たこバ...)
- ・ 納豆が嫌い
- ・ ゼミボリングの始球式をしてくれる



< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	↑ 輪読/日経新聞
5	
6	適宜 緑丘祭出店
7	たこバ
8	
9	
10	↑ グループ研究
11	★ 歓迎会
12	★ 研究卒論発表 新年会
1	
2	
3	追いコン

<ゼミの日常>

毎週の課題として、マーケティングの本を読みます。ゼミの時間は読んでいた内容についてディスカッションを行います。また、日経新聞も毎週読みます。

先生がたこバを開催してくれることも?!
ボリング大会が開催されることも?!
アイスやワレプの差し入れも?!

<卒業生の進路>

現4年生の内定先...

東京海上日動、三井住友海上
損保ジャパン、日本興亜、北海道銀行
Yahoo! JAPAN、アサヒビール、ANA
商工中金、JA北海道信連、北洋銀行
民間だけではなく、公務員の方もいます!

<自由記入欄>

高宮城ゼミ生は、明るく楽しい人が多いです! ゼミ終わりに飲みに行ったり、ボリングをしたり、たこバをしたり、先生とビアガーデンに行ったり、イベントもあります! 楽しい、面白いことが好きな人にはぴったりです!! ただオンオフの切り替えもしっかり。文章を読む、考察する習慣をつけたい、積極性をつけたい、そんな方は是非! 自分の元々張り次第で学びの幅が広がる、そんなゼミです。

1. 研究主題

保険制度と保険業の特徴と動向

2. 指導要領

3年次：以下の①と②を行います

①指導テキストを読んで討論します。事前に毎回の報告者を決めておきます。報告者は、その回に取り上げる指導テキストの箇所のレジュメを作成し、教員とゼミ生に配布して報告します。その後、討論します。報告に当たっていないゼミ生も、レジュメを作成し、教員に提出します。

②ゼミ生をグループに分け、グループでテーマを決め、それについて調べてまとめ、プレゼンテーションをします。

4年次：以下の①と②を行います

①「前期」と「後期の前半」は、上記の3年次と同じです。

②「後期の後半」は、卒業論文の作成指導を行います。1人2回、報告する予定です。

3年次と4年次

3年次と4年次それぞれに年間2回（前期1回、後期1回）、レポート課題を出します。教員が指定した文献（本、論文、報告書など）を読んで、要約とコメントを書きます。

3. 指導テキスト及び参考書

保険（損害保険、生命保険、第三分野保険、社会保険）の専門書を選定します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接によって選考します（面接の日時・場所は下記のとおりです）。面接時に「志望理由書」などを持参する必要はありません。やむを得ない事情で面接に出席できない場合には、かならず事前にメールで教員に連絡してください。そのさい、さしつかえない範囲で「欠席の理由」を書いてください。事前に連絡しないで欠席した場合には、面接を放棄したものとみなします。

5. 面接・テスト等の日時・場所

日時：11月7日（火）14時30分～

場所：3号館2階208B室（中央階段のすぐ横にあります）

（万一、上記の日時・場所を変更する場合には、事前に掲示して通知します）

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

①当ゼミに申し込みできるのは、自学科（商学科）の学生のみとします。

②内定者は、2年次中に下記の文献を入手して読んでおいてください。3年次のはじめに簡単なテスト（確認テスト）を行います。出題形式は穴埋め問題、出題内容は基礎事項のみです。

近見正彦・堀田一吉・江澤雅彦（編）『保険学（補訂版）』有斐閣ブックス、2016年

③ゼミを数回、無断欠席したならば、以後の履修を認めません。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

日時：10月12日（木）14時30分～

場所：3号館2階208B室（中央階段のすぐ横にあります）

1. 研究主題

企業の実例（ケース）を会計・市場・組織の観点から分析して、問題点を抽出し、解決策を立てるというスタイルに沿って、企業の経営について研究します。

2. 指導要領

第1期（3年次の1年間）

4週間を1単位とし、第1週目では主に会計分析、第2週では主に市場分析、第3週では、主に組織分析を行います。そして最終週である第4週は、解決策についてディスカッションを行います。こうした4週間を1単位とするケース分析を年間で7回程度繰り返します。

第2期（4年次の前期）

卒業論文に備えて会計、マーケティング、組織論、戦略論の基本文献を読みます。この期の学習により、3年次に鍛えた企業分析の手法を理論面から正当化してくれます。

第3期（4年次の後期）

卒業論文としてケースとケースレポートを作成します。

3. 指導テキスト及び参考書

小樽商科大学ビジネススクール編『MBAのためのケース分析 改訂版』同文館、2009年。

参考書は別途指示します。

ケースはその都度指示します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

レポートを提出してもらい、面接を行います。

レポートの内容：後日配付する課題記事に基づいて、A4用紙で5頁ほどのレポートをWordで作成して提出してください。

5. 面接・テスト等の日時・場所

レポート提出：第1志望ゼミ申込期間に学生連絡室のレポートボックスに提出してください。

面接日：11月2日（木）14：30@258教室

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

会計、マーケティング、組織、戦略と盛りだくさんなゼミですので、フル・コミットメント（全力投球）が必要です。ゼミでのディスカッションがおもな学習プロセスになります。学習効果を上げるために、事前にケースを分析してることが必要となります。つまり、毎週、課題があることになります。また、ゼミ生は教員とともにお互いに学びあう仲間になりますので、ゼミ以外の時間もさまざまなイベントを予定しています。なお、3・4年生の合同ゼミの形で実施します。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

10月12日（木）14：30からオープンゼミとします。場所は258教室前に掲示します。

10月19日（木）14：30からオープンゼミとします。場所は258教室前に掲示します。

1. 研究主題

中小企業が主な研究の対象となります。日本の中小企業は全企業数の99%以上、従業員数の約70%を占めており、中小企業は日本経済の活力の源泉です。また、一口に中小企業と言っても、そこには家族で経営する個人商店、長寿型老舗企業、ベンチャー企業、グローバルニッチトップ企業など、その規模・態様は実に様々です。

本ゼミでは多種多様な中小企業の本質を分析するために、競争戦略、技術経営戦略、イノベーション、企業間取引関係、企業家精神と組織能力といった視点から中小企業の発展性と問題性について理論的、実証的に研究します。また、本ゼミは主に日本の中小企業を研究するが、そのために大企業との比較研究も学習内容の一部であり、さらに、東アジア中小企業との比較研究も視野に入れています。

2. 指導要領

3年次の前期において、中小企業理論やイノベーションに関するテキストと参考書について輪読します。輪読は指定された文献を事前に読み、ゼミの場で報告と討論をする方法で行います。討論には積極的に参加することが求められます。3年次の後期では、各自の興味・関心に応じて研究テーマを設定し、自由研究を行います。

4年次は、3年次の学習成果と経験を踏まえて、卒業論文に相応しい研究テーマを設定し、研究報告・討論を順次に積み重ね、卒業論文を作成していきます。また、中小企業や製造業企業の実態に対する理解を深めるために工場・企業見学を実践する予定です。

3. 指導テキスト及び参考書

テキスト：①近能善範・高井文子『イノベーション・マネジメント』新世社

②港徹雄『日本のものづくり競争力基盤の変遷』日本経済新聞出版社

参考書：渡辺幸男等『21世紀中小企業論』（第3版）

植田浩史等『中小企業・ベンチャー企業論』（新版）

延岡健太郎『MOT [技術経営] 入門』日本経済新聞社

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書と面接によって選考します。志望理由書（様式・枚数は自由）は、10月31日（火）までにメールに添付して、linsonguo@res.otaru-uc.ac.jp に送って下さい。

5. 面接の日時・場所

追って掲示板にて連絡します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

中小企業のみならず、日本経済の強みであるものづくり企業に興味を持つ学生や、東アジア企業に興味のある学生を広く募集します。

7. オープンゼミの日時・場所

追って掲示板にて連絡します。

1. 研究主題

このゼミでは、二つのテーマについて研究していきます。一つ目のテーマは国際マーケティング全般を取り上げ、日本企業を中心に各国企業によるグローバル市場でのマーケティング諸活動についての研究です。二つ目のテーマは、国際サービスマーケティングの下位分野である、社会の関心はますます高まっている訪日観光客へのマーケティングの研究です。

3年次の前期はグローバル・マーケティング理論を中心に研究しながら、日本企業の国際マーケティング戦略の実例（ケース）を分析して、ディスカッションを行います。3年次の後期はインバウンド観光マーケティングについて研究します。また、ゼミの研究活動の一環として、仁木町で2018年の夏ブランドオープンする予定の Niki Hills Village ワイナリーの関係者と一緒に仁木町及び余市町における地域産品の国際ブランディング戦略（海外輸出、国内インバウンド需要の拡大）を立案し、仁木町の国際的知名度向上、地域の活性化に貢献することを目的とする事業への参加を予定しています。

2. 指導要領

3年次：（前期）国際マーケティングのテキストを輪読、日本企業の国際マーケティングに関するケースの分析とディスカッション、仁木・余市地域産品国際ブランディング戦略事業へ参加；（後期）インバウンド観光マーケティングのテキストを輪読、仁木・余市地域産品国際ブランディング戦略事業へ参加。

4年次：卒業論文の作成に関する指導。

3. 指導テキスト及び参考書

（前期）小田部 正明, 栗木 契, 太田 一樹「1からのグローバル・マーケティング」(2017) 碩学舎

（後期）高井 典子, 赤堀 浩一郎訪日「訪日観光の教科書」(2014) 創成社

4. 選考の方法（面接・テスト等）

以下の書類を提出してください：

- 1) 自己紹介（顔写真付き）、枚数は自由です。名前に必ずふりがなをつけてください。
- 2) 志望理由書
- 3) Campus Square の全履修済み科目成績画面（又、GPAが確認できる画面を含むもの）のコピー
- 4) 面接を行います。

5. 面接・テスト等の日時・場所

①上記「選考の方法」で書かれた提出書類は314号研究室メールボックスへ（要注意：研究棟にあります）10月30日（月）17:00までに提出してください（必着）。

②自己紹介及び志望理由書は添付ファイル(MS WORD 又は PDF 形式)として下記のメールアドレスに送付してください（メールは日本語で構いません）：praetcar@res.otaru-uc.ac.jp 面接は11月7日(火)14:40より318号ゼミ室で行います。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- 商学科所属の学生を優先的に選考し、定員に空きがある場合に他学科所属の学生を選考します。また、週末や平日の昼間でもゼミ活動(現地調査等)に参加可能な学生を優先的に選考します。

-
- マーケティング関連科目の「流通システム論」及び発展科目の「マーケティング」を履修済み（又は履修中）であることが望ましいです。
 - 授業は日本語で行います（無論、英語も対応可能です）。
 - 研究指導オリエンテーション 【9 月 28 日(木)】は都合により担当教員は出席できませんが、ゼミ代表として学生を派遣することを予定しています。
 - ゼミは原則としてすべて出席すること。無断欠席は履修中止となります。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

- オープンゼミは 10 月 17 日(火)14：30－17：00 及び 10 月 19 日(木)14：30－17：00 に行う予定です。

ゼミ紹介白書

< フォート ゼミ >

開講日時	木曜日 (4:30 ~ 17:30) Breaktime あるよ
在籍人数(3年生)	13人
男女比(3年生)	(男) 4 : 9 (女)
ゼミ室	318
ゼミの鬼仏表	先生は「仏」 仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

オランダ出身のフォート先生ですが、
日本在住歴はなんと20年以上!!
ゼミは日本語で行います。← 希望があれば英語でも使
とても優しく、博識で、
時々おちゃめな先生♡
興味深いお話、たくさん聞けます😊



< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度) 新歓*	新歓会(猫)
4	★ 輪読 (ポッドキャスト)	親睦会♡
5	★ 提携プロジェクト	BBQ!!
6		
7	↓	留学 歓迎 & 送別会♡
8	夏休み***	
9		フィールド調査(1泊3日)
10	輪読再開	↑ 詳細は
11		検討中
12		
1		
2		
3	↓	↓

<ゼミの日常>

- ① 先生が登場し、ゼミスタート♡
↓
- ② 担当ページによるプレゼン発表(輪読) 楽しんでる長男
↓
- ③ Breaktime 88 みんなでお菓子食べながら交流 猫
↓
- ④ ディスカッション など いつも和やか
↓
- ⑤ 解散!! (たまにの社会)

<卒業生の進路>

- ・ ぶつ葉乳業
- ・ 日立製作所
- ・ 北の達人コーポレーション
- ・ マイクロアド (パナソニック)
- ・ マイクロミル社

イ也

<自由記入欄>

フォートゼミでは、国際マーケティングや観光学について学びながら、

.....

現在、仁木町の地域復興を目指したコイナリ事業を行う企業と提携し、国際マーケティング戦略の提言を行うプロジェクトを進めています。主体的に取り組むことで、めざましく学ぶゼミです!

また、留学に行く人もたくさんいます。ゼミ 9/28 合同説明会にお越しください! お待ちしています♡ 猫

1. 研究主題

マーケティング、特にサービスマーケティングを中心に。

対象：観光事業についてのマーケティング

医療施設でのマーケティング

地域活性化のための地域ブランド開発など

2. 指導要領

マーケティングの基礎知識の習得

市場調査・分析等の手法の習得

先進企業、組織の施設見学（医療施設）や地域活性化を進めている企業見学

3. 指導テキスト及び参考書

「マーケティング戦略」 恩蔵直人、ほか 有斐閣

その他適宜指示

4. 選考の方法（面接・テスト等）

選考方法 面接等

5. 面接・テスト等の日時・場所

選考要領は期間内に実施（要領は決定しだい掲示）

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

入ゼミ希望者へは説明会を開催。以下メールでといあわせること（itohhajimejp@yahoo.co.jp）。

問い合わせは11月1日より選考期間開始前日までうけつける。

企業法学科

Law

企業法学科 開講ゼミナール一覧

石黒 匡人.....54

片桐 由喜.....56

河森 計二.....58

小林 友彦.....61

斎藤 健一郎.....62

才原 慶道.....64

多木 誠一郎.....65

竹村 壮太郎.....68

張 博一.....71

橋本 伸.....73

坂東 雄介.....75

1. 研究主題

行政法学上の重要問題の研究と、市町村や都道府県の各種条例を中心とした行政課題の研究

2. 指導要領

第一に、行政法学上の重要問題に関する判例学説について勉強します。

第二に、各自が興味を持った条例ないし行政課題を選んで調査報告し、皆で検討します。

第三に、上記の勉強の成果を基に、各自が選んだテーマについて研究して論文を書いてもらいます。

そのことによって、行政法学をより深く理解し、同時に法的思考力を身につけるようにします。

3年次では第一段階の勉強が、4年次では論文指導が、それぞれ中心となります。

単に出席するだけでなく、議論に積極的に参加することが求められます。

3. 指導テキスト及び参考書

行政法の概説書を選んで、基本書にします。

ゼミ生と相談して決めます。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書と面接によって選考します。

志望理由書の提出は電子メールによることが望ましい（アドレス ishiguro@res.otaru-uc.ac.jp）のですが、それ以外の方法による場合は、研究室531に持参してください。（不在の場合はドアの下から中に入れてください。）

メール以外の場合は、A4版の用紙によること以外、形式は自由です。

理由書には、学生番号、氏名、所属学科、出身都道府県、出身高校、所属サークル、志望理由、を記載してください。

また、ゼミで取り組みたいテーマがあれば、書いてください。

簡単な自己紹介・自己アピールもあるのが望ましいです。

申込期間内に提出してください。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接は、選考期間内に実施する予定です。日時、場所については、後に連絡します。（ゼミ室207Bのドアに掲示する予定）

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

民間企業が事業活動を行う場合にも、行政との関わりは様々な面で大きなものがあります。

したがって、公務員志望者以外の学生にも大いに関係のある法分野です。

4で記載している志望理由書を必ず提出してください。

受け入れ予定人数は7名程度ですが、各種状況により増えることがあります。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

オープンゼミ期間中、随時オープンしています。

但し、休講の日もありますので、開講予定日（ゼミ室ドアに掲示予定）に注意してしてください。

ゼミ紹介白書

<石黒 匡人 ゼミ>

開講日時	木曜日 14:30 ~ 16:50
在籍人数(3年生)	5 人
男女比(3年生)	4 : 1
ゼミ室	3号館 2階 207B
ゼミの鬼仏表	仏 ○ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

興奮すると声が大々くなり。
しゃべりだすと止まりません。
他は眼鏡をかけた優しめの
普通の人です。

< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度) 顔合わせ、新歓!
4	復習、テーマ研究(参考)
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
1	
2	
3	↓

<ゼミの日常>

教科書をつかって行政法の復習
をします。個人では行政法に関する
自分が興味を持ったテーマについて
調べます。希望すれば裁判傍聴
にも行けます。

<卒業生の進路>

民間：公務員

3 : 5 くらいです。

例年、公務員志望のゼミ生が
多いです!!

<自由記入欄>

・3・4年生 合同ゼミではないので、同学年との仲が深まります!
・各イベントは企画次第です!!

1. 研究主題

どのような社会保障制度が存在し、いかに機能しているかを勉強します。言い換えれば、私たちの安全装置として、社会保障制度が果たす役割を学びます。

2. 指導要領

- ① ゼミ室での学習 ゼミの意義はゼミごとに設定された主題を探究することと同時に、話す、読む、そして、書くことをきっちりトレーニングし、これらのスキルを習得するところにあります。したがって、当ゼミでは、私たちに身近な社会保障制度を学ぶと同時に、上記スキルの上達をめざした指導をします。
- ② ゼミ室の外での学習 社会保障制度は教科書や本だけを読んでいても、この社会でどのように機能しているかがよくわかりません。そこで、社会保障関連の施設見学をしたり（老人ホーム、障がい者施設、など）、現場で働いている方の話を聞きにでかける機会を設けます。

3. 指導テキスト及び参考書

ゼミ開講時に指示します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書を事前に提出し、面接を受けてください。

志望理由書にはゼミ志望理由、最近、関心・興味を持った社会問題、そして、ゼミで勉強したいことを必ず記載し、その他、自由に思うところを書いてください。

5. 面接・テスト等の日時・場所

- ① 志望理由書の形式、字数は任意です。各自で適宜、記載し、片桐研究室（1号館407室）のドアについている箱に11月2日（木）午後5時までに提出してください（提出期限厳守）。
- ② 面接は11月7日（火）午後2時30分に3号館4階418室（片桐ゼミ室）にて実施します。履修希望者は集合してください。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

日時：10月3、17、24日（いずれも火曜日）の午後2時30分から

10月5、12、19日（いずれも木曜日）の午後2時30分から

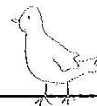
場所：418ゼミ室

ゼミ紹介白書

< 片桐 ゼミ >

開講日時	木曜日 14:30 ~ 16:30
在籍人数(3年生)	14 人
男女比(3年生)	9 : 5
ゼミ室	418 3号館4階の一番奥!
ゼミの鬼仏表	ド (仏) ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?



めちゃめちゃ優しい!!!
 社会保障についての知識も
 豊富で、話が面白い。
 学生の話をちゃんと聞いてくれる、
 明るく元気な良い先生。
 たまに毒舌(笑)

< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	
5	新歓コンパ
6	先生のお誕生日会
7	in 先生の家
8	施設見学・前期打ち上げ
9	
10	ゼミ合宿
11	OB・OG会 先輩たちと会おう!
12	く
1	未
2	定
3	く

<ゼミの日常>

判例を読んできて、ゼミの時間に
 討論をします。
 終わりに次第(16時から)から
 お茶の時間があります。
 先生が美味しいおかしをもってきてくれる



<卒業生の進路>

民間、公務員いろいろ



<自由記入欄>

14人中、2人他学科です。企業法じゃなくても大丈夫。
 ゆるすぎず、きつすぎず、楽しいゼミです。ゼミ生も仲良し!
 社会保障制度は、生きていく上で私たちに密接に関わる問題なので、
 とてもタメになります。

1. 研究主題

法的な「考え方」の修得は、社会に出たときさまざまな場面で役立ちます。しかし、この法的思考力の修得は意識して繰り返し訓練しなければ修得することは困難です。このゼミでは、さまざまな社会問題を法的観点から検討することで、法律の基本的な知識の修得とともに法的思考力の獲得を目的とします。

2. 指導要領

ゼミの具体的な内容については、履修者が確定した後、履修者と相談のうえ決定します。さしあたり、履修者が興味のある裁判例や新聞の記事等から法律に関係する問題を選択し、それについて担当グループでレジュメを作成し、ゼミ生みんなで「考える」ことを通して討論を行います。

法律用語の意味や判決文の読み方、文献の調べ方など、わからない点があれば基礎からお教えしますので、企業法学科以外の履修希望者も心配しないでください。なお、本ゼミは木曜日に3・4年合同ゼミ形式で行います。

ゼミは3号館「209F」のゼミ室で行っています。

3. 指導テキスト及び参考書

テキスト及び参考書は、履修者と相談のうえ決定します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

選考は、志望理由書と面接によります。

（1）志望理由書

【記載事項】

- ①氏名・学籍番号・所属学科
- ②メールアドレス（PCからのメール受信が可能なもの）・携帯電話番号
- ③簡単な自己紹介&河森ゼミを志望する理由

【書式】

Word形式A4版用紙で提出すること以外、すべて自由です（1枚程度で結構です）。

（2）面接

提出いただいた志望理由書を参考に簡単な面接（1人につき10分程度）を行います。

5. 面接・テスト等の日時・場所

（1）志望理由書の提出

締め切り：10月31日（火）

提出方法：電子メール（提出先：河森 E-mail：kawamori@res.otaru-uc.ac.jp）に志望理由書を添付のうえ提出してください。ただし、メール以外の提出方法を希望する場合は、1号館の研究室・534室に持参してください（不在の場合は、ドアの下から研究室内に入れてください）。

（2）面接

面接の詳細な日時・場所はおってメールで連絡のうえ掲示します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

ゼミの仲間とのいまという時間を大切にしてくれる方、大歓迎です。通常の授業外のゼミ活動（ゼミOB・OGを交えての夏合宿、裁判所見学・裁判傍聴、刑務所見学、保険業界の実務家を招いての懇親会等）に対しても積極的に参加する学生を希望します。勉強するときは勉強し、あそぶときはおもいっきり遊ぶことで、学生時代だけではなく、生涯つきあえるゼミの仲間を獲得してください。

質問があればメール等で気軽に聞いてください（河森 E-mail：kawamori@res.otaru-uc.ac.jp）。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

河森ゼミのオープンゼミはつぎの日時・場所で行います。

■第1回オープンゼミ

日時：10月12日（木）14時30分～16時00分

場所：3号館2階・209Fゼミ室（河森ゼミ室）

■第2回オープンゼミ

日時：10月19日（木）14時30分～16時00分

場所：3号館2階・209Fゼミ室（河森ゼミ室）

※なお、両日とも概ね17時頃まではゼミ室におりますので、上記の時間で都合が悪くようでしたらおたずねください。

ゼミ紹介白書

< 河森 >

ゼミ>

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:00
在籍人数(3年生)	15人
男女比(3年生)	10:5
ゼミ室	209F
ゼミの鬼仏表	①仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

- ・ 商大一優しいと思う
- ・ とてもタダ趣味
- ・ フットワークが軽い
- ・ 弓道部、男ハン、サハンの顧問
- ・ 愛情深い
- ・ 笑顔がステキ

< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	自己紹介 3.4年合同
5	お花見
6	緑丘祭出店
7	図書館見学
8	海キャン
9	ゼミ合宿(ルスツ)
10	損保実務家との懇親会
11	裁判所見学
12	新歓
1	ゼミ東京研修
2	刑務所見学
3	卒コン

<ゼミの日常>

毎週 担当の発表者が、自分の興味をもった3本律のテーマを日常のニュース等から見つけて、それについて皆で議論します。また、ゼミの時間外でも、ゼミ室に集まってゲームをしたり勉強したりするなど、和気あいあいとした雰囲気の中、ゼミです!!

<卒業生の進路>

公務員 CA
金融 IT
メーカー 広告
テレビ局

<自由記入欄>

先輩 みんなとても面白くてやさしい人ばかりの合同ゼミです!!
楽しいことしかありません!! まずは見学に来て下さい!!!!
ゼミ室情報
冷蔵庫、wifi、PC、電子レンジ、ソファ

1. 研究主題

「国際」的で「経済」と「法」に関わるような現代的諸問題の中から、履修者の希望をふまえて決めます。

3・4 年次配当である「国際経済法」については知らなくても構いませんが、3 年次前期に履修し、卒論の執筆に活かすことが期待されます。

2. 指導要領

グローバル化する社会における国際ルール役割について、就職活動の際に役立つだけでなく、卒業後も生かすことのできる知的スキルを身につけることが目標です。自発的に問題を見つけ出し、学際的に問題解決に取り組んでいく姿勢が求められますので、履修者には自主性が強く期待されます。

基本的な研究手法を 3 年次に修得した上で、4 年次には、具体的主題について調査を進めます。そして、ゼミ内外で発信する等の活動を行いながら、卒業論文の執筆に取り組みます。

3. 指導テキスト及び参考書

研究主題が決まった後に指定します。過去に用いたものの例として、下記のようなものがあります。

- ・大村敦志『ルールはなぜあるのだらうスポーツから法を考える』（岩波書店 2008 年）
- ・道垣内正人『自分で考えるちょっと違った法学入門（第3版）』（有斐閣 2007 年）
- ・ラッセル・ロバーツ『寓話で学ぶ経済学：自由貿易はなぜ必要か』（日本経済新聞社 1999 年）
- ・ピエトラ・リボリ『あなたの T シャツはどこから来たのか？：誰も書かなかったグローバリゼーションの真実』（東洋経済新報社 2007 年）

図書館で借りるなどして目を通しておくと、当ゼミの特徴について理解しやすいかと思います。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書(A4 一枚で e メール添付。形式は自由。)によって選考します。学外活動／G P A／各種資格／社会経験／留学希望等も参考にしますので、志望理由書に適宜記載して下さい。

5. 面接・テスト等の日時・場所

申込期間中に、教員宛に e メールで志望理由書を提出して下さい。OpenOffice 等の無料の汎用ソフトで作成した文書でもかまいません。原則として 2 日以内に受領確認メールと面接の日程照会を返信します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

所属学科は問いません。法律学の知識があるかどうか問いません。ゼミ所属期間中に留学・インターンシップ等、知見を広げるための課外活動を行うことは推奨しますし、最大限支援します。

木曜日に 3・4 年合同ゼミを行います。学外での調査や、他学科のゼミとの合同ディベートを行う可能性があります。例年は短期留学プログラムの留学生も履修しており、彼らと積極的に意思疎通することも求められます。語学のゼミではありませんので、英会話能力は要件としません。身振り手振りを交えてでもよいので、多様な属性を持つゼミ生と意思疎通し信頼関係を築く力が求められます。

知らないことにチャレンジしていくのに積極的な方は、楽しめると思います。逆に、「言われたことはきちんとこなすけれど、自分から課題を探すつもりはない」とか、「他のゼミ生の出方を見ながら行動する」という姿勢だと、苦勞することになると思います。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

10 月 5 日（木）予定（※確定的な日程については、掲示を確認して下さい。）

1. 研究主題

「時間」に関する哲学書を講読する。（洋書は日本語訳のものを講読する。）

私は「法と時間」の関係について研究を行っている。主な関心は、「法は過去を変えられるのか？」「法はどの程度将来を変えられるのか？」「過去によって現在・将来の法が影響を受けるのか？」などである。こうした問題について考えるためには、「時間とは何か」についての洞察が不可欠である。しかし、時計の針は文字盤の上を動いているだけで、それ自体が時間ではない。では、時間とは何であるのか。このゼミでは、哲学書の講読を通じて、時間について、また法と時間の関係について研究を行う。

2. 指導要領

- ・毎回 10～20 頁を事前に読み、事前に詳細な読書ノートを作成してきてもらう。ゼミの時間では、1 文や 1 段落ごとに詳細に読み合わせをしながら、内容を検討する。講読する文献以外にも、各自で、入門書、著者に関する解説書、哲学関連の辞典などを調べることが必要になる。また、時には原典（英語、フランス語、ドイツ語の何れかの言語）に当たることが必要となる。
- ・ゼミの終了時刻（14：30～16：50）に関係なく、毎回の分量を検討し終わるまでゼミを行う。夏休み・冬休み中も、毎週ゼミを行う。3 年・4 年を通して、理由にかかわらず欠席・予習忘れは一切認めない（半期で 3 回の欠席・予習忘れでゼミを辞めてもらう）。
- ・ゼミ所属の決定後、2018 年 1 月からゼミ活動を開始する。

3. 指導テキスト及び参考書

- ・ゼミ所属の決定後の 1 月は、高田明典『難解な本を読む技術』（光文社新書、2009 年）、ピエール・バイヤール（大浦康介・訳）『読んでいない本について堂々と語る方法』（ちくま学芸文庫、2016 年）を読む。2 月から 3 月は、内山節『時間についての十二章』内山節著作集 9（農文協、2015 年）、中山康雄『時間論の構築』（勁草書房、2003 年）を読む。
- ・3 年次からは、一応の予定であるが、ジョン・エリス・マクタガート『時間の非実在性』、アンリ・ベルクソン『時間と自由』、エトムント・フッサール『内的時間意識の現象学』、イマヌエル・カント『純粹理性批判』（時間について）、ジャック・エロン『時際法の原理』、渡邊二郎『ハイデガー「存在と時間」入門』などを読む。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

成績、面接。面接では、事前に内山節『時間についての十二章』の中の一つの章（コピーを配布する）を読んできてもらい、その内容について質疑・議論をする。

5. 面接・テスト等の日時・場所

アンケートフォームに登録後、研究室（1 号館 5 1 8）に来ること。相談して面接日を決める。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

オープンゼミは行わない。

説明会を、10 月 12 日（木）12 時 15 分から、10 月 19 日（木）12 時 15 分から行う。場所はゼミ室（307B）。履修希望者は必ず説明会に参加すること。

ゼミ紹介白書

< 齋藤(健)ゼミ >

開講日時	木曜日 14:30 ~ 16:50
在籍人数(3年生)	11 人
男女比(3年生)	6 : 5
ゼミ室	307B
ゼミの鬼仏表	①仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

- ・ コーヒー好き
- ・ サッカー好き
- ・ 渡辺謙似
- ・ イケメン
- ・ モッけ長い

< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	新歓
5	
6	タコバ②
7	
8	合宿準備
9	合宿(東京)
10	
11	
12	プレゼント交換大会♡
1	
2	バレンタイン
3	卒論発表会

<ゼミの日常>

- ・ 和気あいあい
- ・ 身近な法律問題のディベート

<卒業生の進路>

- ・ 公務員
- ・ IT系
- ・ ホテル系
- ・ 電力系

<自由記入欄>

企業法7人 / 他学科 4人
法律が苦手な人も大歓迎です!

1. 研究主題

知的財産法

2. 指導要領

2年間かけて、下に掲げるテキストを輪読する予定です。

4年生になったら、これに卒業論文の執筆が加わることになります。

3. 指導テキスト及び参考書

テキストは、今のところ、

Donald S. Chisum, Tyler T. Ochoa, Shubha Ghosh, Mary LaFrance,
UNDERSTANDING INTELLECTUAL PROPERTY LAW, Third Edition,
LexisNexis

を考えています。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

英文和訳の簡単なテストを行います。

（辞書等の持ち込みは不可。）

5. 面接・テスト等の日時・場所

テストの場所は、ゼミ室（404A）です。

日時は、後日、掲示します。

テストは、30分程度を予定しています。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

1. 研究主題

本ゼミは図書を読むゼミです。色々な分野の図書を取り上げますが、法学分野の図書も取り上げます。これまでに取上げた図書は、例えばカント『永遠平和のために』、オーエル『動物農場』、新渡戸稲造『武士道』、フランクフル『夜と霧』、柳田国男『遠野物語』、ショウペンハウエル『読書について』、セネカ『生の短さについて』、渋沢栄一『論語と算盤』、夏目漱石『こゝろ』、鴨長明『方丈記』です。ゼミ生の皆さん1人1人が図書をじっくり読んで、それをもとに自分の頭で色々と考えて、表現できるようになることを期待しています。

2. 指導要領

教員とゼミ生の皆さんと一緒に図書を読んで、ディスカッションをしていきます。あらかじめ図書を選定し、ゼミの時間までに当該図書を読んでくることが、ゼミ出席のための前提です。ゼミの時間では、図書の内容について自由にディスカッションします。自分の体験に引きつけて発言するのによし、図書の書かれた種々の背景について調べてきて発言するのによし、著者のその他の著作と比較するのによしです。取り上げた図書ごとに、書評の執筆・提出をお願いします。

3. 指導テキスト及び参考書

ゼミ生の皆さんが社会に巣立った後、何度でも読み返すに値するような図書を取り上げることができればと思っています。あるいは現実的な基準でいえば、就職面接で尋ねられたときに、堂々と答えることができる図書を取り上げたいという考えでもあります。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

(1) 下記(2)書類及び面接で選考します。第一次選考は企業法学科の学生さんのみとします。

(2) 下記①～⑩の事項を記入したワープロ作成書類を、添付ファイルで taki@res.otaru-uc.ac.jp 宛に 10 月 30 日

(月) 16 時までに送付してください。メール件名は、「【学生番号・氏名】ゼミ志望」です。様式・分量自由。メールを受領したら、速やかにメールでその旨連絡します。返信メールが到着しない場合には、担当教員に連絡下さい。①学籍番号、②氏名（ふりがなを振る）、③電話番号、④電子メールアドレス、⑤興味ある大学授業科目とその理由、⑥最近読んだ図書で印象深いものとその理由、⑦ゼミで読んでみたい図書（あるいはジャンル）とその理由、⑧ゼミに期待すること、⑨自己紹介・アピール（学業・サークル・アルバイト・趣味・特技など何でも可）、⑩その他。

(3) 面接希望時間は先着順です。205Aゼミ室のドアに添付してある紙（面接予定表。10月24日（火）16時までに添付しておきます。）に学籍番号を10月30日（月）16時までに記入しておいてください。

5. 面接・テスト等の日時・場所

(1) 面接日時・場所 11月9日（木）11時頃～17時頃（志望者数により変わります。） ゼミ室（205A）。変更する場合には、掲示を通じて連絡します。

(2) 都合により上記(1)日時に面接を受けることができない場合には、事前連絡をお願いします。個別対応します。

連絡先 研究棟（1号館）435号室（直接訪問の場合）

taki@res.otaru-uc.ac.jp（メールアドレス）／ 0134-27-5374（研究室電話）

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

3年生は、大学生活の折り返し地点です。また就職に関する活動も実質的に始まり、だんだんと忙しくなってくる時期かと思います。このような中でちょっと立ち止まって一緒に図書を読みましょう。ゼミで取り上げる図書が、ゼミ生の皆さんにとって「血となり、肉となり、骨となる」ことを期待しています。

3年生・4年生合同ゼミを予定しています。質問等がある場合には、上記5連絡先までお気軽に。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

オープンゼミ期間中の毎火曜日（10月3日、10日、17日、24日）4講目（14時30分～16時）、205Aゼミ室。入ゼミを希望する方は、必ず一度は見学に来て下さい。

ゼミ紹介白書

< 多木 ゼミ >

開講日時	火曜日 14:30 ~ 16:00
在籍人数(3年生)	7人
男女比(3年生)	5 : 2
ゼミ室	205A
ゼミの鬼仏表	仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

- ・ 商法を教えています
- ・ 温かいお茶をよく飲んでいきます。
- ・ 韓国に詳しい
- ・ 農協関係の専門家です。

< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	新歓 読書・ディスカッション
5	
6	
7	
8	(納涼会) ↓
9	
10	読書・ディスカッション
11	
12	
1	
2	顔合わせ
3	(合宿) ↓

<ゼミの日常>

2週間に1冊のペースで本を読んでいます。
その本についてディスカッションをする週(表の週)と、時事問題について話す週(裏の週)を交互に繰り返しています。

<卒業生の進路>

民間 : 公務員 = 3 : 5
公務員が比較的多いです。

<自由記入欄>

本が好きなお友、本に興味のある方を募集しています。
今年は坂口安吾「堕落論」、カミュ「異邦人」、カント「永遠平和のために」などを読みました。読めた本の推薦もできます。
オープンゼミもやるので、ぜひ足を運んでみてください。!!

1. 研究主題

今年度も、「地域における民法関連事案の研究」をテーマとします。

普段あまり意識しないかもしれませんが、我々の実生活においては、市民社会のルールともいわれる民法が、日々機能しています。学部で法学・民法を学ぶ者としては、その民法の役割や機能の仕方を把握し、それを目に見えるように紐解いていくことが、社会において求められていくといえるでしょう。

そこで、本ゼミにおいては、地域、とりわけ北海道における民法関連の判例、裁判例に考察を加えていくことで、実際に北海道で起こっている各法律問題の実態や、そこで行われた民法（あるいは関連する特別法など）の解釈、適用の実態の把握を目指します。これにより、地域の実情を知り、そこに関わる民法の深い知識を養うことができるでしょう。「自分が、判例、裁判例の解説を作成する」つもりで、取り組んでいきましょう。

2. 指導要領

まず3年生の前期においては、地域を限定せず、著名な判例、裁判例を題材に、民法研究の進め方、報告の仕方、論文の作成方法の基礎を学んでいきます。数名のグループに分かれ、判例、文献等の調査、報告を行ってもらいます（進行度に応じて、地域の事例も取り上げたいと考えています）。その後、後期においては、いよいよ地域の判例、裁判例の調査を行います。多数の判例や論文などを読み、自分で判例、裁判例に解説を加えていくことで、地域で実際に生じている法律問題を紐解いていきましょう。数名のグループに分かれての調査、報告は前期の場合と同様ですが、関連する文献についても議論を行っていきます。

4年生になった後も引き続き調査を行っていくことを予定しています。最終的には、そこまで扱った題材をもとに、卒業論文を完成させていくことになります。

3. 指導テキスト及び参考書

① 民法関連科目で使用した教科書を参照してください。なお、民法関連科目を十分に履修していないという方は、下記の文献を用意し、一読しておくようにしてください。

・潮見佳男『民法（全）』（有斐閣、2017）

② 特に3年生の前期に使用する予定であるため、下記の文献はなるべく用意しておくようにしてください。

・潮見佳男・道垣内弘人（編）『民法判例百選Ⅰ 総則・物権（第7版）』（有斐閣、2015）

・中田裕康・窪田充見（編）『民法判例百選Ⅱ 債権（第7版）』（有斐閣、2015）

・水野紀子・大村敦志（編）『民法判例百選Ⅲ 親族・相続』（有斐閣、2015）

③ 法学自体に不安がある方は、下記の文献を用意し、一読しておくといよいでしょう。条文の読み方から、丁寧に取り上げられています。

・道垣内弘人『ブレップ法学を学ぶ前に』（弘文堂、2010）

4. 選考の方法（面接・テスト等）

（1）今年度の選考は、志望理由書と面接によって行います。2017年10月31日（火）までに、下記の①～⑤の事項を記載したものを、竹村研究室（1号館520）前のボックスに提出してください。志望理由書は word で作成し、A4 サイズ（複数枚可。複数枚になる場合には、ステープラーなどでまとめてください）、1500字以上でお願いいたします。文字サイズは指定致しませんが、読みやすいように配慮してください。

① 氏名、学生番号

② 本ゼミナールを志望する理由、本ゼミナールでの目標。

③ 本ゼミナールで取り組んでみたい民法関連の法律問題（民法関連かどうかわからなくても構いません）。および、その問題に対する、現在のご自分の見解、その理由。特に取り組みたい問題がない場合は、その旨と、その理由も記載してください。

④ 民法関連科目の履修状況。また今後の履修予定。

⑤ 連絡先となるメールアドレス

(2) 面接では、提出いただいた志望理由書をもとに、本ゼミナールの志望理由や、今後のゼミナールでの活動目標などについて、お尋ねします。時間は、一人当たり、10分程度を予定しています。

(3) 選考結果は選考結果発表期間内(11月6日(月)～11月24日(金))に、適宜発表いたします。

5. 面接・テスト等の日時・場所

(1) 4. のとおり、今年度の選考は、志望理由書と面接によって行います。10月31日(火)までに、志望理由書を指定の場所に提出してください。

(2) 志望理由書を確認の後、記載いただいた連絡先に、面接の時間と場所を通知いたします(ご都合がつかない場合には、別途調整いたしますので、お申し付けください)。面接は、第一次選考期間内(11月6日(月)～11月16日(木))に実施いたします。場所は、竹村ゼミ室(3号館111)を予定しております。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

(1) 本ゼミナールでは、調査、報告の準備に多くの時間を費やすことになります。そのため、ゼミナールでの活動に積極的に取り組める方を募集いたします。

なお、法学や民法関連の学習が十分進んでいないという方でも、興味をお持ちであれば、参加を歓迎いたします。調査や報告を通じて、一緒に学んでいきましょう。ただし、相応の努力は必要になるものと思われます。

(2) ゼミナールの運営などについて質問のある方は、下記のメールアドレスにお問い合わせください。ゼミナールに関する面談のご希望があれば、お引き受けいたします。

・竹村研究室 stakemur@res.otaru-uc.ac.jp

7. オープンゼミの日時・場所(予定)

オープンゼミ期間内(10月2日(月)～10月24日(火))であれば、いつでもお越しください。3年生のゼミナールは、毎週木曜14時30分から(だいたい17時あたりまで)開講しています。上記の期間外であっても、別途連絡を頂ければ機会を設けます。

ゼミ紹介白書

< 竹村 ゼミ >

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:00 前後
在籍人数(3年生)	13 人
男女比(3年生)	11 : 2
ゼミ室	3号館 111
ゼミの鬼仏表	仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

- ・ 優しい
- ・ 法律に詳しい
- ・ Xガネをかけている

< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	判例の研究
5	
6	
7	
8	
9	裁判所見学
10	判例の研究
11	
12	
1	
2	
3	

<ゼミの日常>

民法判例検討

グループ(3人程度)に分かれて、判例・裁判例の研究、報告をします。

<卒業生の進路>

また卒業生 いないです。

<自由記入欄>

今年始まるばかりのゼミで、やることはあまり決まっていません。公務員志望の人が多いです。民法についてより深く知りたい人におすすめです!

1. 研究主題

国際法は国内法とは異なる独自の規律体系を有しているため、みなさんにとっては馴染みが薄い分野であろう。また、国際法の対象も人権、経済、環境など様々な分野に拡大し、より複雑になりつつある。しかし、昨今の国際情勢及び日本を取り巻くアジア地域的外交、経済、安全保障関係に鑑みれば、「国際社会の法」である国際法の重要性はいくら強調してもしすぎることはない。

本ゼミでは、日本捕鯨裁判、TPP、京都議定書、集団的自衛権、イスラム国といった報道で取り上げられることの多い国際問題を、国際法の諸規則に照らして説明することにより、国際法が身近の法であることを感じてもらうと同時に、その限界を認識し、しかしそのような限界を抱えながらも地球規模の問題の解決に取り組む国際法の魅力について一緒に勉強していく。

2. 指導要領

ゼミ学習は通常の講義とは異なり、学生が「主役」となって切磋琢磨して授業を作っていく場であり、教員はあくまでもコーディネーターである。私自身の大学時代での一番の思い出が「国際法ゼミに参加し、ゼミの先生や仲間に出会えたこと」であるように、ゼミ生にもそのような有意義な時間を提供できるように努めたい。

★ 3 年次前期

国際法のテキストの輪読を通して、国際法に関する基本的な知識を習得

報告者(2～3 人)に報告を行ってもらい、受講者全員で討論を行う。

また、国際法の知識とは別に、就職活動や就職後に生かすことができるスキル(ディスカッション力、プレゼン力など)を身につけられるよう、関連する本を用いて学ぶ

★ 3 年次後期

国際時事問題や国際法の重要判例について、グループ報告、議論を行う。

★ 4 年次

卒業論文のテーマ策定、報告、作成指導

3. 指導テキスト及び参考書

履修者の興味・関心により輪読文献、論文、判例を選定する。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

下記の内容を記載した志望理由書を教員宛(chohakuichi@res.otaru-uc.ac.jp)に提出すること。

提出期限：11 月 2 日(木)

- ① 自己紹介
- ② 本ゼミを志望した理由(400 字程度)
- ③ 国際的な時事問題のなかで最も関心があるもの及びそれに対するあなたの意見(1000 字程度)
- ④ 学生生活で頑張ったこと、頑張っていること

5. 面接・テスト等の日時・場所

志望理由書のみで選考する。

ゼミに是非入りたいという学生は、志望理由書でしっかりとアピールをしてほしい。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

地球的諸課題を克服するためには、世界の国々と地球上の人々が緊密な諸関係の網の目に結び合わされた時代に生きる一人ひとりの市民が国際社会の現実に向け、世界を変える意識をもつことが必要である。今なお世界各地で発生する地域紛争やテロ行為の背景には、文化的アイデンティティの対立があり、異なる価値体系のなかで信ずる‘正義’の衝突がある。世界の7人に1人が栄養失調と飢餓に苦しんでいる背景には、環境破壊による自然災害、HIV/エイズの蔓延、教育の欠如という負の連鎖がある。

これらの現実をただ「豊かな暮らし」をしている傍観者の立場からではなく、当事者意識をもって積極的に現状を変えようとする姿勢を学生の一人一人に持ち続けてほしい。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

本年度より開講のゼミなので、オープンゼミは実施しない。

1. 研究主題

- ・本ゼミでは、民法の重要問題の研究を通じて、民法の理解を深め、かつ法的思考能力を滋養することを目指す。

2. 指導要領

(3 年次)

- ・まず全員で民法の基本書を輪読し、基本知識を定着させ、その後判例研究を行う。
- ・判例研究については、1 回あたり 1～2 件の判例を取り上げ、グループ（2～3 名）ごとに紹介してもらい、その後全員で検討する。
- ・取り上げるテーマとしては、平成 30 年度は、「不当利得法」や「不法行為法」を予定している。
- ・本ゼミでは、一つのテーマを複数回にわたって扱い、多角的な観点から検討を行う。
- ・3 年次終了時までには、ゼミで扱ったテーマについてレポートを書いてもらう（1 万字程度）。

(4 年次)

- ・3 年次と同様に判例を読みつつ、各人の卒論テーマの研究を進める。適宜中間報告もしてもらう。

3. 指導テキスト及び参考書

- ・最新の六法を必ず用意すること。
- ・その他については、開講時までに伝える。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

- ・以下の課題および志望理由書により総合的に判断する。

(1) 課題

- ・「民法基礎Ⅰ（民法総則）または基礎Ⅱ（不法行為法）で扱われるテーマのうち興味をもったものについて、判例・学説を踏まえつつ、論じなさい」
- ・字数：3000 字以上（ワードなど）

(2) 志望理由書

- ・必須事項：①氏名、②学籍番号、③電子メールアドレス、④所属学科、⑤出身都道府県、⑥本ゼミを志望した理由、⑦本ゼミで学びたいと現在思っているテーマ、⑧民法の講義の履修状況
- ・任意事項：趣味、最近のマイブームなど（積極的な自己アピールを期待しています）
- ・字数：A4 一枚で（ワードなど）。

5. 面接・テスト等の日時・場所

- ・課題および志望理由書の提出期日および提出先は以下の通り。
- ・提出日時：11 月 7 日（火）17 時まで（時間厳守）
- ・提出先：メールに添付して送ること（橋本 E-mail:sinhashimoto@res.otaru-uc.ac.jp）。なお、件名に「ゼミ選考（名前）」と記入すること。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- ・一定程度（かなり？）の事前準備が要求されることから、そうした準備を苦痛に思わない方の参加をお待ちしております。
- ・開講時までに、民法基礎Ⅰ、民法基礎Ⅱ、民法Ⅱを受講していることが望ましい（ただし、履修要件とはしない）。また 3 年次には民法Ⅲ（およびその他未受講のもの）を必ず受講することが求められる。
- ・なお、平成 31 年度以降は、3・4 年合同ゼミを予定している。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

- ・次年度が初開講のため、オープンゼミは実施しません。
- ・質問があれば、メールで気軽にお聞きください（橋本 E-mail:sinhashimoto@res.otaru-uc.ac.jp）。

1. 研究主題

このゼミでは、憲法・行政法に関わる判決・論文の精読、報告、討論を通じて、公法学(憲法・行政法)に関する理解を深化すること、法的思考能力の獲得を目的とします。

2. 指導要領

(1)3 年生

【前期・後期の前半】判例研究を行います。報告者(1-2 名)が、判決を一つ取り上げ、関連する判例及び学説を調べた上でレジュメを作成し、それを元に参加者全員で討論を行います。報告者以外は毎回簡単なペーパーを作成・提出してもらい、提出されたペーパーを参照しながら討論を行います。報告者以外は、ゼミの時間にただ単に大人しく座っていれば良いのではなく、関連文献の予習はもちろん、質問・意見・感想などを提示することが求められます。

扱うテーマについては、広く公法学に関するものであれば自由に決めて構いません。参考までに 2017 年度前期には、天皇コラージュ事件、非嫡出子の住民票記載、法廷における写真撮影、砂川政教分離訴訟、LGBT とパートナーシップ制度などについて扱いました。扱うテーマは大枠において教員からある程度の提案を行いますが、最終的には自らの興味関心に従って決定して構いません。私の研究対象は、外国人の法的地位・国籍に関する法理論ですが、ゼミで扱うテーマはこれに拘束される必要はありません。

【後期の後半】テキストを輪読します。扱うテキストは受講生と相談しながら決定したいと思います。テキストの内容は、憲法・行政法のほか、比較法(特に外国憲法)、法思想史(特に憲法学に関する古典文献)、国際人権法などを予定しています。参考までに過去のゼミで扱った文献として、カール・シュミット「現代議会主義の精神的状況」「政治的なものの概念」、ハンス・ケルゼン「民主主義の本質と価値」、George Williams, *A Charter of Rights for Australia* (UNSW Press, 2007)、ジョン・トーピー/藤川隆男(訳)『パスポートの発明』(法政大学出版局・2008 年)などがあります。

また、3 年生は、上記作業と並行しつつ、卒論の構想を練ることが求められます。3 年終了時には、卒業論文の予行として、卒論のベースとなるようなレポートを作成します。

(2)4 年生

3 年生の発表に協力しつつ、卒業論文の準備・作成(中間発表含む)

3. 指導テキスト及び参考書

六法、憲法基礎Ⅰ・Ⅱ、憲法Ⅱにおいて使用した判例集・教科書。それ以外は教員から適宜指示します。

4. 選考の方法(面接・テスト等)

面接によって判断します。受け入れの可否については、志望理由書、学習意欲、全体の成績評定(GPA)などを総合考慮して判断します。

5. 面接・テスト等の日時・場所

以下の手順によって行います。

(1)申込期間中に学部教務係所定のアンケートフォームに登録して下さい。

(2)10 月 31 日(火)17:00 までに志望理由書を作成し、研究室(1 号館 322)まで持って来て下さい。不在のときには研究室前に設置してある提出用の箱に投函して下さい。志望理由書には、氏名、学生番号、自己紹介(所属している部活、趣味、出身高校など)、連絡が取れるメールアドレス、志望理由、憲法学に対して自身が抱いているイメージ、取り組みたいテーマ(漠然としたものでよい)などを記入して下さい。分量は A4 用紙 1 枚から 3 枚程度。

(3)11 月 8 日(水)14:30 から行うゼミ面接に参加して下さい。集合場所はゼミ室(309)です。授業などにより日程が合わない場合は個別に面接を行いますので、その旨の連絡をして下さい。

※面接の日程は諸事情により変更するときがあります。その際には掲示しますので、随時確認して下さい。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- ・受け入れ人数は7-8人前後。所属学科は問いません。

- ・原則として、憲法基礎Ⅰ・Ⅱ、憲法Ⅱを履修した、あるいは履修する予定であること。さらに、行政法Ⅰ・Ⅱを履修する予定であること。諸事情によりこれらの科目を履修できない場合は、自主的に教科書などを読んで知識を補って下さい。行政法はこの募集要項を読んでいる2年生には馴染みがない科目だと思いますが、憲法と行政法は車の両輪のように非常に関連性が高い科目です。このゼミでは、憲法的視点だけではなく、行政法的視点からも検討を行います。

- ・無断遅刻、無断欠席、部活・アルバイトによる遅刻・早退・欠席は厳禁です。

- ・ゼミの準備等はかなりハードかもしれませんが、その分だけ能力が身につくことは保証します。熱心な学生の参加を待っています。

- ・質問などがあれば、ybando@res.otaru-uc.ac.jp まで。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

①10月5日(木)14:30以降 ②10月12日(木)14:30以降 ③10月19日(木)14:30以降

場所:ゼミ室(3号館309)

※上記時間帯以外でもゼミ室に誰かいる場合には随時見学自由です。

社会情報学科

Information and Management Science

社会情報学科 開講ゼミナール一覧

阿部 孝太郎	78	沼澤 政信	90
大津 晶	80	原口 和也	93
加地 太一	83	平沢 尚毅	96
小泉 大城	86	深田 秀実	98
佐山 公一	88	三谷 和史	101

1. 研究主題

社会心理学や社会学をベースにした消費者行動、及びそれに関連したマーケット・リサーチと経営コンサルティング(宣伝を中心にした戦略立案)活動。及び、コミュニケーション(「組織コミュニケーション論」のシラバスとテキスト参照)とコラボレーション(「組織情報論」のシラバスと参考文献参照)に関する諸科学。

2. 指導要領

下記テキストで理論的知識を得ながら、実際のマーケット・リサーチと経営コンサルティング活動に応用していく。ゼミの前半時間は学生によるプレゼンテーション(テキストの内容をまとめる)、後半時間はプロジェクトの活動(ブレインストーミング・動画撮影等)を行うことが多い。

3. 指導テキスト及び参考書

- ・ジェニファー・アーカー、アンディ・スミス 『ドラゴンフライエフェクト—ソーシャルメディアで世界を変える』(翔泳社)
- ・マルコム・グラッドウェル 『急に売れ始めるにはワケがある—ネットワーク理論が明らかにする口コミの法則』(SB文庫)
- ・ジェームズ・スロウィッキー 『「みんなの意見」は案外正しい』(角川文庫)
- ・山口周 『外資系コンサルの知的生産術』(光文社新書)

※その他、アメリカの大学のテキストの抜粋や、簡単な経営戦略関連の文献(ex.「週刊ダイヤモンド」2017/8/5号など)。

4. 選考の方法(面接・テスト等)

「阿部ゼミを志望する理由」「感銘を受けた本」に関して、A4・二枚にまとめて(各テーマの分量バランスは応募者の都合でよい)、ゼミ室(408)か阿部研究室(533)の連絡用のボックスに提出(表紙は不要。学生番号と氏名を冒頭に明記)。募集受付期間は、ゼミ募集期間開始から4日以内(土日・祝日を除く)。

5. 面接・テスト等の日時・場所

ゼミ室(408)の前に、面接日時(原則として応募書類を出した者が受ける)の掲示をする。その後基本的に、火曜、木曜の四講目の時間帯に面接を行う。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

他学科も歓迎です。

7. オープンゼミの日時・場所(予定)

10/12、10/19、いずれも、木曜、14:30-15:45頃までを予定(詳しい内容は、ゼミ室前に掲示)。

ゼミ紹介白書

< 阿部 ゼミ >

開講日時	木曜日 14:30~17:40
在籍人数(3年生)	7人
男女比(3年生)	2:5
ゼミ室	408
ゼミの鬼仏表	(仏) ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

- ・ 組織コミュニケーション論の先生。
- ・ 家族想い♡
- ・ 車好き
- ・ ダンディ...
- ・ 東大・青学出身!!!

< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	ゼミの日常
5	
6	
7	
8	夏休み
9	
10	
11	
12	
1	
2	春休み
3	

<ゼミの日常>

- ・ 輪読、プレゼン
→ 2人ずつ交代で!
- ・ スイーツの市場分析
→ スイーツを食べるSWOT分析等します。
- ・ twitter, facebookでの宣伝活動
→ 定期的に更新しています♪

<卒業生の進路>

日本郵便
ジェイコム
桂和商事
北海道銀行
トヨタコミュニケーションシステム
公務員 ...

<自由記入欄>

社情だてゼミマーケティングに興味がある人!!
学科問わず大募集しています☆
お菓子好きな人も是非♡



1. 研究主題

社会工学／都市計画／地域経営／都市空間解析／都市と OR

(※キーワード：人口減少，都市縮退，積雪寒冷地，ソーシャルデザイン，スマートシティ)

2. 指導要領

■ 3 年生： まちづくりに関する学習や活動を通じて，都市や地域に関する問題意識や知的関心を深めます

- ① 都市計画／まちづくり／ソーシャルビジネスなどに関連する文献を複数選び講読します。
 - ・「田園回帰 1%戦略: 地元で人と仕事を取り戻す」, 藤山 浩, 農山漁村文化協会 (H28 年度) など
 - ・「ソーシャルデザイン実践ガイドー地域の課題を解決する 7 つのステップ」, 寛 裕介, 英治出版 (H27 年度)
 - ・「ビジネスモデル・ジェネレーション ワークショップ」, 今津美樹, 翔泳社, (H26 年度)
 - ・「観光まちづくり」, 西村幸夫, 学芸出版社, (H25 年度)
 - ・「観光の地域ブランディング」, 敷田麻実ほか, 学芸出版社, (H 25 年度)
 - ・「まちづくりを学ぶ～地域再生の見取り図」, 石原武政・西村幸夫, 有斐閣, (H 24 年度)
- ② 1) まちづくり見学ツアー, 2) まちづくり系コンペ (アイディア・ビジネスプランなど) 参加, 3) まちづくりコンサルティング (地域調査・分析), 4) 市民協働プラットフォーム形成支援 (まちづくりワークショップやソーシャルビジネス) の実践などに取り組みます。
 - ・「社会課題の解決と地域のブランディングをねらいとした新しい水産加工食品の開発」 (H29 年度)
 - ・「クラウドファンディングを活用したおたる水族館のリノベーションならびにカフェ経営と SROI の測定」 (H28 年度～)
 - ・「岩内町地方創生事業支援活動ならびに地方創生☆政策アイディアコンテスト 2016 への参加」 (H27 年度～)
 - ・「津別町まちなか再生事業」支援活動 (H27 年度)
 - ・「小樽商工会議所港湾振興プロジェクト (コンテナカフェ社会実験)」共同実施 (H27 年度～)
 - ・「小樽市自治基本条例」市民プロモーション支援活動 (H26 年度)
 - ・「仁木町銀山地区の地域づくり・コミュニティデザイン事業」支援 (H25 年度～)
 - ・「第 2 回地域再生実践塾 (小樽)」の企画運営 (H 25 年度)
 - ・小樽市における空き家の現状調査・分析およびシェアハウス事業の提案 (H 24 年度)
- ③ 他のゼミや他大学の学生と交流し，異なる価値観や複眼的な視点を学びます。
 - ・ディベート大会 (年 4 回) を通じて，論理的な思考力や議論というコミュニケーションスキルを身につけます。
 - ・夏のゼミ合宿および研究発表会 (年 3 回) を，深田ゼミ (社会情報学科) と合同で実施しています。
 - ・他大学 (筑波大学，北海道科学大学など) と合同ゼミや相互訪問などの交流を行います。

■ 4 年生： 各自の動機・興味に沿って研究を進め，卒業論文を完成させます

卒業研究の題材・テーマとしては，都市計画・地域科学・社会工学に関連するもので，指導可能と判断するものは基本的に受け入れます。※近年の卒業論文題目 (下記) を参考にしてください。

- 【H28】 「地域に対する個人的な繋がりが消費者選好に及ぼす影響についての分析」 (学生論文賞「優秀賞」受賞)
- 【H28】 「カラーブロックを用いた高校生の進路及びまちづくりに関する意識調査」 (同「特別賞」受賞) (他 10 編)
- 【H27】 「来訪経験ならびに知人の有無が都市間の認知距離に与える影響について」 (他 3 編)
- 【H26】 「費用便益分析を用いた札幌市における排雪システムに関する研究」 (同「優秀賞」受賞)
- 【H26】 「マルチエージェントシミュレーションを用いた観光回遊行動分析」 (同「優秀賞」受賞)
- 【H26】 「地方都市における高齢者の“居場所”に関する研究」 (同「奨励賞」受賞) (他 5 編)
- 【H25】 「航空ネットワークを基にした空港の地利値分析」 (同「優秀賞」受賞) (他 9 編)
- 【H24】 「場所性が与える行動への影響に関する研究」 (同「優秀賞」受賞)
- 【H24】 「鉄道車窓景観から見た都市境界の分析」 (同「奨励賞」受賞) (他 5 編)
- 【H23】 「学生団体の SNS を利用したコミュニケーションの質的分析」 (同「優秀賞」受賞)
- 【H23】 「上水道供給網および水備蓄施設の最適な構成に関する数理的解析」 (同「奨励賞」受賞) (他 7 編)
- 【H22】 「観光地に対する事前評価と事後評価の関係」 (同「奨励賞」受賞) (他 12 編)

3. 指導テキスト及び参考書

特に定めていません。活動内容や研究テーマ、学生の予備知識の状況等に応じて検討・指示します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

エントリーフォーム（<https://goo.gl/xVAhz8>）から志望理由・小論文等を提出してください。

5. 面接・テスト等の日時・場所

提出されたエントリーシート（特に志望理由と小論文の内容）を評価し、必要に応じて個人面接を実施します。面接日時（実施する場合）や可否の連絡はすべてメールで通知しますので、確実に受け取れるアドレスを入力してください。エントリーフォームの提出期限は設けませんが、11月7日以降順次内定を出し、内定者が12名（うち社会情報学科6名以上）に達した場合は、原則として募集を終了しますので、注意してください。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

都市計画に関する事前の専門知識は不要です。むしろ現代の都市・地域や社会が直面している課題に幅広く関心を持っている学生を歓迎します。また、勉強や研究だけでなく、花見、緑丘祭出店、夏合宿、ゼミOB会、卒業旅行など、年間を通じて種々のイベントがあるので、大学生生活の後半2年間はゼミ活動を優先して取り組む意欲が高く、協調性と主体性を持った学生が向いているでしょう。所属を希望・検討している学生は、オープンゼミなどの機会を利用し、現役のゼミ生に話を聞くなどしてゼミ活動について事前にしっかりと調べることを勧めます。

7. オープンゼミの日時・場所

オープンゼミ期間に限らず、大津ゼミの活動に関心がある学生は、卒論ゼミ（火曜4講～）／3年ゼミ（木曜4講～）を自由に見学・体験することを認めています。これまでに一度もゼミ活動を見学したことが無い学生は所属を認めないことがあります。

【よくある質問と回答】

「知っている先輩や同期の希望者に知り合い／友人が居ませんが大丈夫ですか？」

→ まったく問題ありません。都市の本質のひとつは多様性です。大津ゼミは同質性が高い集団を目指していないので、むしろその方が望ましいとも言えます。

「何が評価されるのですか？」

→ 現時点の知識の量や成績はあまり関係ありません。都市や地域に対してどのような関心を持っているか、ゼミ活動全体のパフォーマンスを高めることができるか、それらを通じてどれだけ学ぼうとする意欲があるかを確かめます。

「面接をする場合、個人とグループのどちらですか？上級生も面接（評価）に同席するのですか？」

→ 面接形式は教員との1対1です。上級生による評価方式は同質性を高める（自分と同じような価値観の後輩を高く評価する）傾向があるため、多様性を重視する大津ゼミでは不適当と判断し、導入していません。

「3年次に取り組むプロジェクトは事前に決まっている／自分たちで決めるのですか？」

→ 両方のケースが有り得ます。同時に並行していくつかのプロジェクトに携わるケースも多いです。

「社会情報学科以外の学生も所属できますか？」

→ 大津ゼミは多様性を重視しますので歓迎です。実際にほぼ毎年全学科の学生がいます。なお、1次選考では学科を跨いだ応募は認められませんが、2次選考以降は1次募集でどの学科に応募したか関係なく自由に応募できます。

「数学やコンピュータができないとやっていけませんか？」

→ そんなことはありません。ただどちらも問題解決のための“道具”として便利なので使いこなせる方が良いでしょう。

「部活・バイト・就活が忙しいのですが欠席は何回できますか？」

→ 出席回数で成績を決めているわけではありません。ぜひ欲張って両立させてください。

「留学したいのですが可能ですか？」

→ 過去に多くの先輩たちが留学や海外インターンシップに参加しています。戦略的休学を含め柔軟に対応します。

「大学院に進学したいのですが可能ですか？」

→ もちろん可能です。進学後の指導も可です。他大学への進学も前向きに考えてください。

「大津ゼミは、就職が良い／悪いですか？」

→ 過去の主な進路（下記）と現役ゼミ生の意見を参考にしてください。卒業生は幅広い分野で活躍中です。

卒業後のネットワークが強いのも大津ゼミの特徴です。→ゼミのOB/OG会は毎年東京・札幌それぞれで開催。

【大津ゼミ卒業生過去10年間の主な進路（内定含む）】

○金融・保険

日本政策金融公庫，商工中金，ろうきん，北洋銀行，北海道銀行，北陸銀行，札幌信用金庫，小樽信用金庫，帯広信用金庫，SMBC日興証券，野村証券，岡三証券，芙蓉総合リース，三菱UFJリース，日本生命，第一生命，東京海上日動，損保ジャパン日本興亜，三井住友海上火災保険，アフラック，JA共済連

○メーカー・食品

富士通，東芝，日立，京セラ，神戸製鋼，コマツ，TOTO，レンゴー，朝日工業社，ホクエイ，アストラゼネカ，ノバルティスファーマ，日本製紙，コクヨS&T，サントリーフーズ，山崎製パン，明治製菓，六花亭，ポンパドウル，メゾンカイザー

○建設・インフラ・運輸・不動産・旅行

大林組，前田建設，一条工務店，吉野石膏，JR北海道，JTB北海道，三菱地所，北海道電力，日本航空，全日空，エアドゥ，マンダリンオリエンタル東京

○商社・小売り・流通・通信・広告・サービス

双日，ぎょれん，日本紙パルプ商事，ムトウ，イオン北海道，丸ヨ西尾，ライトオン，フィールズ，NTT東日本，NTTドコモ，NECソフトウェア，日立ソリューションズ，日立公共システム，メンバーズ，北日本広告，キャリアバンク，大丸藤井，マイナビ，ディップ，グローヴエンタテインメント，IDOM，マーキュリー

○公務員・進学など

札幌市議会議員，小樽市議会議員，国土交通省，北海道経済産業局，旭川市，石狩市，苫小牧港管理組合，北海道教育委員会（高校英語教員），北海道警察，小樽商科大学大学院

1. 研究主題

本ゼミの特徴というのは「自由」という言葉に表わされます。好き勝手にやれるということではなく、各自が興味ある問題を自分で発見し、どう独自に取組み解決するかを主題とし自由に研究を進めることにあります。基本的には、身近な問題に対して、最新の情報科学、マネジメントサイエンス（オペレーションズ・リサーチ）の考え、そしてコンピュータの活用などにより問題解決をはかっていきます。これらを通して本ゼミでは論理的問題解決能力、コンピュータ処理能力、発表能力をトレーニングしていくこととなります。主に以下のようなテーマなどを扱うでしょう。

- 意思決定と経営効率評価分析（ベストな選択と評価とは）
- 商品企画戦略手法の適用と消費者行動心理の応用（科学的な戦略とは）
- データ分析とその応用（真実を知るには）
- オペレーションズ・リサーチ（OR）および最適化とその活用
- アルゴリズム（プログラミング）のデザイン（コンピュータの世界とは）
- コンピュータの利用と応用

また、ゼミのホームページ（<http://www.otaru-uc.ac.jp/~tkaji51/>、あるいは「加地ゼミ」で検索してください）の「加地ゼミの卒論」のところに過去のゼミ生の卒論が示されています。多くの様々な問題にトライしている研究内容を見ることができます。

2. 指導要領

各人が興味あるテーマを選択し、それぞれについて調査発表を行い、ゼミを進めていきます。各個人のテーマ、個性に合わせて指導を行い4年次の卒業研究の完成を目指します。具体的には各自が担当箇所を決め（自分で問題を発見し）、その担当箇所を発表してもらいます（問題解決を進めていく）。

3. 指導テキスト及び参考書

特になし

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接を行い選考します。

面接を希望する方は、下記の要領で「加地ゼミ志望書」を提出してください。

提出方法： E-mail で志望書ファイルを添付して送ること。各自の確認のため、返信メールを送ります（無事送信がなされたか確認してください）。

締切り： 11月2日（木）17：00

提出先： tkaji51★★★★

提出先注意：「★★★★」を「@res.otaru-uc.ac.jp」に書き換えメールすること。

件名： 氏名@加地ゼミ志望（例：山田太郎@加地ゼミ志望）

志望書ファイル： ワードプロ書き（Word or PDF）とし、A4版1、2枚でまとめること。また、ファイル名を各自の氏名とする（ex: 山田太郎）。

志望書内容： ①学生番号 ②氏名（ふりがな）③学科 ④性別 ⑤E-mail（連絡が取れるメール、携帯メールなど）
⑥志望ゼミ（第3希望まで志望順）⑦出身地、出身高校 ⑧部活、サークル、アルバイト等 ⑨志望理由（800字程度とし、自己アピールなども交えながら記すこと）

5. 面接・テスト等の日時・場所

日時： 11月9日（木）

14：30から15：30（左記の時間帯に訪問すれば面接可）

場所： 加地ゼミ室（317教室）

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

自ら調べ、解決していくことが中心となりますので、自分で考え、トライしていく力をもっているか、それを養う気持ちが必要となります。そして、人にわかりやすく伝える工夫、そのためのサービス精神が要求されるでしょう。それから、個人的に楽しい人なら OK です。

7. オープンゼミの日時・場所

下記いずれかの開始時間に来室してください。20 分前後のゼミ生による模擬発表と裏話があります。

日時： 10月12日（木）

第1回目開始時間： 14時30分

第2回目開始時間： 15時00分

第3回目開始時間： 15時30分

場所：加地ゼミ室（317）

(^_^)v 後半の方が空いていますよ。

ゼミ紹介白書

< 加 地 ゼミ >

開講日時	木曜日 14:30 ~ 16:10
在籍人数(3年生)	8 人
男女比(3年生)	5 : 3
ゼミ室	317
ゼミの鬼仏表	仏 ○ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人？

掃除が好きでゼミ室がきれい！
甘いもの、日本酒が好き

< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	新 歓
5	
6	
7	
8	夏 休 み
9	↓
10	
11	
12	
1	
2	
3	

<ゼミの日常>

- ・ 2~3人ずつ 自分の研究を
プレゼンします
- ・ 早く帰れるよ！

<卒業生の進路>

厚生労働省	北洋銀行
北海道庁	JCB
日本生命保険	安田生命保険
NTT東日本	三菱UFJインバネス テクノロジー株式会社
富士通	OPC...

<自由記入欄>

好きなことできる 自由なゼミです。

ホームページみてね！

1. 研究主題

「データサイエンス研究」

近年の急速な情報技術(IT)の普及にともない、企業や政府、官公庁等の組織活動においてデータを有効に利用することの重要性は高まっています。データサイエンスとは、統計的な考え方を基礎とし、コンピュータを駆使したデータ分析を行うことで、客観的かつ定量的な知見を見出そうという考え方、および関連するさまざまな方法論のことです。

本研究では、データサイエンスの考え方を通じ、まだ詳細に分析されてない分野やデータ等から新たな知見を見出す能力を身につけ、激動する社会の荒波の中でも存分に活躍可能な人材になることを目標とします。

2. 指導要領

本研究では理論と実践の両方のバランスを重視します。理論とは、いわゆる統計学についての正確な理解に基づく知識のことであり、実践とは、対象としている分野についての幅広い知識と、統計的な分析を行うコンピュータを自在に駆使する能力のことを指します。

こうした能力を兼ね備えた人材になることは、決して容易ではないかもしれませんが、高い目標に向けた努力を惜しまず、長期的な視野に立った学習を通じ、社会で活躍することを目指す学生の参加を歓迎します。

3. 指導テキスト及び参考書

宮川公男 著、「基本統計学（第4版）」、有斐閣、2015年（下記にQRコードあり）。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

原則として面接による。

5. 面接・テスト等の日時・場所

学内掲示板に掲示します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

■面接にあたり、将来のキャリアや興味分野、分析対象としてみたいデータ等について考えてみよう。

■図書館や書店などで関連する書籍を手にとって眺めてみよう。

■天性の素質よりも地道な努力ややる気が報われやすい分野だと思います。

■一概にはいえませんが、これまでのわたしの経験では、数学的な内容に抵抗が少ない学生は、この分野を学ぶにあたり長期的な伸びしろが大きい気がします。しかし、これは決して過去の数学のテストの点がよいかどうかを問題にしているわけではありません。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

■日時：学内掲示板に掲示します。

■場所：3号館 209E ゼミ室

■内容：研究内容や分野の紹介、および質疑応答 等



ゼミ紹介白書

< 小泉 ゼミ >

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:40
在籍人数(3年生)	6 人
男女比(3年生)	1 : 0
ゼミ室	209E
ゼミの鬼仏表	(仏) ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?



<ゼミの日常>

< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	顔合わせ・初飲み会
5	輪読 焼肉
6	↓ Excelで実習
7	↓
8	↓ 実際のデータで実践分析
9	↓ 統計検定の勉強会
10	輪読
11	↓
12	↓
1	↓
2	↓
3	↓

3講終了時点でゼミに集合
↓
担当箇所の人以外は発表、他は静かに聴く。後に質問
↓ゼミが終わり
スマブラ大会

<卒業生の進路>

登壇1期生なので卒業生がいない

<自由記入欄>

上の先生の絵のうしろは「現実の問題を統計の世界に落とし込んで考察する」というモデルです。この考え方を持つ「データサイエンティスト」は、情報の価値が急上昇している現代社会では貴重な存在になっています。何をしたいか決まっていなくていい、という方こそ強くお勧めします。

後輩には女の子が多いらしい

1. 研究主題

人間の認知過程（情報処理過程）のしくみを調べる。実験室実験や社会調査をおこない、情報処理過程のモデル化をおこなう。Web 技術や IT 技術の発展に伴い、私たちのコミュニケーションが急激に変化してきている。たとえば、ツイッターはその場で起きた出来事を不特定多数の人に即時に発信できるが、過去にこのような情報伝達手段は存在しなかった。佐山ゼミでは、新たに生まれたコミュニケーションのしくみを調べる。次の 4 つのテーマで研究を行う。

●言語の理解：Web 上の文章や広告を人がどのように理解しているか？ ツイッターやフェイスブックなどを介した Web 上でのコミュニケーションと現実のそれとはどこが違うか？

●顔の認知：人が相手の顔から性別、人種、民族、職業、年齢、魅力、個性、性格、感情などを読み取ろうとすると、読み取ろうとする本人の情報がどのように影響するか？

●国、地域、都市のブランドイメージ：海外の観光客が Web やガイドブックなどを使って、訪日前に、日本、北海道、小樽、札幌のイメージをどのようにつくっているか？ そうしたイメージは、訪問後にどのように変わるか？

●大学生の職業選択：うまく職業選択のできる大学生はどのように自分に自信を持っているか？ 親の考え方や仕事は大学生の職業選択にどのような影響を与えるか？

2. 指導要領

3 年次：

(1) 言語、顔、ブランドイメージなどの認知過程の基礎的な知識を身につける。認知心理学の教科書を輪読した後、最新の研究論文を輪読する。発表者は発表内容をパワーポイントファイルにまとめてくる。この過程を通じて、自分の興味に従い、研究すべき卒業論文のテーマを決める。

(2) 模擬実験を体験する。有名な心理現象に関する実験を、できあいの実験プログラムを使っておこなう。実験のやり方を練習する。

(3) 模擬実験の結果を分析し発表する。実験データの分析のやり方を練習する。データの分析は、統計解析ソフト（SAS, Amos）を使っておこなう。発表者は発表内容をパワーポイントファイルにまとめてくる。

(1)～(3)を繰り返す。

(4), (5)は不定期に行う。

(4) 過去の佐山ゼミ卒業生の卒論を教員が紹介する。

(5) 卒論に書く実験のテーマと実験の計画を発表する。

4 年次：

(1) 自分で考えたテーマに関する実験をおこなう準備をする。

(2) テーマと関係のある文献の輪読をする。

(3) 毎回発表者を決め、卒論の途中経過報告をおこない、お互いに議論しあう。

(1)～(3)を繰り返す。

(4) 実際に実験をおこない、データを分析し、卒論にまとめる。

3. 指導テキスト及び参考書

輪読する日本語の教科書：認知心理学に関する教科書であれば、何でもよい。

輪読する研究論文：その都度配布する。

参考書：●西本・林共編『認知心理学ワークショップ』早稲田大学出版部 ●J. R. アンダーソン 『認知心理学概論』 誠信書房 ●戸田・阿部・桃内・往住 『認知科学入門』 サイエンス社

4. 選考の方法（面接・テスト等）

- (1) 社会情報学科の学生を最優先して選考します。11/8（水）12 時までに志望理由書を提出してください。おおよそ志望理由書によって決めますので、詳しく正確に書いてください。佐山研究室（4 号館 352 室）ドアのレポートボックスに入れてください。志望理由書をみて書類選考します。
- (2) 候補者に対し面接をおこない最終決定します。

レポートには次の項目を書いてください。

- (1) ゼミに入って何を研究したいか？ 佐山ゼミの研究テーマの中で、どのテーマにどのように興味を持っているか？
- (2) ふだん何に時間を使っているか？ どのようなサークル・クラブ等に入ってどんなことをしているか？ また、どのようなアルバイトをしているか？
- (3) 自分の趣味、性格、特技など。
- (4) その他書きたいこと。

5. 面接・テスト等の日時・場所

11/8（水）17 時に、候補者リストと面接の日時を <http://www.kohichi.net/佐山ゼミ/> と佐山研究室（4 号館 352）のドア横に掲示します。面接は 11/9（木）13 時からおこなう予定です。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

言葉の理解、顔の認知、ブランドイメージに興味を持っている人、とくに、将来、人間の情報処理の研究者になってやろうという人を歓迎します。不明な点があれば sayama@res.otaru-uc.ac.jp までメール下さい。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

10/5（木）、10/12（木）、10/19（木）、いずれも 4 講目、415（佐山）ゼミ室で行います。

1. 研究主題

私は、人工知能（AI）やソフトウェア、ネットワーク分野の基礎的研究を行っています。特に、最近気になるものは、Web コミュニケーション、Web インテリジェンスにおける AI、教育に関する情報メディアやアプリにおける AI です。例えば、Web から自分の必要な情報を効率的かつ正確に抽出するにはどうしたらよいでしょうか？

Twitter やブログ情報の有効活用方法はないでしょうか？ 街を活性化するような地域情報推薦システムは作れないのでしょうか？ 教育や学習に役立つ効率的なアプリやゲームなどはどのようなものなのでしょうか？

ゼミ生の研究テーマとしては、これらの分野の研究を希望することはもちろん、これら以外にも興味があり、各自が責任を持ち最後まで積極的に取り組むことが可能であれば、他の分野のテーマでも結構です。

2. 指導要綱

「これって、どんな状況？」、「こういう解決方法は効果あるかなあ？」、「こんなものがあつたら少し便利なんじゃないかなあ？」、「あんなものがあれば少しは楽ができるのでは？」という気持ちをきっかけに各々のテーマを決めて、自ら対象を調査してデータを収集し、それらを分析して、そこから何がいえるのかを明らかにしてください。

2 年次：今後のゼミ活動のための準備（クラウドストレージの登録・設定、Facebook の登録・設定、ディベート練習）、卒論発表＆卒業生追いコンへの参加、春休み課題の提出などを行います。

3 年次：合同ゼミ（ディベート）への参加。

卒論作成に向けて、（就活前に卒論の大半を終えるぞ！という意気込みで）各個人（各グループ）、研究テーマを決めて学習、調査、分析、プレゼンテーションを行います。早期に卒論を完成させて、卒論発表を実施することも可能です。

4 年次：卒論の完成・卒論発表、後輩指導、ゼミ広報などを行います。

3. 指導テキスト及び参考書

研究テーマを探す段階：各人がテレビ番組、雑誌、学会誌、論文誌などを見たり読んだりして、おもしろいテーマを見つけ出しましょう。

研究テーマが決定後の段階：信頼性のある学会誌、論文誌などを参考にしましょう。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

簡単な面接を行います。面接の参考資料としますので、事務に提出する「研究指導所属申込書」以外に、

- 所属学科、学生番号、名前（必ず読み仮名を記述してください）、
- メールアドレス（ほとんど毎日確認するメルアドを教えてください。
面接スケジュール、選考結果を連絡する予定です）、
- 志望ゼミ（第一志望ゼミ、第二志望ゼミ、第三志望ゼミ）、
- 所属する部活名、サークル名
- 下記の面接予定日時について都合が悪い場合は、その旨およびその理由。

を、2017 年 10 月 31 日（火曜）21:00 までに電子メールで宛先 numazawa@res.otaru-uc.ac.jp へ送付してください。

5. 面接・テスト等の予定日時・場所

日時：2017 年 11 月 7 日（火曜）14:30 ～

場所：沼澤ゼミ室（110 室）

（上記の時間帯に来られない方は事前にメール（宛先は前述同様）にて連絡ください。

また、上記日時は変更になる場合もあります。そのときは、皆さんから教えていただいたメールアドレス宛に連絡いたします。）

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- ・ 10月中旬には大津ゼミ、江頭ゼミ、近藤ゼミとの「合同ゼミナール（ゼミ対抗ディベート大会）」を開催する予定です。オープンゼミ期間であるなしは関係ありませんので、興味のある方々は、ぜひ見学にきてください（詳細については、後日、各ゼミ室前に掲示します）。
- ・ 「こんなものがあったら少し便利なんだけどなあ」、「あんなものがあれば少し楽できるのになあ」ということを考えて、「それを、ぜひ実現させたい！」と思う人たちを歓迎します。皆さんの様々な視点でたくさんのアイデアを出してください。
- ・ また、進学を考えている人も歓迎します。希望するゼミ生は北海道大学 複合情報工学講座 知能ソフトウェア研究室（栗原正仁研究室）のゼミナールへ参加することも可能です（<http://kussharo.complex.eng.hokudai.ac.jp/>）このような交流の中で、情報系の興味深いテーマに出会い、小樽商大から北海道大学大学院へ進学して、北海道大学大学院修士号を取得して大企業へ就職することも夢ではありません。理系大手企業への就職者のほとんどは大学院修了者のこの時代。さあ、理系企業への就職を希望するあなた、ぜひ御検討を！

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

10月5日（木曜） 場所：沼澤ゼミ室（110室）

10月12日（木曜） 場所：沼澤ゼミ室（110室）

10月19日（木曜） 4ゼミ合同ディベート大会

（場所は未定。数日前には判明しますので、お問い合わせください）

以上

ゼミ紹介白書

< 沼澤

ゼミ>

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:40
在籍人数(3年生)	11 人
男女比(3年生)	6 : 5 女子が多い!!
ゼミ室	110 (3号館 1階)
ゼミの鬼仏表	仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

1. 優しい!! そして おだやか

2. ロジカル 的確なアドバイスをもらえるよ

3. マッチョに Vネック黒Tシャツ

 頼れるととてもいい先生ですよ~!

< 2017 年度年間スケジュール >

<ゼミの日常>

12~3	(前年度)
4	卒論準備
5	ディベート大会 ①
6	
7	ディベート大会 ②
8	フテージ 
9	ゼミ合宿 (ニセコ) BBQ
10	ディベート大会 ③
11	
12	ディベート大会 ④
1	
2	
3	追いコン 

主に卒論の準備 (プレゼン) と
ディベートに向けた活動をしています!
卒論のテーマは 自由 なので、
自分の興味のある事を研究できます♪

<卒業生の進路>

- ・ 日本生命
 - ・ 東京海上
 - ・ 日本政策金融公庫
- などなど...

<自由記入欄>

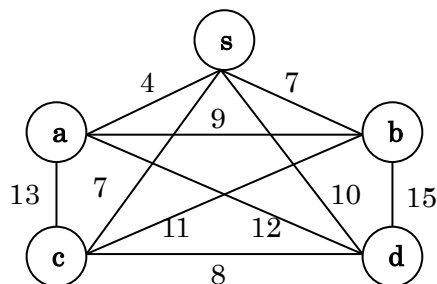
④ 大ゼミの中で圧倒的な勝利数を誇るディベート・カチゼミ!
3年生から卒論準備をして、快適な4年生ライフを送りましょう🐱
プレゼン能力を高めたい... 論理的思考能力を養いたい... ディベートって何するの?
と思った方はぜひ合同説明会に来てみてください~

1. 研究主題

私の専門は組合せ最適化です。組合せ最適化問題とは、与えられた制約条件を満たす組合せのうち「最良」のものを問う問題です。こう書くと難しそうですが、その多くはパズルのようなものです。例として次のパズルを考えてみましょう。

○は都市を表します。都市と都市は道路で結ばれています。道路に付された数は、その道路の所要時間を表します。(たとえば都市 a,b 間の所要時間は 9 です。)

都市 s を出発し、他のすべての都市をちょうど 1 度ずつ訪れて s に戻る巡回路のうち、総所要時間が最も短いものを求めてください。(たとえば巡回路 $s \rightarrow a \rightarrow c \rightarrow d \rightarrow b \rightarrow s$ の総所要時間は $4+13+8+15+7=47$ です。)



このパズルは「巡回セールスマン問題」という代表的な組合せ最適化問題の例ですが、都市 a,b,c,d にポケモンがいるとみなせば、すべてのポケモンを回収して出発地 s に戻る、所要時間最小の巡回路を求める問題とみなすこともできます。キャンディクラッシュやナンプレ（数独）など比較的名なパズルも、組合せ最適化問題の一種とみなすことができます。

組合せ最適化は単なるパズルに留まらず、工場における材料切出し問題、航空会社の乗務員スケジューリング問題、研修医と病院のマッチング問題、モバイル端末の周波数割当問題など、実社会の様々な場面で応用を持ち、オペレーションズ・リサーチや人工知能における重要な研究分野の 1 つとして知られています。

2. 指導要領

ゼミ生には組合せ最適化や関連分野に関する理解を深めてもらいつつ、各自の研究に従事してもらいます。3 年生の間は、研究に必要な知識（離散数学、アルゴリズム論、Python 言語によるプログラミング、組合せ最適化）の学習を中心にやってもらいます。3 年生の後半で研究テーマを決定し、以降はそれぞれの研究に取り組んでももらいます。

これまでのゼミ生の研究テーマは、おおむね以下のいずれかに該当します。

- コンピュータにパズルを解かせる
- コンピュータにパズルを作らせる
- パズルを人に遊んでもらう

3 番目の「パズルを人に遊んでもらう」ことに関して言えば、原口ゼミではこれまで 5 点のパズルアプリをリリースしました。いずれもアップル社の AppStore から無償でダウンロード可能です。原口のウェブサイトからリンクを張っていますので、興味のある人は遊んでみてください。

原口ゼミでは、ゼミ外での成果発表を強く勧めています。緊張感のある場で発表すること、そしてそれに向けて努力を重ねることが、ゼミ活動における貴重な経験の 1 つと考えるからです。これまでの主な発表は以下の通りです。

【2016 年度】

- 「クロスワードパズル生成問題の新しい定式化」本学学生論文賞にてヘルメス賞・特別賞・ベストプレゼンテーション賞、ならびに 2016 IEEE 札幌支部学生論文コンテストにて奨励賞を受賞
- 「ビルディングパズルの自動生成」本学学生論文賞にて奨励賞・特別賞を受賞
- 「Python 言語と Kivy によるマルチタッチアプリケーションの開発～学習計画アプリの開発事例～」北海道アプリコンテスト 2017 にて大地みらい信用金庫賞を受賞

【2015 年度】

- 「モンテカルロシミュレーションを用いたビンゴゲーム参加者の不満度の考察」本学学生論文賞にてヘルメス賞を受賞
- 「単純な特徴のみに基づいた組合せパズルの難易度推定」本学学生論文賞にて奨励賞を受賞

3. 指導テキスト及び参考書

別途指示します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

簡単な書類審査と 1 人 10 分程度の面接を行います。

5. 面接・テスト等の日時・場所

書類様式を <https://goo.gl/Wt1zhk> からダウンロードし、メール添付で原口宛（haraguchi@res.otaru-uc.ac.jp）に送ってください。期限は 10/31（火）とします。面接は第 1 次選考期間中に行いますが、別途メールで調整します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

原口ゼミでは、コンピュータサイエンスにおける重要な分野のいくつか（離散数学、アルゴリズム論、プログラミング、組合せ最適化）について基本を学ぶことができるのはもちろんですが、その学習と研究を通じて、次の 2 つを経験できるのは醍醐味ではないかと考えています。

- アプリなど、何か 1 つのものを作ることに没頭する経験
- 外部への発表に向けて文章やスライドを練りに練り、本番に挑む経験

こういった経験は皆さんの大きな糧になるものと信じています。やる気のある人を待っています。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

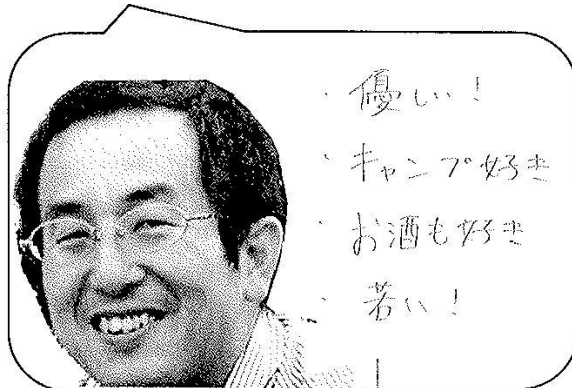
10/5（木）をオープンゼミとします。見学は歓迎しますが、事前にメールや SNS 等でアポを取ってください。また、9/28（木）のゼミ合同説明会に出展する予定です。

ゼミ紹介白書

< 原口 ゼミ >

開講日時	木曜日 14:30 ~ 16:30 <5>
在籍人数(3年生)	6人
男女比(3年生)	男が多いです。:
ゼミ室	3号館1階 108 教室
ゼミの鬼仏表	仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?



< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	数学・プログラミング基礎
5	
6	
7	↓ 4年生と顔合わせ
8	夏休み
9	↓
10	卒論研究・計画科学
11	計画科学は先生の読書
12	
1	
2	↓ 追いコン
3	

<ゼミの日常>

前期のうち、2~4人の担当者が教科書の内容を発表したり、問題を解いてきて発表したりします。
後期は iPhoneアプリを自分達で作ります!

<卒業生の進路>

民間企業がほとんどです。
もちろん銀行や公務員、
大学院進学者もいます。

<自由記入欄>

数学もプログラミングも難しいようなイメージを持ちがちですが、ゼミで基礎から学べるので、興味がある人は誰でも大丈夫! オープンゼミ期間は遊びに来てね。
ゼミ室にはプロジェクターもあるのでゼミ時間外に好きなものを映しちゃってオッケー!
※今年からゼミ室に3Dプリンターを導入するらしい?!

1. 研究主題

『人間中心設計に関する研究』が研究室のテーマです。人間中心設計とは、システム／サービスに関わる人間（利用者を含む）や組織を探索することによって、新しいアイデアを構想し、システム／サービスを詳細に設計してゆく方法全般を意味します。実際には、新しいシステム／サービスを構想するプロセス、具体的なシステム／サービス要求を導くプロセス、システム／サービスのタッチポイントを設計するプロセス、システム／サービスの妥当性を確認するプロセスなどがあります。

当研究室では、実際のサービスを題材にして、これらのプロセスを学習します。現在は、学内サービス、観光サービスなどを題材にして、サービス設計を演習しています。

一方、人間中心設計は、もの作りと並行して、人間科学の知識が必須になります。ゼミを通じて、心理学や社会学に基づいた調査法・評価法の習得を行います。

2. 指導要領

まず、3年生の段階で人間中心設計に関する基礎的な知識・技法を学習します。3年次までには、実験あるいは調査を行いながら基本的な知識の習得を目指します。理論の学習と並行して、演習を実施しています。また、先輩が実施しているプロジェクトに参加しながら、調査研究の実際に体験してもらう場合もあります。

4年次には、各自で独立したテーマを設定して、大学院生などの指導の下で、1年をかけて研究プロジェクトを遂行します。卒論を希望する学生は、これを論文としてまとめます。

3. 指導テキスト及び参考書

毎年、購読するテキストは異なります。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

グループ面接によって選考します。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接の開催日をゼミ室（322号室）前に掲示します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

大学生活の結果、何か具体的に『かたち』を残したい、何かを創りたいという願いがある人にとっては、有効なゼミになるでしょう。この皆さんの「願い」を基本に、研究、就職とつなげてゆきます。理論の学習だけでなく、調査や実験を通じて、実際に身体を動かして情報を入手し、具体的なデータを基に、洞察、構想するという行動パターンを身につけることになります。

また、様々な業界からのお客様が来られるので、可能な限り、社会人との接点を持つようにします。そのための作法も体得できます。

7. オープンゼミの日時・場所（予定） ※夜間主コースは記載不要

（1） 10月10日（火） 14:30～ ゼミ室（322号室）

（2） 10月12日（木） 14:30～ ゼミ室（322号室）

変更する場合がありますので、必ず、ゼミ室の前の掲示を確認してください。

ゼミ紹介白書

< 平沢 ゼミ >

開講日時 火 曜日 14:30 ~ 17:00 水
在籍人数(3年生) 6人
男女比(3年生) 1:1
ゼミ室 322
ゼミの鬼仏表 仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

料理がうまくて
犬が好き
やさしくて
おもしろい
先生です!

先生のイメージ→
(フッキ●7パパ風)



< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	
5	花見
6	
7	海
8	前期 打ち上げ
9	夏休み
10	オープンゼミ
11	
12	新歓
1	
2	後期 打ち上げ
3	追いコン

<ゼミの日常>

コーヒーや紅茶など自由に
飲みながらゼミをおこなって
います。

<卒業生の進路>

各種コンサルティング
電気系、メーカー系
デンスー、竹中エ務店
大学院進学 など

<自由記入欄>

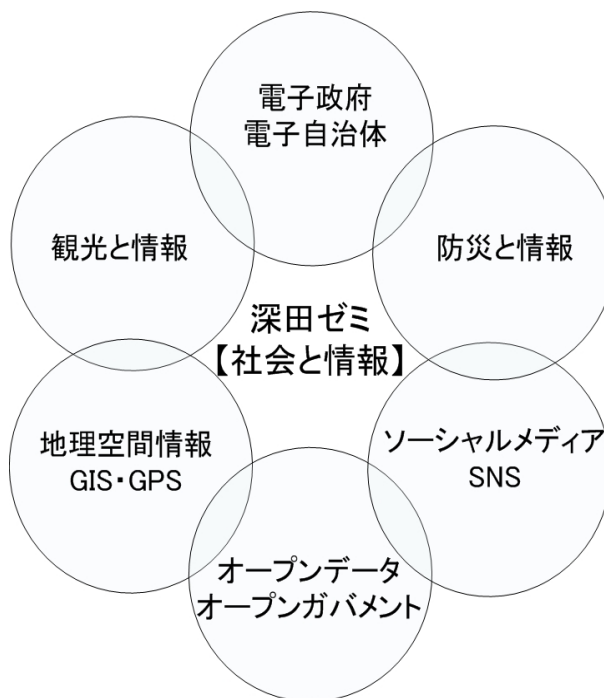
気軽に相談会(説明会)&オープンゼミ 来てね!!

1. 研究主題

当ゼミのテーマは「社会と情報」です。社会調査法などを用いて、「社会と情報」に関する諸課題を調査・分析し、課題解決に向けた方策を考える能力を養うことを目的とします。

また、学生自らが調査・分析・発表を行う過程で、個々人の主体性や計画力・実行力を養うことを目指します。

研究対象として具体的なキーワードをあげるとすれば、「観光と情報」、「防災と情報」、「地理情報システム（GIS）を用いた地域分析」、「電子政府・電子自治体」、「ソーシャルメディア」などです。



2. 指導要領

3 年次：社会的な課題に関する調査・分析を実施するために必要となる知識やスキルを学ぶ。

4 年次：各自が決めた研究テーマについて、調査・分析を行い、進捗状況を報告・発表する。

3. 指導テキスト及び参考書

下記の書籍の中から、ゼミ生と相談して使用する複数のテキストを決めます。

- ・盛山和夫：『社会調査法入門』有斐閣, 2004 年。
- ・大谷信介ほか：『新・社会調査へのアプローチ—論理と方法』ミネルヴァ書房, 2013 年。
- ・原純輔, 海野道郎：『社会調査演習（第2版）』東京大学出版会, 2004 年。
- ・ボンシュテット, ノーキ：『社会統計学—社会調査のためのデータ分析入門』ハーベスト社, 1990 年。
- ・片瀬一男：『社会統計学』放送大学教育振興会, 2007 年。
- ・小塩真司：『研究事例で学ぶ SPSS と AMOS による心理・調査データ解析』東京図書, 2005 年。
- ・谷富夫, 芦田徹郎：『よくわかる質的社会調査 技法編』ミネルヴァ書房, 2009 年。
- ・谷富夫, 山本努：『よくわかる質的社会調査 プロセス編』ミネルヴァ書房, 2010 年。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

「面接」を行います。面接の資料として、下記の内容を記載した志望理由書を作成し、提出して下さい。

- 提出方法：E-mail に志望理由書を添付して送付すること。

- 締 切 り：11月3日（金）13時まで（厳守）

- 送 付 先：fukada@res.otaru-uc.ac.jp（以下、「教員アドレス」と呼ぶ）

- 件 名：E-mail の件名は次のように記すこと → 深田ゼミ志望理由書の送付（学生氏名）

- 形 式：作成した志望理由書のファイル名は、「深田ゼミ志望理由書（学生氏名）」とすること。

Word 等を用いて、A4 版 1～2 ページ程度にまとめること。記載の様式は自由とする。

- 志望理由書に記載する内容：

- 1) 学生番号, 2) 氏名（ふりがな）, 3) 学科, 4) 性別, 5) 出身高校, 6) 志望理由（400 字程度）,
- 7) 所属する部活・サークル等, 8) E-mail アドレス（確実に連絡が取ることができるアドレス）,
- 9) 志望ゼミ名（第 1, 第 2, 第 3 希望の順で志望ゼミ名を明記）, 10) 自己アピール（ゼミで何を

5. 面接・テスト等の日時・場所

【日時】11月7日(火)または9日(木)に行う予定(時間帯:3講目~6講目)。面接の順番の決め方など詳細は、オープンゼミなどの機会に説明する。なお、予定している面接日時が変更になる場合は掲示しますので、ゼミ所属選考期間中は、掲示を注意深く見て下さい。

【場所】教員研究室(1号館425研究室)で「個別面接」を行う予定。なお、希望者が多数の場合は、面接方法を変更する場合があります。その場合は掲示します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

当ゼミは、学生の自主性、積極性、協調性を重視します。また、当ゼミの特徴として、通常の研究指導の時間帯以外でも、学外でのフィールドワーク(例えば、関係者へのヒヤリングや社会調査活動など)、ゼミ合宿、その他の対外的な活動などを行うため、これらに対して積極的に参加してほしいと考えています。そのため、これらのゼミ活動全般に対して、時間的にも精神的にも、誠実に取り組むことができない学生には不向きです。

以上の点を十分に検討し、オープンゼミに出席して、応募するかどうかを決めて下さい。また、ゼミに関する質問等があれば、教員にメールで事前に連絡し、訪問して下さい。

○深田研究室:1号館425研究室, 深田ゼミ室:3号館320室

教員アドレス(E-mail):fukada@res.otaru-uc.ac.jp

7. オープンゼミの日時・場所(予定)

【オープンゼミ(ゼミ説明会)予定日時】10月5日(木)と12日(木)の2回

【場所】ゼミ室 3号館320室

ゼミ紹介白書

131かた
＜ 深田 ゼミ ＞

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:00
在籍人数(3年生)	8 人
男女比(3年生)	1 : 3
ゼミ室	320
ゼミの鬼仏表	仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人？

- ・ 甘いものが好き♡
- ・ おしゃべり好き
- ・ 優しい
- ・ フレンドリー
- ・ 東北出身



＜ 2017 年度年間スケジュール ＞

12～3	(前年度)
4	テキスト輪読
5	
6	
7	↓ 野外研習 (BBQ)
8	夏休み課題
9	↓
10	卒論のテーマ決めに
11	↓ に向けた活動
12	↓ 新歓
1	
2	
3	

＜ゼミの日常＞

基本的にテキスト輪読形式で、
毎週4人が作成してきた
レジュメを説明 + 先生が解説を
してくれます！
前期後半にはパソコンを使って
説明したりもします！

＜卒業生の進路＞

- ・ リフトバンクモバイル
- ・ NTT 東証
- ・ 北海道銀行 etc...

民間企業も、公務員も!!

＜自由記入欄＞

テキスト輪読形式で、自分の興味のある分野に関する
知識を増やせます！担当以外の分野に関する視野も広がります！
社情のゼミなので、パソコンやプリンターも充実しています。

1. 研究主題

インターネットを用いたコミュニケーションに関する研究

- コンピュータネットワークに関する研究

プログラミング言語とその処理系

モノのインターネット (IoT) に関する基礎研究

その他、関連するテーマであれば、ある程度の希望は採り入れる。

2. 指導要領

プレゼミ

本や論文を読み文章にまとめて他人に説明し、適切な質疑応答ができることがゼミに参加する上での必要事項である。

また、説明のためにプレゼンテーションツールを使いこなすことも必須であり、ゼミ所属が決定した時点から3年次になるまでにこれらを5回程度プレゼミとして行なう。

3 年次：テキストの輪読と演習

ゼミ生の興味に沿ったアルゴリズム系やプログラミング系のテキストを使って輪講と演習を行う。最近選択した言語はC++, OCaml (関数型言語), Java, 形式記述言語 Alloy 等であり、現在の3年生はJava言語を学んでゲームの作成を目指している。少人数の場合、ワンボードコンピュータ等のハードウェアを使った実習も考えている。

4 年次：テーマに沿った卒業論文の作成指導

学生のモチベーションを維持するため、基本的に論文のテーマは学生自身で決めることとしている。そのため、オリジナリティを持った主張のできるタネを沢山持ってきて、そこから卒業論文に最も相応しいものを選択・指導していくので、沢山のタネを持って来るべく社会や技術に関心を常に向けておく必要がある。

3. 指導テキスト及び参考書

適宜指示する。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

所属学科、氏名、学生番号と志望理由、情報、ソフトウェアに関する科目の履修状況とその成績の自己評価、研究したいテーマ等を具体的に記述したA4版の用紙1枚の「申込書」を面接時に提出のこと。

5. 面接・テスト等の日時・場所

11月7日(火曜)14:30よりゼミ室(209D)にて行なう。銓衡結果は後日ゼミ室のドアに掲示する。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

原則として社会情報学科所属であること

原則として情報、ソフトウェアに関する科目を履修中、または履修済みであること

部活、サークル、アルバイト等で勉学を疎にすることがないこと

昼間コース社会情報学科 研究指導募集手続を参照のこと

過去の所属学生は、基礎ゼミも含めて男性63名女性35名（内修士4名）、現在は男性8名である。

7. オープンゼミの日時・場所（予定） ※夜間主コースは記載不要

10月24日(火曜)14:30よりゼミ室(209D)にて行なう予定である。

一般教育等

General Education

一般教育等 開講ゼミナール一覧

後藤 良彰..... 104

杉山 成..... 105

西永 亮..... 107

沼田 ゆかり..... 108

1. 研究主題

数学の分野の中から、受講者の興味にあったものを選び、学習してもらいます。特に希望する分野がない方には、複素関数論を学習してもらう予定です。

2. 指導要領

テキストを事前に読み込み、理解した内容をゼミで発表してもらいます。発表中、教員から質問や指摘を受けることになりますので、適切に対応することが求められます。ゼミを通じて、「論理的に考える能力」、「他者に説明する能力」、「他者と議論する能力」などを身に付けることを目標としています。

また、学習した内容を文章としてまとめることにより、論理的な文章を書く練習もしてきます。

3. 指導テキスト及び参考書

受講者のレベルや興味ある分野に応じて、相談の上決定します。例えば、複素関数論を学習する場合は R.V.チャーチル, J.W.ブラウン著、中野實訳『複素関数入門(原書第 4 版新装版)』数学書房を候補としています。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接を行います(数学に関する簡単な質疑応答も含みます)。必要に応じて、ゼミと同様の形式で発表をしてもらう可能性もあります。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接は選考期間(11 月 6 日～11 月 16 日)の間随時実施します。日程は相談の上決めますので、ゼミ希望者はできるだけ早く(遅くても 11 月 9 日までに)メール(goto@res.otaru-uc.ac.jp)で連絡してください。
面接は 404B ゼミ室で行います。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

本学の「数学 I」、「数学 II」、「基礎数学」を履修している、あるいは同程度の知識を有していることが望ましいです。これらの知識がなくてもゼミに所属することは可能ですが、より多くの自習を求められることになります。また、複素関数論を希望される場合は、平成 29 年度後期開講科目「現代の数学 I」の履修を強く勧めます。

ゼミの発表中は、教員が様々な質問や指摘をしますので、それらに耐えられるようきちんと理解して発表に臨む必要があります。従って、ゼミの時間外も数学を長時間考えることになりますので、数学が好きな人に履修をお勧めします。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

オープンゼミは行いません。質問等はメール(goto@res.otaru-uc.ac.jp)で随時受け付けます。直接面談を希望される場合も、メールにてご連絡ください。

1. 研究主題

「自分・仕事・社会の幸福な関係について考える」

近年、アルフレッド・アドラーの心理学に注目が集まっています。皆さんのなかにもベストセラーとなった『嫌われる勇気』を読んだ方も多いと思います。彼の心理学は個人心理学とよばれ、「人間が人間らしく生きるための方法を教える心理学」といわれています。

本ゼミナールでは、この個人心理学の理論を学び、それに基づいた実践を行っていくことによって、自分、仕事、そして社会の間の幸福な関係について一緒に考えてみたいと思います。

2. 指導要領

個人心理学の理論的枠組みについての学習、そしてそれに基づいた実践をゼミの両輪として進めていきます。

理論面では、個人心理学についての各種テキストを輪読し、個人心理学に基づいたパーソナルワークおよびグループワークを行います。

実践面においては、ピアサポート活動（大学での居場所づくりや障がいのある学生への支援）・心理学ワークショップの開催を計画しています。また、そのために必要な対人援助（ピアカウンセリング）やプレゼンテーションのスキルを身につけていきます。

3. 指導テキスト及び参考書

岸見一郎・古賀史健 『嫌われる勇気』『幸せになる勇気』（ダイヤモンド社）

アルフレッド・アドラー 『人生の意味の心理学（上・下）』（アルテ）他

その他、学生の希望に応じて選択します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望動機や現在の関心事等について、10分程度の簡単な面接を行います。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接は11月7日（火）13時から403ゼミ室で行います。どうしても時間の都合がつかない場合には、事前にメールで申し出てください（宛先：sugiyama@res.otaru-uc.ac.jp）。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

次のような諸問題に関心があれば、2年間のゼミ活動のなかで、自分なりの答えを見つけることができるのではないかと考えます。なお、現時点で心理学の基礎知識は必要ありません。

- ・人間らしく生きるとはということか
- ・自分を受け入れるにはどうしたらよいか
- ・仕事を通して成長していくにはどうしたらよいか
- ・社会のなかでの居場所はどのように作っていけばよいのか
- ・他者との信頼関係はどのようにしたら得られるか

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

10月19日（木）15:00～17:00に行い、時間内は出入り自由です。実施場所については後日、掲示でお伝えします。

ゼミ紹介白書

< 杉山 ゼミ >

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:40
在籍人数(3年生)	16人
男女比(3年生)	1 : 3
ゼミ室	3号館 403教室
ゼミの鬼仏表	仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

- ・ とっても優しくておだやか。
- ・ 相談に乗ってくださったり要望を聞いてくださったり、個別の対応がとっても丁寧。
- ・ 真面目だけどノリもよくてジョークも飛ばす御方。

< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	アドラー心理学+カウンセリング演習 +ピアサポート(にころや)
5	
6	
7	
8	
9	アドラー心理学+メンタルヘルス対策 +ピアサポート(にころや)
10	
11	
12	
1	
2	
3	

<ゼミの日常>

- ・ ゼミ室に誰かいて、雑談とか勉強とかしている時間が多い。
- ・ 先生が定期的にゼミ室にお菓子を追加してくださるのでありがたくいただく。
- ・ ゼミ生企画でたこ焼きとかかき氷とかわりとなんでもできる。

<卒業生の進路>

公務員・金融・保険・教育・運輸・流通 など多分野へ就職しています。また、大学院への進学例もあります。

※ 以前の形式のゼミでの実績です。

<自由記入欄>

今の形式でのゼミは、現3年生が初で、新たな試みも多く試行錯誤の連続ですが、のびのびと楽しく活動してます！ 興味のある方、お待ちしています！

1. 研究主題

20 世紀の社会・政治思想（欧米を中心に）

2. 指導要領

20 世紀とはどのような時代であり、思想的に何が問題にされていたのかという問題意識のもと、重要な思想家のテキストを精確に理解することを目指す。具体的には、下記の指導テキストのうちから数冊を輪読する。報告者が担当箇所についてレジュメを作成して報告し、それにもとづいて議論を行なう。なお、原著も参照するので、相応の英文読解力が必要となる。

3. 指導テキスト及び参考書

指導テキスト：

- ・ジャック・マリタン『人間と国家』（創文社）
Jacques Maritain, *Man and the State*, 1951
- ・Y. R. シモン『民主政治の原理』（国際文化研究所）
Yves R. Simon, *Philosophy of Democratic Government*, 1951
- ・エリック・フエーゲリン『政治の新科学』（而立書房）
Eric Voegelin, *The New Science of Politics*, 1952

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由と現時点での研究テーマについてのレポート（800 字以上、書式自由、但しワープロを使用すること）を提出の上、面接を行なう。

5. 面接・テスト等の日時・場所

- ①上記レポートの提出先：研究室ドアの指定場所 締切：10 月 31 日（火）17：00
- ②面接日時：11 月 8 日（水）12：00～ 場所：ゼミ室

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- ・「社会思想史Ⅰ・Ⅱ」及び「現代思想」を履修していること。
- ・思想史研究におけるテキスト読解は、単に読み手の主観的な願望の反映であってはならず、書き手である思想家の意図、論理構成、思考プロセスを客観的・体系的に（この意味で科学的に）分析するものでなければならない。日本語訳を離れて原語にも触れる必要があるのは、そのためである。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

1. 研究主題

- ・バクテリアセルロース(ナタデココ)を用いた材料開発
- ・後志産果実由来セルロース合成菌が産生したナタデココを用いた研究
- ・発酵ナノセルロースを用いたゲル状食品(ゼリー・プリン等)の開発

2. 指導要領

各自別の研究テーマを持ち、全員が異なる内容の実験を個別に行うこととなる。実験方法やデータのまとめ方など研究を行う上で必要な基礎知識・技術を指導する。実験結果について教員と個別にディスカッションを行い、研究の方向性の検討を適宜行う。1か月に1度、ゼミ内の報告会でそれぞれの研究の進捗状況を報告する。その他、週に1度、高分子関係書籍を用いて輪講を行っており、各自2～3週に1度(ゼミ生の人数によって変更あり)発表の機会がある。研究をとおして、PDCA サイクル(Plan→Do→Check→Action)を習得することを目標として指導を行う。3・4年合同ゼミを予定している。

本学で所有していない装置を用いた実験は共同研究先で行うこともある。

3. 指導テキスト及び参考書

参考書

「理系なら知っておきたい ラボノートの書き方【改訂版】」岡崎浩司・隅藏康一著、羊土社

「絶対わかる高分子化学」齋藤勝裕・山下啓司、講談社

「ベーシックマスター生化学」大山隆監修、オーム社

「基礎からわかる機器分析」加藤正直・内山一美・鈴木秋弘著、森北出版

など

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接により決定する。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接の日時を調整するので、連絡を取ることに。

面接期間：11月6日から11月16日の内随時

面接場所：化学研究室(3号館1階)

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

化学ⅠおよびⅡを履修していることが望ましいが、化学の知識は問わない。未履修の場合、2018年度に履修すること。

一生懸命に実験に取り組めることが必要である。本ゼミの実験は適切なサンプル調製条件や測定条件の検討が必要となるため、同じ条件もしくは少し条件を変えてサンプルを何度も調製、各種装置の測定手法の習得が必要となる。そのため、同じことを繰り返し行うことが苦痛な人には履修を勧めない。

時間割上の「研究指導」の時間帯だけ実験を行っても全く研究が進まないため、各自が空き時間や講義後に実験を進める必要がある。つまり、実験室の滞在時間が長くなる。そのことを良く理解したうえで希望してもらいたい。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

日時：10月5日 14時30分～

場所：化学実験室(3号館1階)（注）化学研究室の隣です。

言語センター

Center for Language Studies

言語センター 開講ゼミナール一覧

小林 敏彦	110
ジョン・サーマン	111
佐々木 香織	112
羽村 貴史	114
マーク・ホルスト	115

1. 研究主題

異文化コミュニケーションと英語習得

2. 指導要領

英語はただ外国人と会話しているだけでは上達しません。SLA（第二言語習得）の専門家が科学的に英語力を上達させます。ゼミでは、留学生を交えてビジネスに関連した日本人の行動パターンと社会、および言語に関する英文を読んでディスカッションする活動が中心となります。日本人学生は、英語力を高めるだけでなく、自文化を客観的に理解し、海外へ発信することができるようになります。日頃より留学生との交流を盛んにし、温泉旅行やその他のイベントを高頻度で行います。また、個人のニーズに応じて、以下4つのサブコースを設け、指導します。卒論はコバゼミサイトに掲載されている21に談話分析分野から特定のテーマを選んで執筆します。KS Glocal Education Courses

1: Glocal English Speaker Education

英語を武器に国内外で異文化コミュニケーションをこなせる人材を養成します。BEC（ビジネス英語サークル KEG）に所属し、ゼミプラスの徹底的な英語スパルタ教育を行い、英語圏留学以上の習得を目指します。

2: Glocal English Teacher Education

英語が流暢に話せて、英語で授業を行う力を養成し英語教授法を徹底的に学びます。小樽商大教職研究会および映像メディア教育学会の協力を得て、現職の教員との接点を早期に設け、採用試験対策、絶対合格するための面接対策を早期に手厚く行います。

3: Glocal Japanese Teacher Education

英語で日本語の文法や文化・社会を説明する力を養成し英語を使用した日本語教授法を学びます。

4: Glocal Conference Interpreter Education

国際会議での日英逐次・同時通訳法を学びます。観光通訳や同行通訳の手法も学びます。

5: Glocal Translator Education

日英の翻訳および洋画・海外テレビドラマの字幕翻訳法を学びます。

3. 指導テキスト及び参考書

小林敏彦著「ニュース英語究極単語10000」語研

小林敏彦著「口語英文法入門再改訂版」スクリーンプレイ その他、随時資料を配布します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

一般応募者は、志望動機と詳細な自己紹介を英文300単語前後にまとめ、メールでゼミ募集期間に送付すること。折り返し、面接時間と場所を伝えます。面接は質疑応答すべて英語で行います。結果は発表期間に行います。

面接のポイント：英語力、健康、体力、勤勉性、協調性、誠実性、忍耐性、将来性、品性、徳性を見るために様々な質問をします。英語力よりも人間性を重視します。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接は別個に設定して行います。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

ゼミに関する最新の情報は、KEG ブログで確認すること：<http://blog.livedoor.jp/keg84123/>

ゼミの詳細は、コバゼミサイトで確認すること：<http://www.ne.jp/asahi/toshi/koba/kobaseminar.html>

質問等は、直接会うかメールで行うこと：toshi84123@res.otaru-uc.ac.jp

※このゼミは3・4年生合同ゼミで、木曜日に行います。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

オープンゼミは、ゼミ室（4号館2階、256室で随時行っていますが、メールでの事前予約が必要です。

1. 研究主題

外国語教育方法の研究

TBLT・タスクによる外国語教育方法

外国語教室上のモチベーション(motivation)・態度(attitude)の研究

外国語教室上の量的調査方法

2. 指導要領

3年次は講義を受ける。卒論の内容を考える。

3. 指導テキスト及び参考書

配布物

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由、自己紹介、研究希望を A4 用紙 1 枚程度にまとめ、サーマン研究室（4 号館・452）へ提出してください。

入ゼミ好ましい条件：

1. 英語教育法 I を履修した人又は履修つもり人

2. TOEIC スコアが 6 5 0 点以上の人

5. 面接・テスト等の日時・場所

未定

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

特にありません。

1. 研究主題

この研究会の主題は、身の回りの問題や社会的な現象を、より論理的で実証的に追究することです。

すなわち「社会科学」の基礎体力を養う講座となります。

更にその力を「英語」でも付けてもらうことを企図しています。したがって、日本語と英語の両方二つを使用言語とします。英語文献を読んだり、討論したり、インタビューをしたりする一方で、日本語でデータや記事を精読したり、深く考察したり、調査をすることもあります。

研究主題に即してゼミナールの教育目標が4つあります。

- i. 社会における経済、政治、歴史、文化的な課題に取り組む社会学的な視座を涵養します。
- ii. 社会科学的なリテラシー（アンケートで統計を使う量的調査、そしてインタビューやフィールドワークなどの質的調査を、読む力、実行する力、そして分析する力）を身につけます。
- iii. 社会事象に対して、多角的で建設的な批判精神を磨きます。
- iv. 日本語・英語のどちらに対しても、手短での射た質問をする力やコメントをする力、相手に伝わる資料を作成する能力など、プレゼンテーションとディスカッションの能力を伸ばします。

The theme of this seminar is to explore various issues surrounding our daily life through the lens of social science and, in particular, sociology. The following are the seminar objectives and goals for students:

- i. To improve “*social science literacy*” both in English and in Japanese.
- ii. To develop “*critical thinking*” skills.
- iii. To acquire insight into sociological approaches towards various socio-economic, socio-political, socio-historical, and socio-cultural issues.

2. 指導要領

- ☆ 講師との対話形式、並びに講師がファシリテーターとなったグループ学習で進められます。
- ☆ このゼミの採用言語と、演習のあり方は二つあります。
 - 文献の輪読を通じた演習の場合、英語で60—90分ほど発表と討論を行います。
 - 社会科学的リサーチ能力をつけるべく、インタビューやアンケートを含めた実践的な活動を行います。基本的に日本語を用いますが、外国人へのインタビューや、ゼミ生に留学生が入る場合は、英語も使われます。なお2017年度には、ニセコ・倶知安町における増加する外国人定住者に関する調査を行いました。テーマは、健康と医療におけるlost in translationの問題です。2018年度も、この地域を中心に実勢的な活動をしていきたいと考えています。
 - 30—60分ほど、ある種の補講という意味で、日本語を用いて社会科学の理解促進を図り、かつ社会科学の日本語と英語の語彙確認を行います。

This seminar has three main components:

- i. Critical reading and discussion about 1) chapters from assigned reading
- 2) social science articles, 3) some examples from the media.
- ii. Presentations on 1) assigned reading materials, and 2) one research project.
- iii. Exercise and practice social science research (e.g., to what extent and in what ways do facilities and service for foreigners, provided by the city council in Niseko area, have contributed to the actual end users?)

3. 指導テキスト及び参考書

- ☆ The textbook shall be decided on the first meeting, through consultations with seminar members.

-
- ✧ Other reading materials shall be provided by the instructor.

Further Readings 参考書

- ✓ Bauman, Zygmunt & Tim May (2001) *Thinking Sociologically 2nd*. Wiley-Blackwell
- ✓ 谷岡一郎 (2000) 社会調査のウソ. 文芸春秋.
- ✓ 工藤保則ほか(2017) 基礎ゼミ 社会学. 世界思想社.
- ✓ 村上春樹 (1999) アンダーグラウンド. 講談社文庫

4. 選考の方法 (面接・テスト等)

Interviews 面接 日本語 (応募者多数の場合は、簡単な文章を書いてもらいます)

5. 面接・テスト等の日時・場所

- ✧ Schedule: the period between 6th November and 16th November.
- ✧ Venue: Dr. Sasaki's office, room 427.
- ✧ The specific time for the interview will be determined by Dr. Sasaki.

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

交換留学生も、ゼミ登録をすることがあります。 2017 年度の春学期は、フィンランド、フランス、イギリス (スイス) からの 3 名の留学生が、半期のみゼミに在籍していました。

7. オープンゼミの日時・場所 (予定)

10 月 10 日 (火) と 10 月 24 日 (火) の 4 講義、佐々木ゼミ室 414 を予定(仮)
詳細は、後日発表します。

1. 研究主題

英文学と文化批評を中心に学ぶことで、人種、ジェンダー、階級等の政治的な視座から、もろもろのテキストを文学的に分析し批評する訓練を行います。表面上の物語内容や可視的な文化事象にかぎらず、テキストの深層構造をも読み解けるようになるよう、楽しみながら一所懸命に取り組んでほしいと思います。哲学、文学、歴史学など、人文学分野に強く関心があり、とりわけ文学作品を読むのが大好きな人を歓迎いたします。

2. 指導要領

英文学の研究では、短篇の詩と小説を中心に、英語原典の講読とテキスト分析を行います。また、文化批評の研究では、和英両語で論文の講読と内容吟味を行います。初学者でも愉しく学べるテキストを厳選し、丁寧に指導しますから、かぎられた時間で最大限の成果をあげられるよう、きちんと学習してください。

3. 指導テキスト及び参考書

後日指定。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書および面接。

5. 面接・テスト等の日時・場所

- ・ 面接日時はメールまたは掲示にて後日指定。
- ・ 11月5日（日）までに、志望理由書1枚を電子メールで送付してください（hamura@res.otaru-uc.ac.jp）。興味関心のある分野を中心に述べてもらえたら参考になります。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- ・ 卒業論文については、英文学研究のほか、表象文化論（映画、写真、絵画、漫画、音楽、スポーツ等）、日本文学研究（近現代のみ）、性文化論、民族文化論、歴史認識論、宗教学など、羽村に理解できる範囲であれば、学術的であるかぎり何を研究主題に選んでもかまいません。
- ・ 前もって個別に相談・質問したい場合はメールをください。

1. 研究主題

社会言語学: 社会的要因 (地位、性別、年齢など) がどう人々が言語を使用する方法に影響するかを研究します。

2. 指導要領

このセミは以下の人々に特に向いています: 外国語の勉強が楽しい・異文化コミュニケーションに興味を持っている人・将来、英語の教師として仕事がしたい人。

What do we study? Have you ever thought about how your language changes when you talk to different people? Have you ever considered why Japanese and Korean have honorific language (敬語) but French and English do not? Have you every wondered why men and women have different conversation styles? All of these are sociolinguistic questions. If you join our seminar you can find out the answers to these questions and many others concerning how people use language.

We investigate the varieties of language people use. We study how our speaking style changes according to the situation we are in, according to the people we are talking to and according to the image of ourselves we are trying to project to others (our identity), considering power distance (上下関係), social distance (親しみやすさ) and the setting (場面/状況).

For example: In one project we examined how characters in movies changed their speaking style according to the setting (状況) and their relationship to their interlocutor (対話者): student ⇔ student; teacher ⇔ student; teacher ⇔ teacher, etc. The reasons are sometimes universal across all languages, sometimes due to local culture, and sometimes due to institutional setting (機関的状況).

This seminar has three goals:

- (1) To introduce students to sociolinguistics (社会言語学) by exploring: (i) how the speaking situation affects the language we use (dialect, language style, directness, politeness); (ii) how these factors affect second language learning.
- (2) To develop students' research skills through collecting and analyzing written and spoken language data. Our research methods are: observing and recording natural conversations; analyzing online video and audio resources to understand about identity and language use; surveying and interviewing people on their language use.
- (3) To develop students' reading, writing and communication skills in English, and develop critical thinking skills. The main language of our seminar is English, so good English skills are important. However, our emphasis is on learning about language, so during class Japanese is also used to clarify information. The aim is to have a positive and relaxed learning atmosphere.

Class Format

3rd year: Each week before class, everyone reads about an aspect of sociolinguistics. In class, one person makes a presentation about the topic, after which we discuss it, considering examples from various languages, then write about it for homework. Also, each semester students do a group project investigating how people use language in real situations, and present their findings in the last class.

4th year: Each student carries out a research project on language in use, which they write up for their graduation paper (卒業論文).

3. 指導テキスト及び参考書

Wardhaugh, Ronald (2015) *An Introduction to Sociolinguistics* (7th edition). Wiley-Blackwell.

4. 選考の方法 (面接・テスト等)

- (1) 次のテーマで、英語で 800 words 以上のエッセイを提出して下さい。

Explain one aspect of language or language use that you are interested in studying and why.

11月6日(月) 12.30 時にメールでエッセイを提出してください。 (markaholst@icloud.com)

- (2) 英語能力、モチベーション、および思考力を評価するインタビューがあります。

5. 面接・テスト等の日時・場所

インタビュー時間: 11月07日(火)～11月17日(金) インタビュー場所: ホルストゼミ室 (314)

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

(1) 3年生ゼミは毎週木曜日の14.30-17.15に行います。4年生ゼミは毎週火曜日の14.30-16.30に行います。

(2) 何か詳細が必要でしたら、ホルスト先生に連絡してください。markaholst@icloud.com 研究室:

359 ゼミ室: 314

7. オープンゼミの日時・場所 (予定)

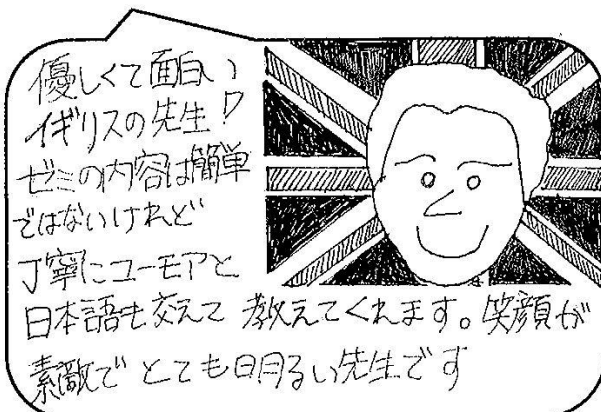
ホルストゼミ室: 10月5日(木)・10月10日(火)・10月12日(木)・10月17日(火)・10月19日(木)

ゼミ紹介白書

<ホルストゼミ>

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:30
在籍人数(3年生)	2 人
男女比(3年生)	1 : 1
ゼミ室	314 Wifi完備の 快適空間
ゼミの鬼仏表	仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人？



< 2017 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	Reading
5	Welcome Party
6	
7	Final Presentation
8	Otsukare Party
9	
10	Reading
11	
12	Christmas Party
1	
2	Farewell Party
3	

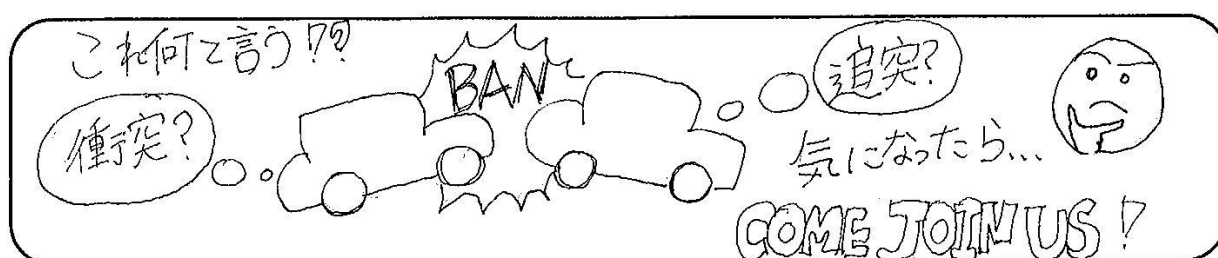
<ゼミの日常>

社会言語学を学んでいます。
各回 担当者がプレゼンを行って
その日のテーマについてみんなが話し
合います。英語を勉強するわけでは
ありませんがゼミ中は英語なので
自然と英語に力がつきます！

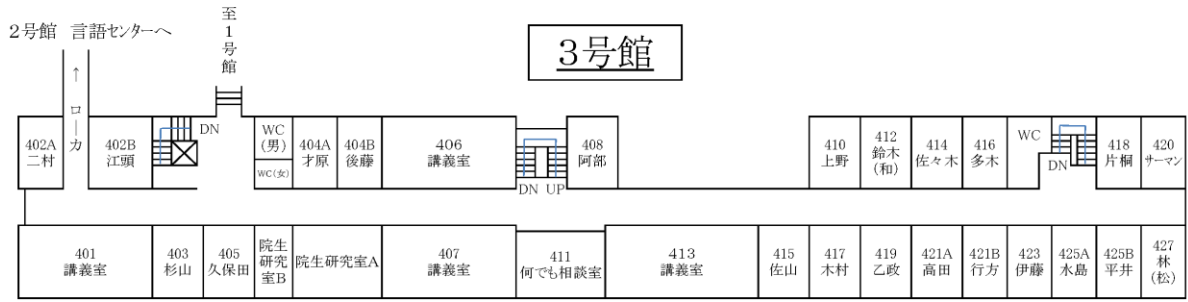
<卒業生の進路>

英語教員、ベンチャー、大手メーカー
IT企業など幅広い業界で活躍！
大学院に進む人や 海外に羽ばたく
人など様々です

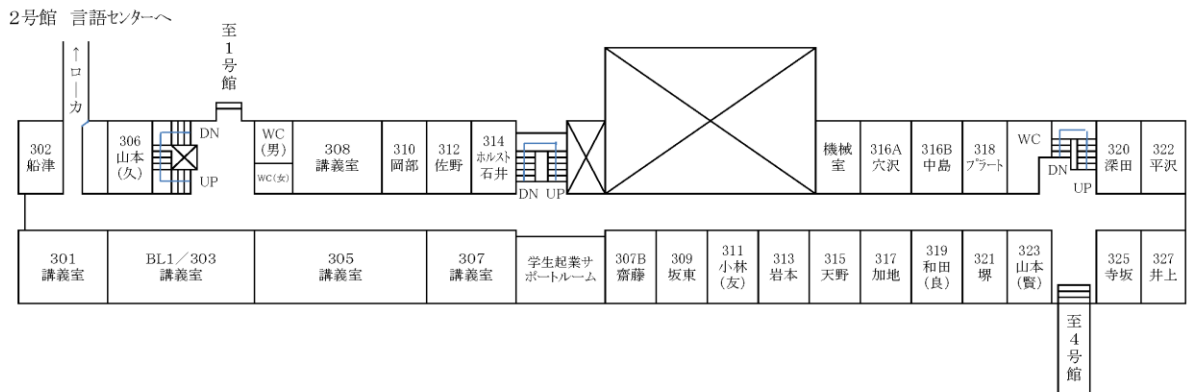
<自由記入欄>



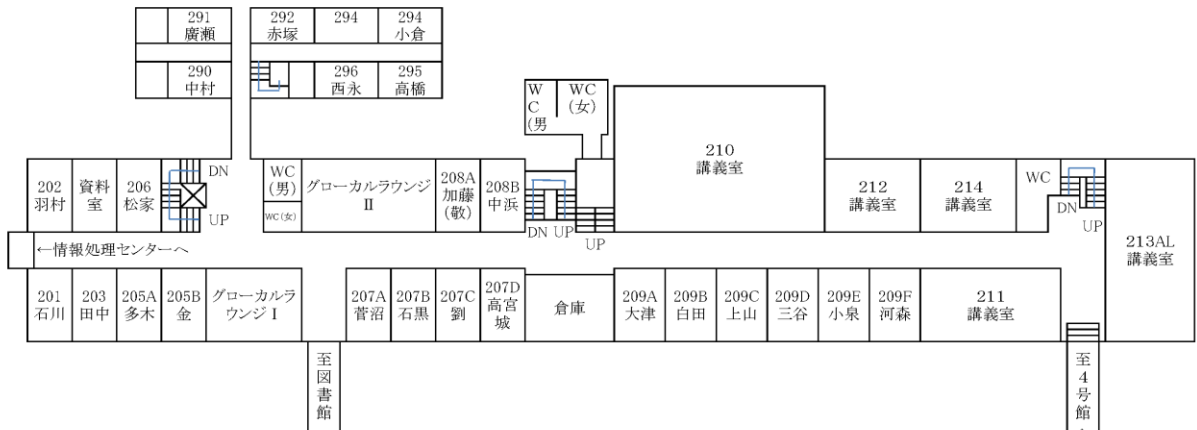
平成29年度 講義室・ゼミ室配置図



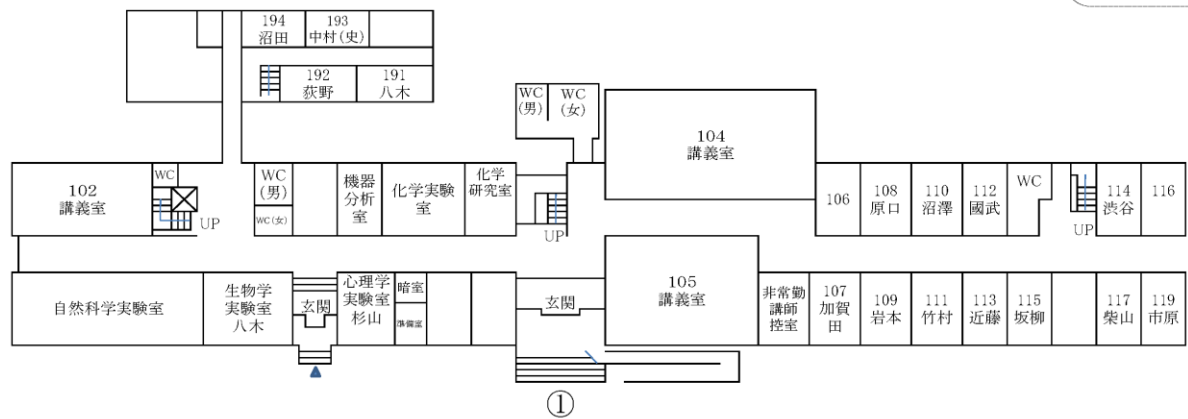
4階



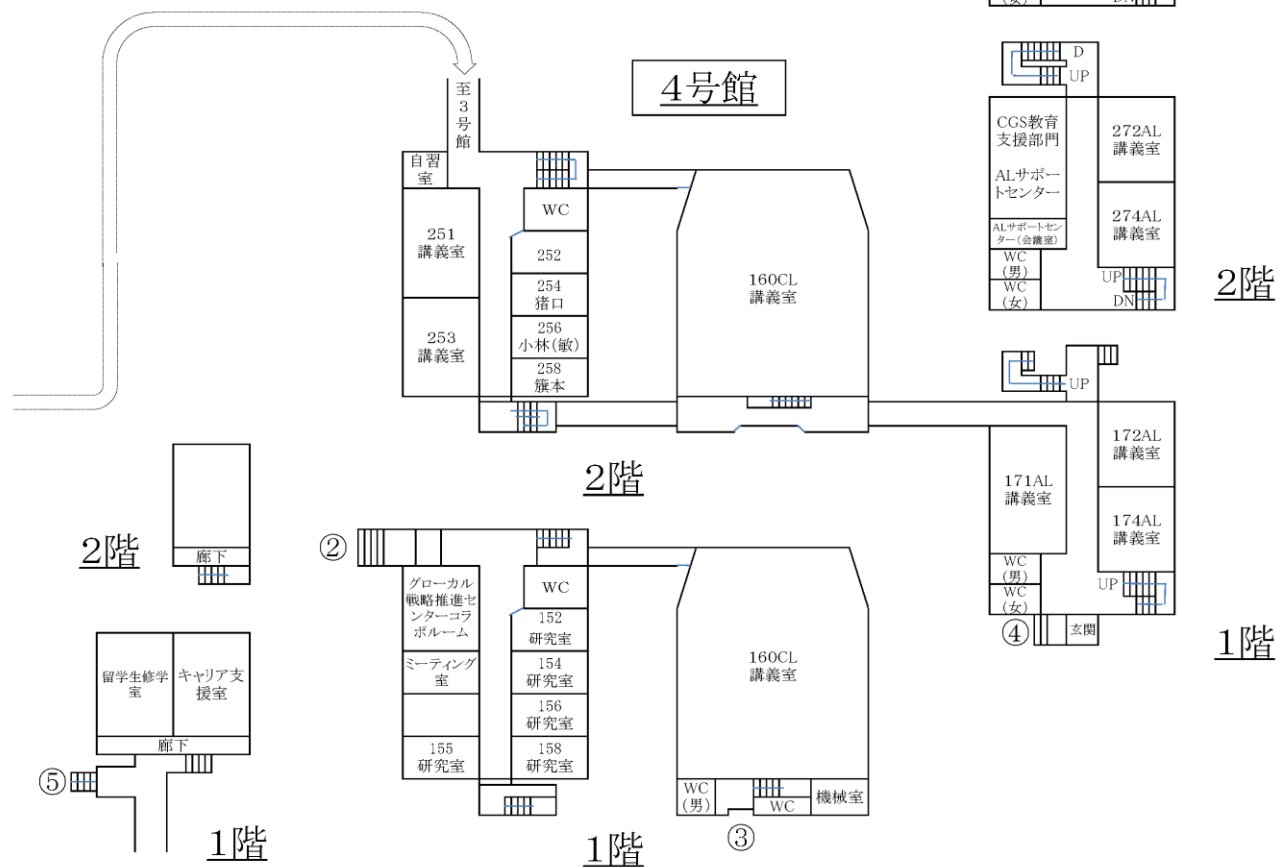
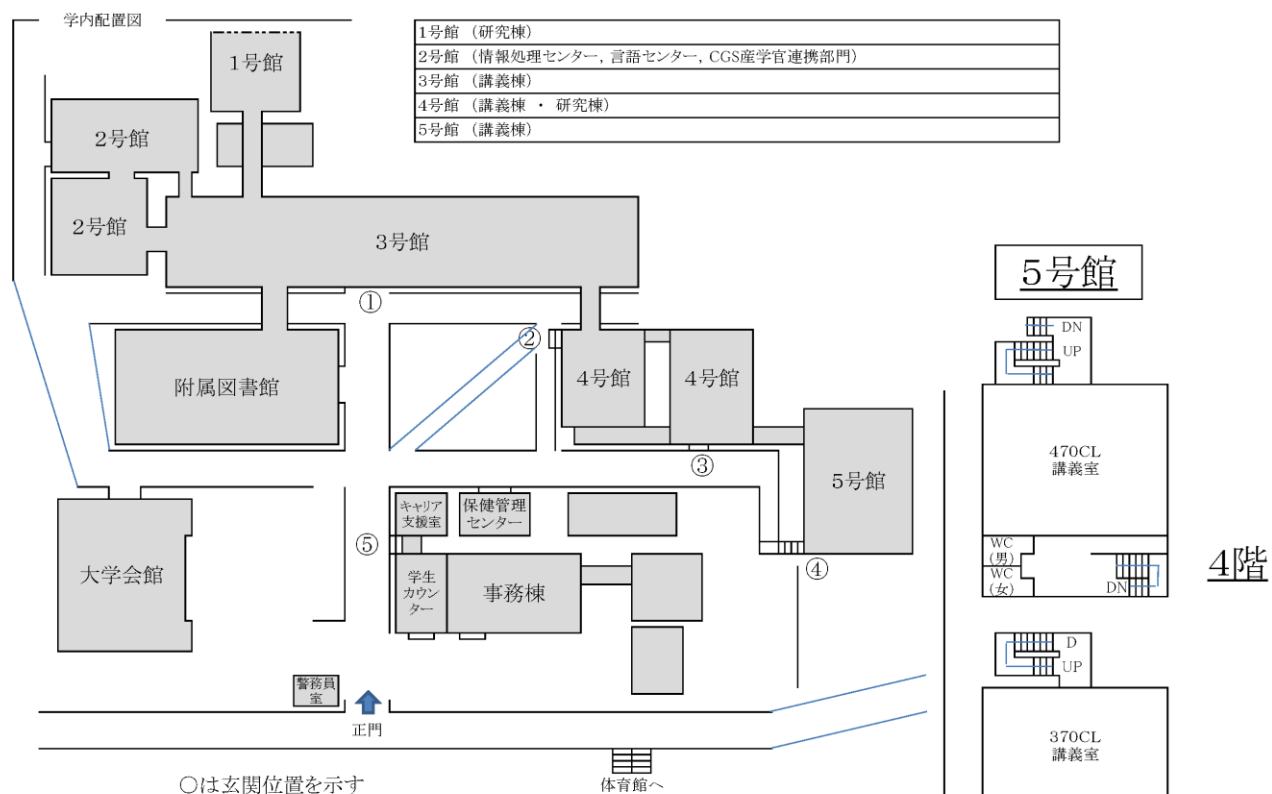
3階



2階



1階





『昼間コース・ゼミナール紹介本』 2018

発行日：平成29年9月25日

編集者：吉岡 竜一

発行者：九谷 寛人

発行所：小樽商科大学学生自治会事務局

〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号

小樽商科大学 大学会館2F自治会室（内線：6550）

許可なく本書の一部または全部を複製することを禁ず.